2019

ツラバス

(看護学部)

一平成31年度入学生用一



沖縄県立看護大学

次 目

I	教育課程の概要	
1	教育課程の編成	3
2	教育課程の編成方針	4
3	教育課程の内容	4
4	教育課程の編成図	6
5	5 授業科目の年次配置	7
II III	授業時間割····································	9
	シラバス目次	13
2		14
孝	数養科目	15
阜	專門関連科目(専門教養科目)	49
Ę	専門関連科目(広域・基盤科目)	85
巪	專門関連科目(生涯発達科目)	127
Ę	專門関連科目 (統合科目)	175

I 教育課程の概要

I 教育課程の概要

1. 教育課程の編成

本学の教育課程は、看護教育を体系的に「教養科目」、「専門教養科目」、「広域・基盤看護科目」、「生涯発達看護科目」、「統合科目」の5つの科目群で編成しています。

1) 教養科目:豊かな人間性と幅広い知識を学ぶ科目群

- ・自然科学系:生物学、環境学、数学など5科目
- ・社会科学系:沖縄の生活と文化、経済学など5科目
- ・人文科学系:哲学、心理学、歴史学など5科目
- ・リテラシー:日本語表現法、英語、中国語、スペイン語、看護大学ゼミナー ル I など 10 科目

2) 専門教養科目:看護学を理解するための基礎を学ぶ科目群

医療と倫理、疫学と保健医療情報、家族社会学演習、身体活動論、人体の 構造と機能、栄養と代謝、微生物と免疫、臨床心理、疾病論、生涯人間発達論 など 21 科目

3) 広域·基盤看護科目:

看護実践の基礎として、またあらゆる発達段階の人々に共通して必要な知識・ 技術・態度を習得する科目群

看護学原論、看護専門職論 I、ヘルスアセスメント、生活援助・療養援助技術、クリティカル・緩和ケア論、早期体験実習、精神保健看護関連科目、地域保健看護関連科目など 23 科目

4) 生涯発達看護科目:

各発達段階に特有の看護実践に必要な知識・技術・態度を習得する科目群 周産期保健看護関連科目、小児保健看護関連科目、成人保健看護関連科目、 老年保健看護関連科目、助産関連科目など 25 科目

5) 統合科目:

これまでの学びを統合し看護を実践する能力を身につけ、生涯にわたって学習 していく力(生涯学習能力)を養うための科目群

看護大学ゼミナールⅢ、島嶼保健看護、国際保健看護、卒業演習、 看護専門職論Ⅱ、看護統合実習、看護卒業論文、看護総合演習の8科目

2. 教育課程の編成方針

- 1) 21 世紀の市民としてふさわしい知性と態度を磨くために、充実した教養科目を設定する。
- 2) 多様な場や対象の健康レベルにあわせた看護実践力を身につけるため、原則として専門教養科目から統合科目へと段階的に配置すると共に、教育効果を考慮し柔軟な配置も行なう。
- 3) 科学的思考に基づく看護実践力を身につけるため、看護の専門職に必要な知識・ 技術・態度を、基礎から応用へと段階的に学習するよう科目を配置する。
- 4) 看護の対象となる人間を成長・発達にそって身体的・精神的・社会的側面から理解するため、周産期から老年期へと段階的に学習するよう科目を配置する。
- 5) 学習効果を高めるため、講義・演習及び実習など多様な学習形態の科目を組み合わせる。
- 6) 本県が島嶼県であることや太平洋に開かれた地域であることを理解し、グローバルな視点とローカルな視点の両面から保健看護が実践できるよう科目を設定する。
- 7) 学びを統合できる力と生涯学習能力を養うため統合科目を設定する。

3. 教育課程の内容

< 教養科目>

教養科目は、広く人間を理解する科目、自然現象を理解する科目、社会のしくみを理解する科目、及び生命の尊厳を尊重する科目で構成され、幅広く学問を学ぶことにより、社会に求められる市民にふさわしい知性と感性を高め創造力を養う科目群である。また、沖縄の歴史、文化、芸能などを通して人間のおかれた地理的文化的特性を理解するとともに、情報化社会や国際社会に対応できるように学際的学びの基礎をつくる。

<専門教養科目>

専門教養科目は、保健看護をより広く、科学的に学習していく準備として習得せねばならない科目群から構成されている。これらの科目は看護学周辺領域の学問、すなわち医学、保健学、社会学、心理学、リハビリテーション等の基礎的知識や技術であり、人間の健康を身体的・精神的・社会的な側面から多面的に捉え、科学的根拠に基づく判断力を養う科目群である。また、地域社会における健康を論理的に思考するために活用される知識・技術も学習する。

<広域・基盤看護科目>

広域・基盤看護科目は、看護実践の基礎として、またあらゆる発達段階の人々の看護に 共通して必要な知識・技術・態度を学ぶ科目群である。また、多様な生活や治療・療養 の場における多様な対象者に健康へのアプローチを、身体的・精神的・社会的な側面か ら看護を実践する能力を培う。また、家族・集団を加えたコミュニティの特徴を学び、 場と対象に応じた看護を実践する能力を培う。

<生涯発達看護科目>

生涯発達看護科目は、一人の人間が生を受けてから死ぬまでの生涯にわたる各発達段階、 すなわち周産期、小児期、成人期、老年期の各期にある対象の特徴に応じて、家族も含 めて適切な看護を実践する能力を養う科目群である。

<統合科目>

統合科目は、看護職者として倫理観を持ち、自らを律し、他者と連携し専門職者として 看護の役割を担う能力を養うための科目群である。また、統合的な学習経験と創造的思 考により質の高い看護を実践する能力を身につける。そして、看護職者として社会的責 任を果たすために、生涯学習能力を養う。

統合科目

統合科目は、看護職者として倫理観を持ち、自らを 律し、他者と連携し専門職者として看護の役割を担う 能力を養うための科目群である。また、統合的な学習 経験と創造的思考により質の高い看護を実践する能 力を身につける。そして、看護職者として社会的責任 を果たすために、生涯学習能力を養う。

生涯発達看護科目

生涯発達看護科目は、一人の人間が生を受けてから 死ぬまでの生涯にわたる各発達段階、すなわち周産 期、小児期、成人期、老年期の各期にある対象の特徴 に応じて、家族も含めて適切な看護を実践する能力を 養う科目群である。

広域•基盤看護科目

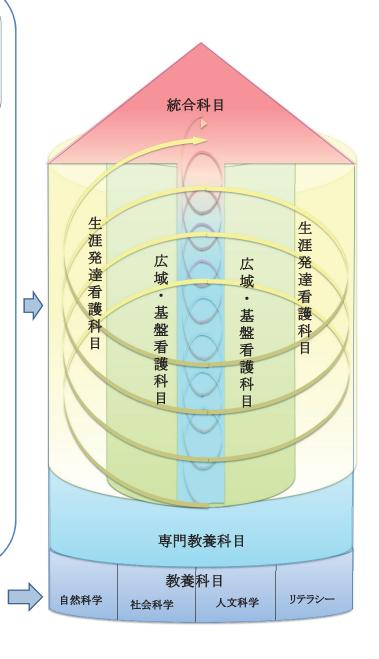
広域・基盤看護科目は、看護実践の基礎として、またあらゆる発達段階の人々の看護に共通して必要な知識・技術・態度を学ぶ科目群である。また、多様な生活や治療・療養の場における多様な対象者に健康へのアプローチを、身体的・精神的・社会的な側面から看護を実践する能力を培う。また、家族・集団を加えたコミュニティの特徴を学び、場と対象に応じた看護を実践する能力を培う。

専門教養科目

専門教養科目は、保健看護をより広く、科学的に 学習していく準備として習得せねばならない科目群 から構成されている。これらの科目は看護学周辺領 域の学問、すなわち医学、保健学、社会学、心理学、 リハビリテーション等の基礎的知識や技術であり、人 間の健康を身体的・精神的・社会的な側面から多面 的に捉え、科学的根拠に基づく判断力を養う科目群 である。また、地域社会における健康を論理的に思 考するために活用される知識・技術も学習する。

教養科目

教養科目は、広く人間を理解する科目、自然現象を理解する科目、社会のしくみを理解する科目、及び生命の尊厳を尊重する科目で構成され、幅広く学問を学ぶことにより、社会に求められる市民にふさわしい知性と感性を高め創造力を養う科目群である。また、沖縄の歴史、文化、芸能などを通して人間のおかれた地理的文化的特性を理解するとともに、情報化社会や国際社会に対応できるように学際的学びの基礎をつくる。



教育課程の編成

·	授業科目の年次配置							
	明		게비선 아 씨와			据3.55 2.54	クリティカル・緩和ケア実習を年保健看護実習II 助産実習(選択):	第4段階 地域保健看護実習II 在宅保健看護実習 看護統合実習
⇒ ≡			- お v 女子	生活援助,療養援助技術実		精神保健看護実習II 周座期保健看護実習II 小児保健看護実習II 成人保健看護実習II	\	
<u>≡</u> ₹			地域保健看護実習 1 老年保健看護実習 1	習 精神保健看護実習 I 周産期保健看護実習 I 小児保健看護実習 I	4.7.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	精神保健看護漢習 用空期的 医多数) 助産実践論(選択) 基礎助産学(選択)	離風
型 葆	第1段階早期体験実習		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	1 1 1 1	3.5.5.5.5.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	同年州米陸看護漢習 小児保健看護漢習 成人保健看護漢習 看護大学ゼミナールⅢ	、助産診断・技術字(選択) がディか・緩和が演習 地域保健看護演習 老年に梅寺鑑権認	卒業演習
Ш	看護学原論 看護専門職論 I	生涯人間発達論 生活援助·療養援助技術 I 保健医療情報演習	生活援助,療養援助技術 II 精神保健看護 I 地域保健看護 I 周産期保健看護 I	臨床集生 看護大学ゼミナールII 疾病論 I 疾病論 II	地域保煙看護Ⅲ 周産期保健看護Ⅱ 小児保健看護Ⅱ 成人保健看護Ⅱ 老年保健看護Ⅱ	, カイシンズ、ヘルス サイエンス (選択)	島嶼保健看護 国際保健看護 看護専門職論 II	承 ない は ままま は ままま は ままま は ままま ままま ままま ままま まま
	疫学と保健医療情報 身体活動論 人体の構造と機能 人間関係論	人体の構造と機能演習 I 栄養と代謝 微生物と免疫 臨床心理	成人保健看護 1 老年保健看護 1 病態生理 ストレスマネン゙メントと健康教育 家族社会学演習		保健医療福祉制度 身体活動論演習(選択) 人体の構造と機能演習II リハビリテーション論		看護卒業計 看護総合演習	第文 (選択必修) 質習
教養科目	生物学(選択) 化学(選択) 数学(選択) 沖縄の生活と文化 哲学(選択) 心理学 文学(選択) 英語 I 看護大学ゼミナール I	日本語表現法 英語 II 歷史学(選択)	地理学(選択) 環境学(選択) 社会学(選択) 経済学(選択) 情報学(選択) 教育学(選択) 英語皿(選択) 中国語 I (選択) スペイン語 I (選択)	英語IV(選択) 中国語 II (選択) スペイン語 II (選択)	法学(選択)			
学期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学年	1	年 次	2 年	: X	3 年	、次	4 年	: X

授業時間割 ${ m I\hspace{-.1em}I}$

噩 业 業 赘

平成31年度

闸

平成31年4月

		4	#						(存在を)		五 中職裁領		※ ※ と代野 (雑成)		室 中講義室			を 人体の構造と機能 演習 I	室 生体機能実験室			人体の構造と機能 演習 I	-
		K	前半後半	You see, You sell I want It	生涯人間発達點(大湾/上原/山本)		中講義室			日本語表現法 生活援助・療養 (伊狩) 援助技術 I 10/3~10/17 (栗原 他)	講義室7 基礎看護実習室			生活援助,療養 援助技術 I (栗原 他)	基礎看護実習室	人体の構造と機能 演習 I (佐伯)	生体機能実験室	生活援助·療養 援助技術 I (栗原 他)	基礎看護実習室	人体の構造と機能 演習 I (佐伯)	生体機能実験室		
後期	10月~3月	¥	前半(後半	英語II (山城綾子)	11,教室	保健医療 情報演習 I (令城芳希/知念)		保健医療 情報演習 I (金城芳秀/知念)				日本語表現法 (仲原)	中講義室					日本語表現法 (仲原)	中講義室	(电/ 法)土拉	院天子(選)		
		火	前半後半			英語II (山城)	11.教室	也 10	講義室7 基礎看護実習室			人体の構造と機能 援助技術 1 漢習 1 (栗原 他)	生体機能演習室 基礎看護実習室	臨床心理 (渡久山)	講義室 5	生活援助·療養 援助技術 I (栗原 他)	生体機能演習室 基礎看護実習室						-
夏季休業			H.	日本語表現法	(香魚以) 中講義室			英語 II (山城綾子)	LL教室	日本語表現法 (喜屋武)	中講義室		講義室 5	英語 I (山城 綾子)	LL教室			人体の構造と機能 演習 I (佐伯)	生体機能実験室			人体の構造と機能 演習 I (佐伯)	
lm/		4	平	禁	車門職論 I	(百里/大湾/麝平対)	中講義室								早期体験実習	6/14~7/19							
	月	1	<		看護学原論	(派走)	中講義室	(EE/) 777 11	(所) 代以(例)	(五年)	中講義室	身体活動論 (牧内)	講義室5・体育館	英語 I (山城綾子)	LL教室	看護大学	カッナーケー	(最級 万洛) 5/30~7/25	別途指示	看護大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ト (会存 計巻)	5/30~7/25	
前	6~月1	÷	\forall					沖縄の牛活	と文化	(成定)	中講義室					\ HE\ / 7\cdots)	(注 注	中講義室	(語) 電子			
	4	ب	K	7. 年少年	<	(佐伯)	中講義室	英語 I (山城綾子)	LL数室	身体活動論 (牧内)	講義室5・体育館	疫学と 保健医療情報 6/4~6/25 (金城 芳秀)	講義室1	人間関係論 (渡久山/大川)	講義室5	疫学と 保健医療情報	(金城 芳秀)	6/4~6/25は Aクラスのみ		後の	(単な三)	H	
		п	Ŗ	1. 子仓推注 1.	人体の権力と機能	(佐伯)	中講義室	人間関係論(護久山/大川)	講義室5	英語 I (山城綾子)	LL教室	英語 I (山城綾子)	11数室	疫学と 保健医療情報 6/3~6/24 (金城 芳秀)	講義室1	疫学と 保健医療情報	(金城 芳秀)	6/3~6/24/は Bクラスのみ	中講義室・講義室1	数学(選) (九 章)	(久両)/ 炸孙(瑞)	(大装)	
解		教室		科目名	教室	科目名	教室	科目名	教函	HE	教室	H C	教室	HE	教室	科目名	教室	科目名	教室	H C	教室	科目名	
孙	世			1 時	随	8:40~ B		2 事 A	<u></u>	10:20~ 11:50 B		3 本 A	팢	12:40~ 14:10 B		44 中国	英	14:20~ B		Y S 型 B	츳	16:00~ 17:30 B	-

※健康診断 5/22 (水)

7/5 (金) ※前期:早期体験実習オリエンテーション 5/31(金) ※早期体験実習:前期後半 6/14(金) 6/21(金) 6/28(金) 但し、離島で実習する場合はこの限りではない。

7/12 (金)

※時間割は変更になる可能性があります。

授 業 時 間 割

		4	#	看護大学 ゼミナールII (** カールII		室 別途指示	看護大学 ゼミナール II (ギアール R)	(B)	別途指示										
角	月	+	(疾病論		大講義室													
溆	1月 ~ 3	Ì	₩	疾病論		大講義室				スペイン語口	(贈)	(下畑)	大講義室	スペイン語Ⅱ(選)	(異)	大講義室	臨床薬理 ()	大講業室	/ 3K
<i>\</i> —	1	دِ	K	疾病論		大講義室								英語(図)	ì				エンテーショ -11/8 (金)
		п	Ä	英語IV (選)	ì									(額)	(玉以末)	視聴覚室	(無以平) (無以平)	祖職宣军	※後期実習オリエンテーション ※9/30(月)~11/8(金) も
夏季休業						•			•				•						
		4	班								超級保障者職実出1/	(各5日間)							
			後半	(選)	ì	く 講義室	(山口)/ (狩俣)		講義室 5	ストレスマネジメントと 健康教育 (渡久山 他)	視聴覚室	生活援助·療養 援助技術 II (金城忍 他)	基礎看護実習室	ストレスマネシ。 たいと 健康教育 (渡久山 他) 視聴覚室	生活援助·療養 援助技術II (金城忍 他)	基礎看護実習室			
		*	前半	英語皿(選)	1 (2000-1-1)	LL教室・大講義室	社会学(選) 経済学(選)		講義室3										
	月		後半	生活援助,療養援助技術II(金城忍 他)			生活援助,療養援助技術II (金城忍他) 基礎看護実習室			<u> </u>	źı.			(競) [端へ			(憲)		
<u></u>	6~月	米	前半		L		成人保健看護 I [1]	ŧ	大講義室	(語) 沙姆里	(米限)			「器ペイシと		大講義室	教育学 (選) (浅野)	無 無 無	
量	4		後半			講義室 5	位	ストレスマネジメントと 健康教育 (渡久山 他)	講激率 5	家族社会学	演習	(HH)	中講義室	精神保健看護 I		大講義室	刪	£#H	
		火	前半	地域保健看護 1 [1997]	L	大講義室	ヘルスアセス		中講義室	ヘルスアセス	インイ		中講義室	~	(宮里/金城)	基礎看護実習室	病態生理 ()	大講義室	
			後半			室	周産期保健 看護 I	(Ŧ#)	大講義室	(報代	(朝)()			(割			家族社会学演習(山口)	英業	(委)
		A	前半	地理学(選)	W.T.)	大講義室	老年保健看護 [七次/四县]		大講義室	(離7) 1 寒田中	(憲太子)		中講義室	環境学(選)	T(X)	講義室(小児保健看護 I 等 (永島/上原)	集業之3/講業年	※健康診断 5/22 (水) ※前期実習オリエンテーション4/12 (金)
單	/		教室	科目名数室	#	教室	科目名数室	科目名	教室	11C	教室	HC-	教室	科目名数室	₩-	教室	科目名 科室 科目名	教	断 5/22 (水 習オリエン:
孙	世	凹	S	1 時 限	8:40 ~ B	01.10	2 時 限	10:20 ~ B	06:11	B 型 型 型 型	Ķ.	12:40 ~ B	1.10	4 時 限	14:20 ~ B	00.0	5 時 段 16:00 B		(健康診 (前期実

精神保健看護実習11 周産期保健看護実習11 小児保健看護実習11 成人保健看護実習11

月 大 大 大 大 前 上 1 1 1 1 1 1 1 1 1		荆			宣				夏季休業			71V	1	
次本本本 本本本本本 自由主 後半年 食事事件 月 水 本本本本 本本語報告 本本語報書 本本語書 本		!			4 月 ~	- 9月					1 (H	月	
According 2 Min	墨田里		Ш	٦	¥	+	金	žu1		ш	4	¥	+	4
Attribute 14	教室	'	Ч	<	₹.	-	非温	後半		ς.	<	\r\ \r\	<	1
(有上) 用産物 用産 用産	科目名数室		地域保健		人体の構造と機能演習 II (佐伯) 大講義室	精神保健」	生活援助·療養援助技術Ⅲ (金城忍 他) 基礎看護実習室			保健看護演習 (精神/成人/小児/	保健看護演習 (精神/成人/小児/	保健看護演習 (精神/成人/小児/	保健看護演習 (精神/成人/小児/	保健看護演習 (精神/成人/小児/
デイカル 小見保機 生態度 作業別面 各業別面 日本別面 日本別面 <t< td=""><td>科目名</td><td></td><td>(三毫/教石)</td><td></td><td></td><td>(村上)</td><td></td><td></td><td></td><td>周産期)</td><td>周産期)</td><td>周産期)</td><td>周産期)</td><td>周産期)</td></t<>	科目名		(三毫/教石)			(村上)				周産期)	周産期)	周産期)	周産期)	周産期)
中央保護 地域保健 生産機合業活用 保健看業活用 保健看業活用 保健看業活用 保健看業活用 保健看業活用 保健看業活用 保健看業活用 保健看業済用 保健有業済用 企業別用 企業別用 ((1)(m) (1)(m)	教室	_	視聴覚室			視聴覚室				各実習室	各実習室	各実習室	各実習室	各実習室
開催 1 日	科目名数室		成人保健 看護 II	クリティカル緩和ケア論	小児保健		生活援助·療養援助技術Ⅲ (金城忍 他) 基礎看護実習室	周産期保健 看護 II		保健看護演習 (精神/成人/小児/		保健看護演習 (精神/成人/小児/		保健看護演習 (精神/成人/小児/
「職能質量	科目名		(山本/赤嶺/ 宮城)	(神里/謝花/ 田場)	(上原/山本)			(質数/井上/ 西平)		周産期)		周産期)		周産期)
保証と機能所 (保由)	数室	_	視聴覚室	視聴覚室	視聴覚室	視聴覚室		視聴覚室		各実習室	各実習室	各実習室	各実習室	各実習室
#選と機能術	科目名数字											保健看護演習 (精神/成人/小児/	保健看護漢習 (精神/成人/小児/	保健看護演習 (精神/成人/小児/
(機) (株) (株) </td <td>科目名</td> <td>_</td> <td></td> <td>人体の構造と機能演習 型 (佐伯)</td> <td>1 ·</td> <td>生活援助·療養援 助技術Ⅲ (金城忍 他)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>周産期)</td> <td>周産期)</td> <td>周産期)</td>	科目名	_		人体の構造と機能演習 型 (佐伯)	1 ·	生活援助·療養援 助技術Ⅲ (金城忍 他)						周産期)	周産期)	周産期)
保険看護演習 保険有量演習 保険有量 保険有量 保険有量 保力 (大力) (大力) (大力) (大力) (大力) (大力) (大力) (大力	教室			大講義室		基礎看護実習室				各実習室	各実習室	各実習室	各実習室	各実習室
存在動議できた。	科目名 教室	i i i	老年保健 看護 II (田場/							保健看護演習 (精神/成人/小児/ 国产期)	保健看護演習 (精神/成人/小児/ 国产館)	保健看護演習 (精神/成人/小児/ 田が出)	保健看護演習 (精神/成人/小児/ 用产曲	保健看護演習 (精神/成人/小児/ 国卒曲)
財産権制 (株) (地) (地) (地) (地) (地) (地) (地) (地) (地) (地	科目名数法		大湾) 村職管		Rm .	生活援助・療養援助・療養援助技術(金城忍 他) 其 株 看 籍 宝 習 宝				向 <u></u> 周囲	回 <u>唐</u> 州 人名里密密	回 (本)	向 唐 翔 <i>)</i>	向 压
Jac Jule Jule Jule Jule Jule Jule Jule Jule Jule	科目名数字	T :	法学(選) (基)	保健医療福祉制度 (大陸/川崎/	Em					保健看護演習 (精神/成人小児/		保健看護演習 (精神/成人小児/	保健看護演習 (精神/成人小児/	保健看護演習 (精神/成人/小児/
聴覚室	科目名	1	+ II	牧内/知念)	I S C C					周座期)		周座期)	周座期)	周座期)
**美智オリエンケーンョン 木花 **ウイメンズ・ヘルス・サイエンス 10/7(月)~11/7(木) **春護大学ゼミナール 10/1(火)~11/8(金) 別途指示 **リハビリテーション論 2/17(月)~2/26(水) 別途指示	5241			視聴覚室						各実習室	一版	各実習室	各実習室	各実習室
(. *) (((((((((5/22 (変更に7	R is	K) る可能性があり	114 10						※米엽オッセン・※米のイメント・※かイメングを制御大学だが、※あり、アング・・※・おり、アジー・ジャン・ジャン・ジャン・ジャン・ジャン・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー	、シ チ	$) \sim 10/7 ($ $) \sim 11/8 $ $) \sim 2/26 $		別途指示

副

噩

盐

業

萦

3年次

副 噩 盐 継 赘

小	解			前期	ш		夏季休業			後)	
业	日曜			4 月 ∼ 9	Я				1	0 月 ~ ⑤	3 月	
限	G 教室) H	火	水	*	金		月	平	平	*	会
五 時 段 8:40 ~	A	NI NI	助産診断・ 技術学(選) (2008年・1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	地域保健看護演習	看護専門職論II (宮里/大湾)	看護卒業論文 ※ 合確翌						
21時限	A 科目名 教室	NT	(真效/开工/西平)	(三元 色)								
10:20 ~ 11:50	A 科目名教室	地域保護	助産実習室	視聴覚室・講3~7	特別講義室	特別講義室						
38 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图	A 科目名 教室				助産実践論(選) (質数 他)	助産診断・ 技術学(選) (智数 他)						
$12:40$ \sim 14:10	A 科目名数率	視聴覚室・講3~7	島嶼保健看護/ 国際保健看護		助産実習室	1412						
4	A 科目名 教室		(川橋/ 独念/ 他)									
14:20 ~ 15:50	B 科目名 教室		特別講義室			基礎助産学 (選)						
5 時限	A 科目名 教室	(資数/井上/西平)	111		(質数 色)	(質数/井上/西平)						
16:00 ~ 17:30	科目名 B 教室	加産実習室	(質数 他) 財産実習室		助産実習室	助産実習室						
※※ ※4年 三世 三世	診断 5/22 (j期実習オリ : 老年保健	- 水工管 シ 選	5/24 (金) クリティカル	5/24 (金) クリティカル・緩和ケア演習・実習		5/27 (月) ~7/26 (金)		※実習オリエンテーション7/3 ※後期:地域保健看護実習 II・ ※後期:看護統合実習 10/21	/テーション7, R健看護実習 1 花合実習 10/21	/30 (火) I・在宅保健看護実習 1 (月) ~11/29 (金)		9/2 (月) ~11/1 (金)
※ 等 時 二	実習(8週1割は変更にだ	間) なる可能性があり	张 李					※看護卒業論以時間割(等額)	大/看護総合演:	習/卒業演習/匝った	※看護卒業論文/看護総合演習/卒業演習/医療と倫理については掲示版の 時間割(詳細)を参昭ポストレ	いては掲示版の

※看護卒業論文/看護総合演習/卒業演習/医療と倫理については掲示版の時間割(詳細)を参照すること。

B

バス ${ m I\hspace{-.1em}I\hspace{-.1em}I}$ ラ 教 養 科

シラバス目次 1

拉 华 幻 口		拉 米 乜 口	<u> </u>
授業科目	頁	授業科目	頁
教養科目		広域・基盤看護科目	
自然科学		31113 看護学原論	85
13110 生物学	15	31125 看護専門職論 I	86
13120 化 学	17	31140 ヘルスアセスメント	87
13140 地理学	18	31151 生活援助・療養援助技術 I	89
13150 環境学	20	31152 生活援助·療養援助技術 II	92
13160 数 学	21	31153 生活援助・療養援助技術Ⅲ	94
社会科学		31160 生活援助・療養援助技術実習	96
11230 沖縄の生活と文化	22	31171 クリティカル・緩和ケア論	98
12110 社会学	23	31172 クリティカル・緩和ケア演習	100
12110 任芸子	25	31180 クリティカル・緩和ケア実習	100
12120 伝 子 12130 経済学	26	31133 早期体験実習	
			104
12160 情報学	27	36124 精神保健看護 I	105
人文科学		36125 精神保健看護Ⅱ	106
11140 哲 学	28	36126 精神保健看護演習	108
11110 心理学	29	36133 精神保健看護実習 I	109
11130 教育学	30	36134 精神保健看護実習Ⅱ	111
11160 文 学	31	37124 地域保健看護 I	113
11170 歴史学	32	37125 地域保健看護Ⅱ	114
リテラシー		37126 地域保健看護Ⅲ	116
14010 日本語表現法	34	37127 地域保健看護演習	118
14141 英語 I	36	37142 地域保健看護実習 I	120
14142 英語Ⅱ	38	37143 地域保健看護実習Ⅱ	122
14143 英語Ⅲ	40	37150 在宅保健看護実習	124
14144 英語Ⅳ	42	生涯発達看護科目	
14211 中国語 I	43	33126 周産期保健看護 I	127
14212 中国語Ⅱ	44	33127 周産期保健看護Ⅱ	129
14311 スペイン語 I	45	33128 周産期保健看護演習	131
14312 スペイン語Ⅱ	46	33133 周產期保健看護実習 I	133
40011 看護大学ゼミナール I	47	33134 周産期保健看護実習Ⅱ	135
10011 有暖八子已入 / / 1	41	32126 小児保健看護 I	137
専門関連科目		32127 小児保健看護Ⅱ	137
専門教養科目		32128 小児保健看護演習	
マロスを作り 23141 医療と倫理	40		141
	49	32133 小児保健看護実習 I	143
22121 疫学と保健医療情報	51	32134 小児保健看護実習Ⅱ	145
13515 保健医療情報演習	53	34124 成人保健看護 I	147
23122 保健医療福祉制度	54	34125 成人保健看護Ⅱ	148
23111 家族社会学演習	56	34126 成人保健看護演習	150
22141 身体活動論	57	34135 成人保健看護実習 I	152
22143 身体活動論演習	58	34136 成人保健看護実習Ⅱ	154
22142 ストレスマネジ・メントと健康教育	59	35125 老年保健看護 I	156
21010 人体の構造と機能	61	35126 老年保健看護Ⅱ	158
21011 人体の構造と機能演習 I	63	35127 老年保健看護演習	160
21012 人体の構造と機能演習Ⅱ	64	35134 老年保健看護実習 I	161
21121 栄養と代謝	65	35135 老年保健看護実習Ⅱ	163
21131 臨床薬理	67	33511 助産実践論	165
21160 微生物と免疫	68	33521 基礎助産学	166
21143 病態生理	70	33533 助産診断・技術学	168
22171 リハビリテーション論	72	33541 ウィメンズ ヘルス サイエンス	170
22152 臨床心理	73	33554 助産実習	172
22153 人間関係論	75	統合科目	1.2
40012 看護大学ゼミナールⅡ	77	40013 看護大学ゼミナールⅢ	175
21154 疾病論 I	78	37131 島嶼保健看護	176
21154 灰州論 1 21155 疾病論 Ⅱ	80	38111 国際保健看護	178
22190 生涯人間発達論	82	40020 卒業演習	180
22130 工任八间光 建珊	02	31126 看護専門職論 II	
			181
		40142 看護統合実習	183
		40131 看護卒業論文	185
		40030 看護総合演習	187
		<u> </u>	

2 シラバスの見方

	先頭の番号									
科 目 3	教養科目 1 専門支持科目 2 保健看護 I Health and ric Nursing I)	担当 教員○沖縄花子 実務経験:あり								
開講年次	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	専門関連科目 (保・看) 投業 講 義								
選択必修	必修時間数 15 時間 分類									
条前提科目	なし 本科目の前提と (保・看)とは保修	方に必要な 科目責任者を○								
その他	なし が取得できていな 科目、(保・助・ラ 師、看護師、助産									
授業概要	い場合、原則とし○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○									
到達目標	 第5条、学生便覧の該当頁を参照) 2. ○○ 3. ○ 実習科目では各種形態により異なります。 	授業								
授業回数	予防接種が完了して 一 いることが履修条件 として明記されてい 	事前·事後学習 (学習課題) 担当者名 授業形態								
第1回	○○○(該当頁を参照)	pp○-○ 沖縄 講義								
第2回	0000	ppO-O								
第3回	0000	pp○-○ pp○-○								
第4回		ppO-O								
第5回		*事前学習								
第6回	学内での教科書販売日が、前期、	3 13 3 14								
第7回	後期の各第1週目にあります。 掲示板を確認し、各自で購入してく									
第8回	ださい。									
テキスト	○○社 ○○看護学 I ○○保健学 第 X 版									
参考文献	随時提示します。									
他科目との 関連	沖縄の生活と文化、家族社会学演習、生涯人間発達	産論の内容を踏まえて学習する。								
成績評価の方法	小テスト・レポート(40%)および期末試験(60%)									
学習相談· 助言体制	ただし、各科目の出席日数が講義あるいで3/4、実習科目で4/5を満たさない場合	成績評価の方法は、パーセント(%)で表記します。 ただし、各科目の出席日数が講義あるいは演習科目 で3/4、実習科目で4/5を満たさない場合、期末試験								
授業改善の 特記事項	受験資格がなくなり、単位取得ができませ (学生便覧の該当頁を参照)	±ん。								
備考	0000									

科 目 コード 1	授業					担当教員	0;	大城安弘	(非常勤)		
開講年次	1年次 前期	単位数	2単位	科目	粉	養科目		授業	講義		
選択必修	選択	時間数	30時間	分類		(食)(1) 1		形態			
履修 前提科目 その他	なし										
条件 その他	なし										
授業概要			形態・生態・						種であるヒト		
到達目標	の一生や個化を馳せ、30	本群の動態を 数億年も続	・時間的・空間	間的に捉 の歴史	え、時空を から生命	を超えた生 (生物) σ	E命のi)誕生	車続性に ・隆盛・	れからは個体 ついても思い 衰退やその営 さする。		
授業回数	ž	受 業 内 Ϡ	容及び計	画	1	事前・事後 (学習課題		担当者名	授業形態		
第1~15回	名 b . a b	○の物能問包構設上卵裂殖そ昆(初い成分に加植お誕系)能胞生成計ス子ととの虫ヒ期ろ運裂お齢物け生統科単質物し図タの体有多・ト発動動とは・のる及分学位・とて・シ形細性様ヒ)生物と器るエエ分び類の→細多終で 成胞生性トのと報器所伝イイ裂	基細膜胞物子(H) 分殖 の体その官がよジジ性 境様悪 とび物及りのいいの形成子ンン細 大変のの形成子ンン細 大変のの形成子ンン細 大変のの形成 発がが胞 精受多割成 現・ 群性と とない と はい と と と はい ない と と はい ま ま は ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	多様性 質) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で)	, と発現生)	事習に各明という。	課題は、	大城	講義		
テキスト	[生物学(カレ)	ッジ版)] :	fi畑雅一・増日 ————	日隆一•	北田一博却	共著、医 学	学書院				
参考文献	随時紹介する	,									
他科目との 関連	授業科目全船	授業科目全般									
成績評価 の方法	中間・期末詞	式験及び実	(演) 習の成績	漬と出席	状況等を甚	勘案して約	総合的	に判断す	⁻ る。		
学習相談· 助言体制	講義中に質疑	そを受け、対	が応する。								

授業改善の 特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。
備考	初めに、地球及び生命の誕生、生物の基礎的現象を学習し、これまでの生物学の諸分野(発生学・細胞学・生化学・形態学・生態学・遺伝学等)の進展状況や現状を概説する。特にこの講義では、ヒトも動物の一員であることをベースに、私たちと自然環境についての理解を深め、関係する専門科目につなげたい。また、視聴覚教材を活用(DVD等の映像)し、適宜コピー教材により補足する。更に、昆虫(チョウ)の各Stage(各態)の形態・生態や自然保護等について実演・実習を行う。就中、チョウ等の小さな命に触れることによって、生命、取り分け「命どう宝」を体験学習してもらう。

科 目 コード 13	120	授業 科目		化 生 (Chemis			担当教員	0=	宇地原敏	效夫(非常勤)	
開講年次選択必修	1年次選	: 前期 択	単位数時間数	2単位 30時間	科目	孝	 後科目		授業形態	講	義
	なし										
履 修 条 件 そ そ の他	なし										
授業概要	的物		いて学習す	、反応速度な るとともに、							
到達目標				質およびそれ。 を得させる。	が関わる	事象につ	ついて化学	的視野	から理?	解でる	きる
授業回数		授 業 内 容 及 び 計 画 事前・事後学習 (学習課題) 担当者名									授業形態
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第									講義		
テキスト	「ナ	ーースの)化学」:「	中埜邦夫・塩	田三千夫	· 山崎系	し・中村美	知子著	著 裳華	房	¥2500
参考文献	講義	後中に通	適宜紹介する	5 .							
他科目との 関連											
成績評価 の方法	期末	試験、	宿題、出席	状況で評価す	⁻ る。						
学習相談 · 助言体制	毎回	毎回講義終了後、30分程度学習相談に対応する。									
授業改善の 特記事項	パワント	ー ーポイ 原稿を	 ントを用い 縮小版にし	て講義する。 た資料を当日	講義の温配布す	 メモと事 る。	後学習を紹	容易に	するため	 り、パ	パワーポイ
備考											

科 目 コード 1	授業 科目		地 理 (Geogr			担当教員	0]	上原富二	男(非常	勤)
開講年次選択必修	2年次 前期 選 択	単位数時間数	2単位 30時間	科目分類	孝	汝養科目		授業形態	講	義
履前提科目	なし	F1 [H] 3X		7 7 7 7 1				1,,,,,_,		
条件その他	なし									
授業概要			文地理学の基 塡性)につい			る理解を沒	だめる	とともに	、沖縄	の離島
到達目標		沖縄(しま	□る。 〔・島〕の良る ○て,地理学の		-	沖縄の事	例に基	基づく説明	明ができ	きる。
授業回数	授	業内容	ア 及 び 言	計 画		事前・事徒 (学習課	後学習 題)	担当者名	′ 授業	芝形態
第1回	1. 地理学の 1) 風水の							上原	講	義
第2回	2) 万葉集, 2. しまと島 1) しまと	おもろさ ; ;	うし,小浜節	iの世界		豆テス				
第3回	2) 島の分類 3. 地球の姿 1) 季節と 2) 地図とと	時差				豆テス				
第4回	4. 地図の世 1) 地図のJ	:界 歴史				豆テス				
第5回	2) 地図を 5. 変動する 1) プレー	地球	クス			豆テス	F			
第6回	2) 地震と 6. 環太平洋 1) ファイ・	津波 ○造山帯				豆テス	<u>۲</u>			
第7回	2) 地殻運	動と地形 と台地				豆テス	F			
第8回	1) ゆいむ, 2) 階段の, 8. 台地と集	島				豆テス	١			
第9回	1)溶ける 2)泉と集 9.気候と±	落				豆テス	١			
	1) 植生と 2) 気候と	気候 土壌				豆テス	١			
第10回	10. 三角江と港 1) 長江とNapha Kiang 2) 三角江と城 豆テスト									
第11回	11. 世界の 1) 世界人 2) 人口問	口の変遷				豆テス	L.			
第12回	12. 農業と 1) 四つの	食料生産				立ノへ	1,			
第13回	2) Hunger 13. 政治と: 1) ペリー	_	縄			豆テス	<u>۲</u>			

第14回	2) Keystone of the Pacific豆テスト14. 地球環境問題コ)世界の環境問題										
第15回	2)島の環境問題 15.総括	豆テスト									
テキスト	テキストは使用せず、配布プリントによって授業を	進める。									
参考文献	参考文献は、授業で紹介するが、高等学校で使用した地理の教科書・地図帳があるとよい。										
他科目との 関連	授業科目全般										
成績評価 の方法	豆テスト(30%)、レポート(20%)、まとめの試験(50%)で評価する。なお、試験には自分で作成したノートのみ持ち込みを可とする。										
学習相談 · 助言体制	授業で毎回実施する豆テストは、授業への取り組み 回授業に対する意見や質問を提出することにより、	を評価する手がかりである。また、毎 授業の理解へつなぐ。									
授業改善の 特記事項	授業はテキストに代えてプリントによって進めるが	、適宜関連資料を添付する。									
備考	地理学は身近な科学である。その校正は系統地理学は自然地理学人文地理学に分けられる。授業は系統解し、それらを沖縄の事象と比較、考察することに沖縄の島は小さい。しかし小さいから向こうが見え的諸事象は沖縄の島にも存在し、しかもそのスケー理解につながる。すなわち本授業は、世界的諸課題縄の事例に基づく説明ができることを目標とする。	地理学分野を中心に、基礎的事象を理 より理解を深める。 る。たとえば、中等教育における地理 ルが小さいことから、確認しやすく、									

科 目 コード 1	3150 授業 科目		環 境 (Environment	学 tal Stud	ies)	担当教員	0	桜井国作	俊(非常勤)
開講年次選択必修	2年次 前期 選 択	単位数時間数	2単位 30時間	科目分類		教養科目		授業形態	講義
	なし	时间数	20H41H1	73 /2				712 765	
履前提科目修 その他	なし								
授業概要	ような影響	を与え、ま	地球環境問題 た、その修復 関係について	に私たけ	らがど				球環境にどの て理解する。
到達目標	 日々のなる。 3. 自らの 	生活(ライライフスタ	ア、世界の環 フスタイル) イルを環境に 家庭、大学、	が環境により優し	こどの	ように影響 のとするた	している	か考察 と意欲	出来るようになを獲得する。
授業回数	授	業内容	及び計	画		事前・事 (学習		担当者名	呂 授業形態
第1~3回 第4~6回	序論・沖縄の 生態系・食物 生態系を脅か	連鎖・生態	長ピラミッド			・毎回、次の 義資料を 前に読ん とを前提	己布し、事 でいるこ	桜井	講 義 (適宜学生に 質問し、双方向
第7~9回	持続可能な開 地球温暖化と	発と環境倫	論理学		問題	行う。期末試験に布資料を含める資料	含め、あら の持ち込		の授業となる よう心がける)
第10~12回	DDTと環境 食糧問題・食					みを可とす ・配布資料に ル保存し に目を通	は、ファイ て試験前		
第13~14回	貿易と環境、	途上国の弱	環境問題、フ	ェアトレ	ード	ことが必要			
第15回	授業のまとめ)							
第16回	期末試験								
テキスト	次回に使用す	る講師作品	戈の講義資料	を毎回配	布する) _o			
参考文献	翔泳社)、『台	世界がもし		ごったら [(池田	日香代子、マカ	゛シ゛ンハウス		コルボーン他、 ナナと日本人』
他科目との 関連	なし								
成績評価 の方法	出席カード Cの4段階で 績を評価す	『評価し、~	感想、質問、 を相を授業参	意見等: 加点(50	を記述)点) &	してもらう こする。期ま	。 これる に試験(をA(+ 50点)	⊢)、A、B、 とあわせて成
学習相談 · 助言体制	毎回の授業の	のあと、10	分間、相談・	助言の	ための	時間を設け	る。		
授業改善の 特記事項	授業評価に	記述された	授業への要望	 等を必要	更に応	じて取り入	れていく	0	
備考		れわれ沖縄							t紀の地球市民 f動すべきかを

科 目 コード 1	3160 授業 科目		数 (Mathem	学 matics)		担当教員	○久雨	高将壽(非 -	常勤)
開講年次	1年次 前期	単位数	2 単位	科目	*/+ ≟	 養科目	授業	講	主
選択必修	選択	時間数	30 時間	分類	到1	支付 日	形態	計	義
履 前提科目	なし								
履 修 条 み 他 そ の他	なし								
授業概要	身の回りにあ 差値など現代 の面白さを学	社会の日常							
到達目標		た興味を持	とと、数学が った数学の新 と。						
授業回数			内 容 及		画		事前・事後 学習 (学習 課題)	担当者名	授業形態
第第第第第第第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	古ピルゼコ222な風が物科パいアいケち代ターロン進匹数景つと学ラろラ!プがジラ2発ュとウののにの ナろアこーながあいよい チョン・シー・シー・シー・シー・シー・シー・シー・シー・シー・シー・シー・シー・シー・	と生などでである。いで、とはないです子、描しき、テをついまで、おはいいので、のないは、はいいのでは、のないのでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	ぜ縄教通、でと、こをくそ、秘とり「不でいいのたを数がしまないののでは、ないののでは、ないののでは、ないでは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	のべ秘ざあ 形 告 し しエハ のかる密かっ 7 カ 規 いしで 調和をないっ 7 カ 規 いし模 和がまな ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	本当? ボナッチの た、でもさ がある・・ のではない みは 17 種類 が太陽系の記	ある方法 ・「影の のです しかな 设計図に		久 高	講
第 15 回			に豊かなフラ						
テキスト	特にテキス	トというもの	はありません	。必要な	で資料はプリ	リントを	配布します。		
参考文献	必要に応じて	て講義の際に	詳しく紹介し	ます。					
他科目との 関連									
成績評価の方法		内容の濃さ	から、気に入 と量で評価し						
学習相談 · 助言体制	対面方式およ	びEメールで	で学習相談・助	力言体制	を整える。				
授業改善の 特記事項									
備考	なるべく視覚 ら授業を進め します。		使用し、講義 事前に手作り						

科 目 コード 1	1230授業 科目	(Okinav	沖縄の生活 wa Lifestyle		lture)	担当教員	○成定洋	子(非常勤)
開講年次	1年次 前期	単位数	2 単位	科目	数	養科目	授業	講義
選択必修	必修	時間数	30 時間	分類		TO THE	形態	MT 4X
履 前提科目 条 その他	なし							
条件その他	なし							
授業概要	つ強みと弱	みをグロー	バルな視点か	らとら;	えられる」	こうに、沖	縄の「歴史や	びに共同体がも 文化」と現代社 こついて学習す
到達目標	–		こついて、歴!			する。		
授業回数	授	業内容	ア及び 1	計画	=	事前•事後 (学習課	学習 担当者	名 授業形態
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第11111111	「暮暮神神川川川 では、 「春春神神川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川	化」の① (化」のの② のの② いののののののののののののののののののののののののののののでのでででででででで	ージ① ージ② 一① ー②	展望		事前の学に、事習に、事習に、のでは、事では、事では、事では、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、	課題は、	講義
テキスト	各講義で、	随時紹介す	る。					
参考文献	各講義で、	随時紹介す	る。					
他科目との 関連	沖縄の生活 [、] 上げる。	や文化を理	解・考察する	ことを	通して、氵	中縄におけ	ける医療や健	康の問題を取り
成績評価の 方法	毎回の出席	カード						
学習相談• 助言体制	毎回の授業	の前後に質	問を受け付け	ける。				
授業改善の 特記事項	出席カード	や授業評価	に記述された	要望なる	どを必要に	に応じて随	i時取り入れ [、]	ていく。
備考								

	目	121	10						担当教員	〇山口賢一			
	開講年	F 次	2年	次 前期	単位数	2 単位	科目	Let	***		授業		-44 3/4
	選択心	公修	選	量 択	時間数	30 時間	分類	教	(養科目		形態		講義
履修	前提	科目	なし								1		
履修条件	その)他	なし										
	授業概	既要	解る	社会学の基礎理論をふまえ、個人と社会、集団、地域社会、社会文化等についての理 異を深め、情報化社会、少子高齢化社会、グローバリゼーション等についての問題を なり上げ、事象の多面的な捉え方について学習する。									
	到達目	目標	社会	社会学の基礎概念およびテーマを理解し、批判的思考を養成する。									
	授業回	回数		授 業 内 容 及 び 計 画 野前・事後 学習 (学習 課題)							担当者	名	授業形態
	第 1	口	社会	会学とは(可か/社会	会学的想像力			テーマに	.,.	ЩЕ]	講義&エク
	第2	口	社会	を観察す	する方法				ってテキ ト、参考				ササイズ
	第3	口	社会	で生きる	る「私」				献を講読				
	第4	口	変名	アナる家族	笑のかた`	5							
	第5	口	性の	多様なな	あり方をき	考える							
	第6	口	「玛	見実を生き	きる」たる	めの社会学							
	第7	口	環境	き・災害	土会学								
	第8	口	逸朋	紀行動と初	土会問題。	/社会学と医	療						
	第9	口	「榕	各差」の社	土会学								
	第 10	口	生活	5空間と1	しての地域	域社会							
	第 11	口	グロ	コーバル	土会とエ	スニシティ							
	第 12	口	宗羲	女から社会	会を捉えん	る							
	第 13	口	社会	きの中のカ	メディア	/メディアが	動かす	社会					
	第 14	口	国家	そと社会道	重動								
	第 15	口	総招	5									
	テキス	スト	篠原	清夫・栗	至田真樹綱	扁『大学生の	ための社	上会学入門	見見洋書	房			
:	参考了	文献	講義	中に適宜	指示する	á.							
化	也科目 関連		授業	授業科目全般									
,	成績詞の方	平価 法	定期	試験(40	0%)、5	プレゼンテー	ション	(40%)	出席・講	義参加	加度(2	0%)

学習相談 · 助言体制	受業毎に質疑応答により理解を助ける。							
授業改善の 特記事項	授業毎に一分間メモを用いて疑問点をくみ上げ、次回の授業に反映させる。							
備考	研修室および電子メール情報については授業内で適宜案内する。定期試験は期末筆記 試験あるいはレポート提出。							

科 目 コード 1	2120 授 科目		法 学 (Law)			担当教員	С			(非常 (非常 (非常	
開講年次	3年次 前期	単位数	2単位	科目	+1.1.	学 初日		授業		⇒#±	¥
選択必修	選択	時間数	30時間	分類	教	養科目		形態		講	義
履前提科目	なし										
履 修 条 件 そ そ の他	なし										
授業概要	「法」とは何か、法のしくみ及び基本原理を正しく理解し、日常生活において生ずる様々な問題を法はどのように処理、解決しているのかについて学習する。また、生命を尊び、人権を尊重することを理解するために、日本国憲法の基本的人権の章に焦点をあてて学習する。										
到達目標	2. 憲法及	する基礎的約 び刑法で用い 会で起きる事	られる基本的	内な原理	概念を	理解し、記	说明す	るこ	とが	できる	0
授業回数		授業内	容及び計	画	-	事前・事後 (学習課題		担当和	者名	授業	形態
第1~7回	I 法学入門──日常生活と法 (1)法の世界へようこそ (2)法の実現は裁判で──訴訟手続 (3)裁判に関わる人々 (4)日常生活と契約 (5)日常生活とアクシデント (6)雇用社会のルール (7)家族関係と法							義			
第8~14回	II 憲法と刑法 (8)憲法とはどのようなものか (9)憲法上の権利 (10)統治の仕組み(1)国会と内閣 (11)統治の仕組み(2)裁判所 (12)統治の仕組み(3)地方自治 (13)憲法と刑法(1)罪刑法定主義 (14)憲法と刑法(2)錯誤論,共犯論								義		
第15回	Ⅲ 講義のまとめ (15) 講義のまとめと試験 吉 本 講 義							義			
テキスト	初回講義	時に提示する	0								
参考文献	講義中に	適宜提示する	0								
他科目との 関連	授業科目金	全般									
成績評価 の方法	学期末試験										
学習相談 · 助言体制	講義中に知	講義中に質疑を受け、対応する。									
授業改善の 特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。										
備考		ひ習慣を身に 伏(養護教諭			めの必修科	· 目。					

科 目 コード 1	2130 授業 科目	経済学 (Economics)				担当教員	C	○狩俣一郎(非常勤)					
開講年次	2年次 前期	単位数	2単位	科目分類	教	養科目		授業形態	講義				
選択必修履前提科目	選 択 なし	時間数	30時間										
履前提科目修条件 その他	なし	なし											
授業概要	経済学の基本	的な知識と	: 医療経済学(の知識を	用いた実置	浅能力を	学ぶ。						
到達目標	我が国におけ 医療の現場に	経済理論の基本的な理解。医療経済学の基本的な理解。 我が国における社会保障と医療経済の現状の理解。 医療の現場における医療経済学の理解。 医療経済学の知識を用いて現場での実践的な活動計画の検討ができるようになる。											
授業回数	授	業内容	ア 及 び	計画	事	事前・事後 (学習課	:学習 題)	担当者名	授業形態				
第1回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	需要と供給でいません。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	(価格はとという) (世界) (世界) (世界) (世界) (世界) (世界) (世界) (世界	うやって決ま どうやって 済 (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	(まるの)		事前、事習やい義に各講る。	課題は、	狩 俣	講義				
テキスト	項目ごとに	オリジナル	資料にて講義	を行うσ	で、その	他のテキ	スト	は使用し	ない。				
参考文献			掲載できない 高校生からわ					布する。 可出書房第	新社 他				
他科目との 関連	授業科目全般	<u>.</u>											
成績評価 の方法	授業参加状況	授業参加状況 (30%) + レポート (30%) + 期末試験 (40%)											
学習相談・ 助言体制	講義中に質疑	講義中に質疑を受け、対応する。											
授業改善の 特記事項	授業評価に記	述された授	業への要望	等を必要	に応じて国	反り入れ`	ていく	. 0					
備考	経済学の初歩的な理解を得て、興味を持ってもらうことを目的としています。 また、医療経済学の基本を学び、実践に生かせる知識の取得を期待しています。												

Ħ

科 目 コード 1	2160 授業 科目		情 報 (Informat	学 tics)		担当教員	С	米盛徳	市(非	常勤	j)
開講年次	2年次 前期	単位数	2単位	科目	数	養科目		授業	÷	善	義
選択必修	選択	時間数	30時間	分類		ZTI F		形態	"		7.0
履前提科目	なし										
履修条件 その他	なし										
授業概要			報の本質に関 結びつく情報						的思考	斧活 重	動や社
到達目標	2. 情報およ 3. 調査デー	、びデータの -タを用いた	rの活用方法に 分類につい :情報処理を行]することが	て述べる 行うこと	ことができ	きる。	3.				
授業回数	授	業内容	ア 及 び	計 画	事	事前・事後 (学習課)	·学習 題)	担当者	名:	受業	形態
第1回 第2回 第3回 第4回	ICTについて 情報の活用と	情報とリテラシー:情報とは何か ICTについて:インターネット技術と仕組み 情報の活用と発信:ブラウザによる情報の活用 レポート1								講	義
第5回 第6回 第7回	データ処理 2 データ処理 3 データ処理 4	1:データの分類と尺度 2:数値とカテゴリーの扱い 3:基礎的データ処理の考え方 4:2つのデータの組み合わせ 5:2つ以上のデータの組み合わせ									
第8回 第9回 第10回	データ処理 6	5:高度なラ	ータ集計法	と適応範	囲	レポート	3				
第11回 第12回 第13回 第14回	R言語による R言語による R言語による	タ処理環境の選択とツール: Excelと統計ソフト								習	
第15回	まとめ	月 甲 大学・土伊	マロキ・ブ ロン	*未印		ν I.	1				
テキスト	R 初心者の7	ための ABC	シュプリンカ	iー・ ジャ	ァパン(演習	習用)、講	義は	配布資	料を基	まに彳	ラう。
参考文献	講義時に紹	介する。									
他科目との 関連	授業科目全	般									
成績評価 の方法	出席 10%、演習参加状況 40%、試験 50%										
学習相談 · 助言体制	講義は全体に提出を求	で3回レポ め、講義内 	ートを課す。 容について <i>の</i>	演習は行)理解を加	毎回レポー 広げ深める ———	- トを課す 方法の体 	ト。 レ 本験 を	√ポート ←促す。 ——	は次回 	回授:	業まで
授業改善の 特記事項	講義および	演習内容を	伝達するため	の資料を	全毎回作成	、配布す	-る。				
備考											

科 目 コード ¹	授業 科目		哲 (Philoso	学 ophy)		担当教員	〇大	城信	哉(非	常勤)
開講年次	1年次 前期	単位数	2単位	科目	粉え	 養科目		業	講	義
選択必修	選択	時間数	30時間	分類	47.1	***************************************	形	態	0111	· 32
履 前提科目	なし									
履 修 条 件 その他	なし									
授業概要			のありよう て、哲学とは			考察す	る力を身	につり	けられ	るように
到達目標	1. 批判的に 2. 哲学的な ²								0	
授業回数		授業内	容及び	計画		事前	カ・事後学習 学習課題)	担当	省者名	授業形態
	講義担当者は る)、受講者が 以下はあくま 君に哲学にこ ぜひ聞かせて	ら問題提起 で叩き台と ういうこと	があればそ して提示する	ちらを優 ものでは	先しても良 ある。受講	:V。 者諸 ば、	講義時は			
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	講義概要お考 哲学という考 哲学という考考 哲学という考え 哲学の始原(え方につい え方につい え方につい え方につい るために	て(1) 反 て(2) 自 て(3) て(4) 人	省という 然と規範 私」とは 間である 代ギリシ	うこと ^危 は誰か ること	作り 説に予しはる。	明。全体的 言 う な ら 習は不要、 か し 復 習 必 要 で あ	大	城	講義
第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	哲学の始原(哲学の始原(哲学の始原(現代社会と哲: 現代社会と哲: 現代社会と哲: 現代社会と哲:	3) 4) 学(1) 学(2) 学(3)	ファ を を 美 生	・クラン・プラトン・ ラトストでは ・学につい ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	マ テレス いて いて こついて いて					
テキスト			宜配布する。							
参考文献	教室にて指え	示する。								
他科目との 関連	合理的かつ	批判的な思	考はすべての	学問に	<u></u> 必要なので、	、他科目	 目全般にi	 通じよ	 :う。	
成績評価の方法	全15回を終もしれない。	えたあとに ,ここのと	レポートを調 ころは第1回	果すつも 団講義時に	りだが、受 こ受講生諸	講者の君と協議	希望によ・ 議したい。	ってに	試験	にするか
学習相談 · 助言体制	講義中もし	くは講義終	了時に質問あ	るいは村	目談してく	れたら、	その都具	度対応	する。	5
授業改善の 特記事項	諸君の気づい	ハたところ	業への要望等 があれば言っ	てほしい	、改善す	べきとこ	ころがあれ	にば随	時改	善する。
備考	考える問題	とは生きる	は必要とした こと、自分自 一部専門家た	身である	ること、正	しくあ	ることな	ど、す		

科 目 コード 1	1110 授業 科目		心 理 (Psychol			担当教員		○渡久□	山朝裕
開講年次	1年次 前期	単位数	2単位	科目		教養科目		授業	講義
選択必修	必修	時間数	30時間	分類				形態	HT 42
魔 修 条 件 その他	なし								
条件 その他	なし								
授業概要	心理学の主要 深め、心理現								
到達目標	2. 人間の心3. 自己およ	いと行動の話 で他者の内 くと心の健康	学び、適切に 特徴を知る。 所面で動いてい ほについて理解 「知る。	いる心理	現象に	-	ができ	きる。	
授業回数	授	業内容	及び計		事前・事後	学習	担当者名	授業形態	
第1回	授業の概要説						渡久山	講義	
第2回	心理学とは					P1-12			
第3回	感覚と知覚①)				P13-31			
第4回	感覚と知覚②								
第5回	記憶					P33-51			
第6回	学習					P73-94			
第7回	感情と動機へ	がけ				P95-118			
第8回	性格とパーン	/ナリティ				P119-134			
第9回	社会と集団					P143-166			
第10回	発達①					P167-194			
第11回	発達②								
第12回	心の健康①					資料			
第13回	心の健康②					資料			
第14回	フロイトの精	青神分析: 理	1論と治療法			資料			
第15回	医療・看護と	心理				P223-242			
テキスト	系統看護学講	摩 基礎分)野「心理学」	: 山村豊	豊・髙橋	一公 医	学書院	¥2, 300	
参考文献	適宜、紹介す	⁻ る。							
他科目との 関連	「人間関係論	計」「臨床心	理」での学習	につなり	げる。				
成績評価 の方法	ミニ・レポー								
学習相談・ 助言体制	毎回の授業の等を記述させ)終了時に捌 と、次回の招	是出させる出 受業の冒頭で	席カード 説明・補	に、理 i足を行	解できなか う。	ったト	内容、疑問	別に感じた点
授業改善の 特記事項	心理学の様々 課すことで心								
備考	テキストの認	を当ページを	:読んで授業に	こ参加す	ること。)			

科目コード	刊 11130 授業 科目	教 育 (Educat			担当教員	○浅	影誠(非	常勤)			
開講年次	2年次 前期 単	i位数 2単位	科目	数衰	· 養科目	授弟	三古	養			
選択必修	選択時	間数 30時間	分類	43.1	₹/11 H	形創	AN IN	· 找			
履 前提科目	なし										
条件その他	なし										
授業概要	法 授業 ワークミ	育 学校外教育 教 ンョップ 教科外教 E創造と教育 参加									
到達目標	2. 受講生相互の	1. 教育についての関心・認識・考えを広げ深めること 2. 受講生相互の協同的知的活動を通して、教育の前提である人間関係を広げ深めること 3. 教育的発想・教育的関わりの初歩を体験的に学びとる									
授業回数	授業内	羽容及び計画		事	前・事後学習 (学習課題)		当者名	授業形態			
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	教育と人間関係 学校 学習 教育内容 出会い/発見・協同 教科 学校と社会 教育環境 教室 相手・課題・場面に応じた指導方法 人生創造と教育 生涯学習 進路指導 参加型教育 1 参加型教育 2 健康と教育 国際的難題と教育 世界と教育 世界と教育 政治経済と教育 同上 自己評価 他者評価 「浅野誠ワークショップシリーズNo.7 楽しいワークショップ」										
他科目との関連	授業科目全般	し・人生おこしの教	7727 127								
成績評価の方法	1) 毎回のレポート (予習・中間メモ・最終メモを含む) 7 回 各 1 ~ 0 ポイント 2) 特別レポート 3 回 各 5 ~ 0ポイント 3) ワークショップつくりなど、授業過程での貢献 随時0~3ポイント 以上の総計×4で算出した点数を、看護大学評価基準にあてはめて評価する。										
学習相談 · 助言体制	授業前後の時間で	の面談 メールによ	る相談								
授業改善の 特記事項	授業評価に記述さ	れた授業への要望等	 を必要に	<u></u> 応じて取	り入れてい	, ``\					
備考		っつ、クラスメイトと のをこなすという受									

科 目 コード 1	1160授業 科目		文 学 (Literat	ure)		担当教員	0	○波平八郎(非常勤)		
開講年次	1年次 前期	単位数	2単位	科目	教	養科目		授業	講義	
選択必修	選 択 なし	時間数	30時間	分類				形態		
履前提科目 条件 その他										
件 その他	なし									
授業概要			ように、文学 文学作品につ		-	享受する	ための	の様々な力	が法論を概観	
到達目標	2. ある物語	唇についてる	理論を説明で の理論を適か で学の代表的に	用して分析			-	ることが	できる。	
授業回数	授業内容及び計画 事前・事後学習 (学習課題) 担当者名								投業形態	
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第13回回回回回回回回								講義		
参考文献	-	三郎『新しい	・文学のため トセンター編	こ』(岩波		』(沖縄暭	寺事出	版)		
他科目との 関連	他のすべての)科目をとお	さして、言語:	表現の方法	生について	「意識的~	である	ことを心	がけること。	
成績評価 の方法	出席10%、常	学習参加状況	・ 課題レポ [、]	ート20%、	試験70%	, 0				
学習相談 · 助言体制	授業に関する質問はメールで送ってください。 namihira@okigei.ac.jp (沖縄県立芸術大学)									
授業改善の 特記事項	教員と学生の トや意見の多	のインタラク 養表が求めら	クティブ(対 られます。	話的)な	授業にす	るために	、受詞	帯生は授 業	と かい	
備考	なし									

科 目 コード 1	1170	授業科目		歴 史 (Historical	学 Science)	担当教員		前田	勇樹(非常勤)		
開講年次	1年次	前期	単位数	2単位	科目分類	教	養科目		授業形態	講義		
選択必修履前提科目	選なし	択	時間数	30時間	刀坦				/// / / / / / / / / / / / / / / / / /			
履 前提科目	なし											
授業概要		や文化だを学習で		に作られてき	たかを理	里解するた	こめに、人	.間の	活動や	人物像を通して		
到達目標	通して 習得を	本講義では、「遊び」「身近な歴史」「病気」「イメージ」「歴史的転換期」など各テーマを 通して、琉球・沖縄の歴史を中心に歴史の「考え方」を学び、広い視野や柔軟な発想力の 習得を目指す。そのため、本講義の内容は琉球(沖縄)に留まらず、日本・小笠原・北海道 やアジアをはじめとする世界の歴史と関連させた内容となっている。										
授業回数		授	業内	を及び言	計 画	<u>.</u>	事前・事後 (学習課題		担当者	名 授業形態		
第1回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	大遊遊歴歴病病中琉琉琉琉学びび史史気気間球球球球	ガイダンス一覚える歴史から、考える歴史へ― 大学でのレポート・テスト・論文とは 遊びから考える① 琉球版人生ゲームをやってみよう! 遊びから考える② 「聖人上」と近世の琉球社会 歴史を歩く① 「上り口説」を歩いてみた! 歴史を歩く② 「書を持って街へ出よう」 病気と歴史 ペスト・梅毒の世界史 病気と歴史 コレラ・天然痘の世界史と琉球・沖縄 中間テスト 琉球・沖縄イメージの歴史① 近世〜明治期 琉球・沖縄イメージの歴史② 戦前〜復帰前 琉球・沖縄イメージの歴史③ 戦後から現在へ 琉球処分とその時代① 先行研究と歴史認識 琉球処分とその時代② 同時代を広い視野から								リリリテ オリリリリテ オリリリリリア オリリリリ		
テキスト	安動房型を 新名 東北 の 7 年) オーシ	特になし。講義の際にプリント配布 安里進他『沖縄県の歴史』(山川出版会、2004年)、石原俊『近代日本と小笠原諸島-移動民の島々と帝国』(平凡社、2007年)、上里隆史『マンガ 沖縄・琉球の歴史』(河出書房新社、2016年)、『沖縄県史』各論編6沖縄戦(沖縄県教育委員会、2017年)、『沖縄県史』各論編5近代(沖縄県教育委員会、2011年)、多田治『沖縄イメージを旅する』(中公新書ラクレ、2008年)、立川昭二『病気の社会史―文明に探る病因』(岩波現代文庫、2007年)、ティネッロ・マルコ『世界史からみた「琉球処分」』(榕樹書林、2017年)、ラブ・オーシュリ、上原正稔編『青い目が見た大琉球』(ニライ社、1987年)など※そのほか講義のなかで適宜紹介する。										
他科目との 関連	授業科	目全般	<u> </u>									
成績評価の 方法				スト20%、期 最後に書いて		, ,				. , - 0		
学習相談 · 助言体制			たことにつ		ートなど	を書かせ	て発展学	習を仮	- とす。ま	た、毎回質疑		
授業改善の 特記事項	講義内	容を伝	達するため	の講義資料	を作成し	て配布す	る。					

考 備

高校までの「歴史」は歴史事象や年号の暗記が主であるが、大学で学ぶ「歴史学」という 学問には暗記ではなく「考える」ことが求められる。ある物事や事件、出来事について時 系列から、広い視野から、もしくは今と繋げて考えることで、何気ない出来事から多様な 側面が見えてくるだろう。琉球・沖縄の歴史に関心のある学生や、沖縄の事もっと知りた いけど歴史の授業が苦手(嫌い)だった学生を歓迎します。

科目コード	1	4010	授業 日本語表現法 科目 (Japanese Language Communication						担当 教員				
開講年	次	1年次	後期	単位数	2単位	科目	+2.	· 学 心 口	授業	Y 22			
選択必	修	必	修	時間数	60時間	分類		養科目	形態	演習			
履前提利	斗目	なし											
履前提利 をのける	他	なし											
授業概	要	日本語潔・明	社会生活や職業生活においてスムーズなコミュニケーションをとるために欠かせな日本語による話し方及び日本語の特徴について学習する。特に、形式と目的に合った累・明瞭、正確かつ論理的に表現する方法を学ぶ。また、うちなーぐち(沖縄の方言の表現の特徴についても学習する。										
到達目	標	2. 自 3. 場	2. 自分の考えを日本語で的確に表現し、相手に伝えることができる。 3. 場面に合わせて適切な文体や敬語を使うことができる。										
授業回	数		授	業肉	容 及 び 計	画		事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	7 授業形態			
第33 第45 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 1 1 回 回 回 回		「								講義+演習			
第16回 第17回 第18回 第20回 第21回 第22回 第23回 第24回 第25回		日本語の単語① (複合語・派生語) 日本語の単語② (省略語) 日本語の表現① (慣用句) 日本語の表現② (ことわざ・四字熟語) 日本語の文のしくみ① (文の種類・動詞の基本) 日本語の文のしくみ② (受身文) 日本語の文のしくみ③ (可能文・間違えやすい表現) 日本語の文のしくみ④ (使役文) 日本語の文のしくみ④ (使役文) 日本語の文のしくみ⑤ (敬語の基本) 日本語の文のしくみ⑥ (敬語の基本) 日本語の文のしくみ⑥ (敬語の使い方・間違えやすい敬語)											

第27回	日本語のまとめ/中間試験―日本語の単語・文のしくみ・文体―	l II								
第28回	沖縄のことば①(琉球語の名称・範囲・区分・うち	沖縄のことば①(琉球語の名称・範囲・区分・うち "								
第29回	なーぐちとの違い・現状) 沖縄のことば② (琉球語の多様性・うちなーやまと "									
第30回	うぐち) 沖縄のことば③(うちなーぐちの音と文のしくみ) 期末試験	n								
テキスト	基本的にプリントを使用(喜屋武・仲原) 配布資料(伊狩)									
参考文献	野田尚史・森口稔(2004)『日本語を話すトレーニング』ひつじ書房 稲福盛輝(1992)『医学沖縄語辞典』ロマン書房 庵 功雄・日高水穂・前田直子・山田敏弘・大和シゲミ (2003) 『やさしい日本語のしくみ』くろしお書房 西岡敏・仲原穣 (2006[2000])『沖縄語の入門―たのしいウチナーグチ―』白水社									
他科目との 関連	授業科目全般									
成績評価 の方法	① 学習参加状況 (発表、小課題) 25%、試験 75% (喜屋武、伊狩) ② 学習参加状況 (コメントシートの提出) 25%、試験 75% (仲原) ①②を総合して評価します。									
学習相談 · 助言体制	小テスト、受講メモの取り組みや、スピーチやインタビューなど、次回の授業のための準備をしてもらい、授業内外での学習活動を促す。 沖縄方言による会話を暗唱できるように指導する。配布されたプリントや資料を2日以内に見直して講義をふり返る。									
授業改善の 特記事項	グループ活動を多用することにより、授業を活性化するとともに、ともに助け合いながら、 学び合う姿勢を育てる。 沖縄方言による会話例を講義資料として配付する。									
備考	*都合により、変更になることがあります。									

科 目 コード 1	授業 4141 科目		英 語 (English	I I)		担当教員	ОЦ	山城綾子		
開講年次	1年次 前期	単位数	2単位	科目		** ** * · · ·	授業	V4 77		
選択必修	必修	時間数	60時間	分類	į	教養科目	形態	演習		
履前提科目	なし									
履修条件 その他	なし									
授業概要		す) まで刻	果的に学習す	トる。ま	たコミコ	ュニケーショ	ンには不可	く)からアウ 欠な異文化理		
到達目標	2. 基礎的な	会話表現で用いる基本的な語彙を習得できる。 基礎的な文法を理解し、実際の会話で活用できる。 異文化理解を深めながら、自分の考えや意見を英語で表現できる。								
授業回数	授	業内容	及び言	一画	-	事前・事後 ⁴ (学習課題	学習 担当者》	名 授業形態		
第1・2回	Unit 0+1		Practice 1			P. 2-9	山城	演習		
第 3・4 回	Listening (Unit 2 +	Online Pra	actice 2 stening Quiz	9		P. 10-15				
第 5・6 回	Unit 3 +	Online Pra	_			P. 16-21				
第7回	Review Unit		occining quiz			P. 22-23				
第8.9回	Unit 4 +					P. 24-29				
第 10・11 回	Unit 5 +	Online Pra	stening Quiz actice 5 stening Quiz			P. 30-35				
第 12・13 回	Unit 6 +	Online Pra	_			P. 36-41				
第 14・15 回	Review Unit	ts 4 - 6				P. 42-43				
第 16・17 回	Comprehensi Unit 7 +	Online Pra	actice 7	7		P. 44-49				
第 18・19 回	Unit 8 +	Online Pra	stening Quiz actice 8 stening Quiz			P. 50-55				
第 20・21 回	Unit 9 +	Online Pra	_			P. 56-61				
第 22 回	Review Unit					P. 62-63				
第 23・24 回	Unit 10 +			1.0		P. 64-69				
第 25 • 26 回	Unit 11 +	Online Pa				P. 70-75				
第 27 • 28 回	Unit 12 +	Online Pa				P. 76-81				
第 29・30 回	Reading Quiz 11 + Listening Quiz 12 Review Units 10 - 12 + Reading Quiz 12 Comprehensive Session Final Examination									
テキスト	"Smart Choi Oxford Univ		Smart Choic	e Onlin	e Pract	ice and on	the Move"			
参考文献	講義中に適宜	[紹介する。								

他科目との 関連	今後学ぶ英語Ⅱ~IVに向けて語彙、英文法の基礎を固める。					
成績評価 の方法	定期試験 (20%) Listening Quiz (10%) Reading Quiz (10%) E-Learning (20%) 出席・講義参加度 (20%) Reading Rog (20%)					
学習相談 · 助言体制	受業毎に質疑を受け対応し理解を助ける。					
授業改善の 特記事項	テキスト内容を補充するQuiz及びE-Learningを毎回行う。 学習ストラテジーを用いた多読図書の導入を行う。					
備考	大学レベルの英和辞書を必携すること。 教員の免許状(養護教諭二種)取得のための必修科目					

科 目 コード 1	授業 4142 科目		英語 I (English			担当教員	○山均	 成綾子				
開講年次	1年次 後期	単位数	2単位	科目		教員	授業					
選択必修	必修	時間数	60時間	分類	教	養科目	形態	演習				
履前提科目	なし											
履前提科目	なし											
授業概要	英語 I で習得 コミュニケー			文法を活	かし、保	健・看護・	医療に関する	る基礎的な				
到達目標	2. 言語と文化	1. 基礎的な専門用語を習得する。 2. 言語と文化の関係を意識しながらコミュニケーションをとることができる。 3. 様々な場面や状況に即した対応を、英語を用いてスムーズにできる。										
授業回数	授業内容及び計画 事前・事後学習 担当者名 授業形態											
第1・2回	Introductio		1			P. 6-11		成 演 習				
第3・4回	Sentence Qu Unit 2		C + 0	. 0		P. 12-17						
第5・6回	Unit 3		Sentence Qu			P. 18-26						
第7回	Comprehensi	Vocabulary Quiz 2 + Sentence Quiz 3 Comprehensive Session P. 27-29										
第8・9回	Vocabulary		cabulary Qui Sentence Qu		1-3	P. 30-36						
第10・11回	-	Quiz 4 +	Sentence Qu	iz 5		P. 37-45						
第 12・13 回	Unit 6 Vocabulary	Quiz 5 +	Sentence Qu	iz 6		P. 46-54						
第 14 回 第 15・16 回		tional Vo	n cabulary Qui Sentence Qu			P. 55–57 P. 58–65						
第 17·18 回	Unit 8		Sentence Qu			P. 66-75						
第 19 · 20 回	Unit 9		Sentence Qu			P. 76-84						
第 21 回 第 22・23 回	Comprehensi	ve Session			7-9	P. 85-87						
第 24 • 25 回			Sentence Qu			P. 88-96						
第 26 • 27 回	Vocabulary		- Sentence Q ocabulary Qu		10-12	P. 97-103						
第 28 回		Quiz 11 +	- Sentence Q			P. 104-112						
第 29 • 30 回	Final Exam Final					P. 113–115						
テキスト		of Nursing	" NAN°UN-DO					I				
参考文献	"看護英語	の基本用語	と表現"メジ	カルビ:	ュー社							
他科目との 関連			や文法を土台 の基礎を学ぶ		専門関連	車科目で得力	た知識を生か	し、看護・				
成績評価 の方法			nce Quiz (19 y Quiz (10%)									

学習相談 · 助言体制	授業毎に質疑を受け対応し理解を助ける。						
授業改善の 特記事項	テキスト内容を補充するQuizを毎回行う。視聴覚教材や英字新聞を適宜使用する。						
備考	大学レベルの英和辞書を必携すること。 参考文献は出来るだけ入手して活用することを勧める。 学生の積極的参加が求められる。						

科目コード	授業 14143 科目		英 語 (Englis			担当 教員			 山城 山口 町口			
開講年次	2年次 前期	単位数	2単位	科目				 授業	<u> </u>	1		
選択必修	選択	時間数	30時間	分類	孝	效養科目		形態	講 表			
		- 1 F1 39K	00.4144									
履前提科目 その他												
一 その他	なし											
授業概要		読む、書くことを中心に英語を学習する。一般英文記事を読み、英文を正確に、かつ効果的 に理解し、自分の意見を英語の文章で論説的に表現することを学習する。										
到達目標	2. 英文を読み	1. 英文を読み、書くのに必要な基礎的語彙力を習得できる。 2. 英文を読み、書くのに必要な基本的文法を理解し使うことができる。 3. 様々な場面やトピックに合わせて英語で記述できる。										
授業回数	授業	授業内容及び計画 事前・事後学習 (学習課題)										
第1回	Introduction		1: D					Щ	城	講	義	
第2回	Timed Readin Unit 1	g I + Ke	ading Kog			P. 1-4		Щ	П			
	Timed Readin	g 2 + Wr	iting 1 + Re	eading l	Rog							
第3回	Unit 2	or 2 ± Was	iting 2 + Do	odina l	200	P. 5-8						
第4回	Timed Readin Unit 3	g 5 + Wr	Iting 2 + Ke	eading i	tog	P. 9-12						
	Timed Readin	g 4 + Wr	iting 3 + Re	eading l	Rog							
第5回	Unit 4	[W	:+: 4 + D	12 1	2	P. 13-16	;					
第6回	Timed Readin Unit 5	g 5 + Wr	111ng 4 + Ke	eading i	tog	P. 17-20)					
7,7 0 11	Timed Readin	g 6 + Wr	iting 5 + Re	eading l	Rog							
第7回	Unit 6	7 · W	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1. 1		P. 21-24	:					
第8回	Timed Readin Unit 7	g 7 + Wr	1t1ng 6 + Re	eading l	log	P. 25-28	2					
MOE	Timed Readin	g 8 + Wr	iting 7 + Re	eading l	Rog	1.20 20	,					
第9回	Unit 8					P. 29-32	2					
第 10 回	Timed Readin Unit 9	g 9 + Wr	iting 8 + Re	eading l	₹og	P. 33-36						
分10回	Timed Readin	g 10 + W	riting 9 + F	Reading	Rog	1.00 00	,					
第11回	Unit 10		-			P. 37-40)					
<i>₩</i> 10 □	Timed Readin	g 11 + W	riting 10 +	Reading	g Rog	D 41 47						
第 12 回	Unit 11 Timed Readin	g 12 + W	riting 11 +	Reading	y Rog	P. 41-44	ŧ					
第 13 回	Unit 12	J == "			,0	P. 45-48	}					
<i>₩</i>	Timed Readin	g 13 + W	riting 12 +	Reading	g Rog	D 40 50						
第 14 回	Unit 13 Timed Readin	g 14 + W	riting 13 +	Reading	r Rog	P. 49-52						
第 15 回	Timed Reading 14 + Writing 13 + Reading Rog Unit 14 P. 53-56											
	Timed Readin	_	riting 14 +	Reading	g Rog							
	Final Examin											
テキスト	"CNN Student	News for	r Reading an	nd Writi	ng" Asa	ahi Pres	S					
参考文献	講義中に適宜組	 四介する。										

科

Ħ

他科目との 関連	英語 I 、英語 II で培った語彙・文法を生かし、Reading と Writing のスキル強化を図り、 英語IVへの導入とする。
成績評価 の方法	定期試験 (30%) Timed Reading (15%) Reading Log (15%) Writing (20%) 出席・講義参加度 (20%)
学習相談 · 助言体制	授業毎に質疑を受け対応し理解を助ける。
授業改善の 特記事項	テキストに限らず附属図書館を利用して速読、多読を行うことで多くの英文に触れる。
備考	大学レベルの英和辞書を必携すること。 ハワイ研修セミナー参加及び課題提出により英語III(2単位)の認定を行う。

科コ	· 目	14	144	授業科目		英 語 (Englis	H IV)		担当教員		ОШ	口賢一	
閉	開講年次		2 年次	て後期	単位数	2 単位	科目	±	数養科 目		授業	講義	
逞	選択必修		選	択	時間数	30 時間	分類	£	X食付日 		形態	再 我	
履修条件	前提科目	1	なし										
条件	その他		なし										
授	受業概要)文献を読み ック・ライ					で、よ	り高度な読解	
1. 豊富な語彙力を身につけ、辞書を使いながら幅広い分野の英文を読むこ 到達目標 2. 比較的長い文章の構造や意味を理解できる。 3. 批判的思考(critical thinking)を通して英文を読み、自分の意見を表									-				
ž	受業回数			授	業 内容	: 及び言	十 画		事前・事 学習(学 課題)	後 習 担	旦当者名	名 授業形態	
第 1					& 英語文牌			各自で核した英文		Д П	講義&エク ササイズ		
第2						ングの構成		事を読み	۲.				
	3~5 回 5~14 回		講読+ライティング 文献紹介+ライティング						分からた 単語を訓				
	15 回								てくる。 レゼンラ				
			1,2 1,7						ション・	レ			
									ポート援 に向けた 備。				
ラ	テキスト		講義中に適宜紹介する。										
参	\$考文献		講義中	に適宜約	3介する。								
他	科目との 関連			門関連科目の知識も用いながら英語で書かれた英文記事(学術論文)を読み、英語 I~II で学んだ語彙・文法を活用してアカデミック・ライティングを行う。									
月	成績評価 の方法		定期試	₹験(40%	ん) プレゼ	ジンテーショ	ン (40%	6) 出席	• 講義参加	1度(20)%)		
学り	習相談 • 力言体制		各授業	美毎に質疑	足応答によ	り理解を助	ける。						
授集	業改善の 持記事項		各授業	美毎に一分	分間メモを	用いて疑問	点をくみ	タ上げ、ど	欠回の授業	だ反映	させる	5 .	
備 考 大学レベルの英和辞書を必携すること。スマートフォンによるネット辞書の利 定期試験は期末筆記試験あるいは英文レポート提出のいずれか。							ドの利用も可。						

科 目 コード 1	4211授業 科目		中国語 (Chines			担当教員	0	上江洲	基(扌	卡常勤))
開講年次	2年次 前期	単位数	2単位	科目	±21-	光 幻 口		授業		## **	
選択必修	選択	時間数	30時間	分類	教	養科目		形態	Ī	講義	
履 前提科目	なし										
履前提科目	なし										
授業概要	中国語の発音を学習する。										見
到達目標	· · · · · =	2握:①子龍	∃声」・第一声 員21ケと単む インを完全に	母韻、そ	の他の複合	合母韻と紅	組み合		の練	習	
授業回数	授	業内	容及び	計画		事前・事 (学習訳	後学習 課題)	担当者	音名	授業	形態
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	中国語はどういう言語か。漢字はどういう文字か。 声調(四声)・単母音・ピンインについて 声調の練習・子音 発音の練習・声調(第3声)の練習 第一課「「あなたは日本人ですか」 第二課「お茶を飲みます」 第三課(形容詞述語文) これまでの復習(声調・発音・ピンインの理解) 中国映画鑑賞 中国映画鑑賞 第四課(代名詞名詞)・映画で聞き取れたフレーズの解釈 第五課(所有を表す「有」と数詞 中国現代事情(雑誌の記すを参考にして) 中国時事のレポートを書く 期末テスト						事習て時に開いています。	į	洲	講	義
テキスト	初回講義で指	示する。									
参考文献	講義中に紹介	する。									
他科目との 関連	授業科目全船	ζ									
成績評価 の方法	試験 70%、提出物・発表 30%										
学習相談 · 助言体制	講義中に質疑を受け、対応する。										
授業改善の 特記事項	授業評価に記	 2述された哲	受業への要望等	等を必要	に応じて国	 反り入れ [、]	ていく	0			
備考	エチケットを守ること。学生らしくない服装厳禁。 本講義は初学者の為の「中国語」の講義である。中国語は独学することは絶対に不可能言語であるから、どのように中国語を学ぶかの手解きをする。同時に現代および歴史的国の事例を紹介しながら、今日の抱えている諸問題について考え意見交換を図りたい。 君達は将来の日本を担う若者であるから、日頃からそのようなニュース等に関心を払いこのような問題には真剣に取り組むように心がけていただきたい。								.的中 。諸		

科 目 コード 14	4212 授 科	業目	中国語 (Chines	ĔⅡ seⅡ)		担当教員	0	上江洲	基(非	常勤)
開講年次	2年次 後	期 単位数	2単位	科目	#∠/:	美 幻 日		授業	⇒	生 辛	ŧ
選択必修	選択	時間数	30時間	分類	教	養科目		形態	Ē.	冓 義	£
履前提科目	なし										
条件その他	中国語 I	を履修した者	を対象とする	,) ₀							
授業概要		I で習得した B ・看護・医療に									と
到達目標		語 I で学習し の中国語作文				う。「声	調」と	「発音	·」の	完全	
授業回数		授業内	容及び	計画	<u> </u>	事前・事徒 (学習課	後学習 題)	担当者	音名	授業	形態
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	第第第第中 第第第第中 期期 初八九十十国 11 十十十十国 末末 講回 末末 講回 まま 講師 まま 講師 まま ままままままままままままままままままままま	画鑑賞 課 課 課 課 課 課 與 定過去問題終 "		名詞 想""要"十場所 所詞 型	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	事前、事 [*] やつ義る。 	果題に 、各講		洲	講	義
他科目との関											
速 成績評価 の方法 試験70%、提出物・発表30%											
学習相談• 助言体制	講義中に	質疑を受け、	対応する。								
授業改善の 特記事項	授業評価	に記述された	授業への要望	皇等を必	要に応じて	取り入れ	にていく	<.			
備考	辞書必携	ら、NHK、ラ	ジオの「中国	国語講座_	を講義と	平行して	(学ぶ)	こと。			

科 目 コード 1	授業 科目		スペイン (Spanis	語 I h I)		担当教員	LO	土地リリ	ア(非	常勤)	
開講年次選択必修	2年次 前期 選 択	単位数 時間数	2単位 30時間	科目分類	教	養科目		授業形態	講	義	
履前提科目	なし			I				I			
履前提科目	なし										
授業概要			を学習すると る。また、異								
到達目標	実際のコミュ タスク:看護				スペイン言	吾が使え	るよう	になる。			
授業回数			容及び			事前・事 (学習記	課題)	担ヨ個		受業形態	
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第1112回回回回回回回回	発発発れは看妊動内ペルの 大ながいましまで、 アアクタンは、 大ながいで、 大ながいで、 大ながいで、 大ながいで、 大ながいできます。 大ないで、 大ないで、 大ないで、 大ないで、 大ないで、 大ないで、 大ないで、 大ないで、 大ないで、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	発音、アクセント 発音、アクセント 光音、アクセント お水をお願いします(名詞の性と数) はじめまして、武田カナです(動詞serの直説法現在) 妊娠4ヶ月です (動詞estarの直説法現在,基数詞1~10) 内科はどこですか? (動詞estarの直説法現在) スペイン語を少し話します(直説法現在の一ar動詞) アルコールを飲みません(直説法現在の一er動詞) 那覇に住んでいます(直説法現在の一ir動詞) 看護師が患者の問診を取る(スペイン語Iのまとめ) 口頭試験A(問診)								講義	
テキスト	高橋覚二/糸/ン語,看護・	魚川美樹/福 医療系語彙	畐地恭子/リラ 愛を中心に−。	ディア・ 』朝日出	サラ・カバ 出版社 200	×著『ケ 09年 2,	・テ・/ 100円	パサ?-	- 初級	スペイ	
参考文献	中萩エルザ著 3,600円	デ『暮らしの)医学用語辞	典(西和	1/和西) 』	インター	ーナシ	ョナル・	プレ	ス	
他科目との 関連	授業科目全般	į.									
成績評価 の方法	小テス 40%、	口頭試験	40%、授業へ	の参加的	態度 20%						
学習相談 · 助言体制	講義中に質疑	講義中に質疑を受け、対応する。									
授業改善の 特記事項	授業評価に記	述された接	業への要望	等を必要	に応じて耳	页り入れ	ていく	0			
備考	本講義は、看と話すための四億人の人々加し、スペイコミュニケー	・によって記 ・ン語の需要	舌されている 要が高まって	言語でな いる。i	ある。現在 講義を通し	一 語の基礎 のみなら 、 日本に て、スペ	一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ー また医療 育米やら 育米から 吾話者の	機関リの患者	でなるとのであるとのである。	

科 目 コード 1	4312 授業 科目		スペイン (Spanis	/語Ⅱ shⅡ)		担当教員	01	上地リ	リア(非常勤	勤)
開講年次選択必修	2年次 後期 選 択	単位数時間数	2単位 30時間	科目分類	教	養科目		授業 形態	Ē	溝 弟	ZA JIL
	なし	411.4224		1							
履修条件 その他	スペイン語 I	を履修した	者を対象と	する。							
授業概要	スペイン語 I 者との保健・					•					
到達目標	実際のコミュ タスク:看護					吾が使え,	るよう	になる	0		
授業回数	授	業内	容及び	計画		事前・事 (学習記	後学習 果題)	担当	者名	授業	形態
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第1112回回回回回回回回回回	スス水小よ何動入 tenercy lener と len	「いきせぎ)ル マ子で十で市のでまんー)ば さきす(下と 通通習((直あ け (すdo帰い者 訳訳習直直説り ま 目(自動(の	説法現在の7 法現在の7 法現在の?(は現か?(する) でのででである。 は、 ができる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	規則動詞 規則動詞 規 規 規 表 記 説 法 現 在 の イイイ	詞ir) poder) Eの不規則 ズ規則動詞 ン語I・Ⅱ		習課題、時に説			書	義
テキスト	高橋覚二/糸魚 語,看護・医	魚川美樹/福 療系語彙を	晶地恭子/リラ と中心にー』	ディア・`朝日出版	サラ・カバ 社 2009	·著『ケ・ 年 2,10	テ・/ 0円	パサ?	一初	級ス〜	ペイン
参考文献	中萩エルザ著 3,600円	『暮らしの)医学用語辞	典(西和	1/和西) 』	インター	ーナシ	ョナル	・プ	レス	
他科目との 関連	授業科目全般										
成績評価 の方法	小テスト 40%	、口頭試駅	倹 40%、授業	をへの参加	叩態度 20%	, D					
学習相談• 助言体制	講義中に質疑	を受け、対	 け応する。								
授業改善の 特記事項	授業評価に記	述された授	そ業への要望	等を必要	に応じて即	页り入れ [、]	ていく	Ō			
備考	本講義は,看 ながら新しい 者の患者と簡	護・医療系 事項を学/ 単なコミニ	系スペイン語 vでいく。ス ュニケーショ	である。 ペイン詞 ンが取れ	スペイン § I と II で 、る力を身り	語 I で学 修得した につける	えんだ! 表現を こと。	文法事. を用い,	項を , ス・	〒復網ペイン	関し、語話

科目コード	40011	授業科目	Ā	看護大学ゼミ (OPCN Semi			1 担当 1	山城 綾子	山口 賢一 渡久山 朝裕 (非常勤)
開講年次	1年次	前期	単位数	1単位	科目	粉	養科目	授業	演習
選択必修	必	修	時間数	30時間	分類		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	形態	18 日
履 前提科目	なし								
条件その他	なし								
授業概要	自らを また、 報告書	:総合的 問題の 持作成、]に振り返り 発見と解決	5問題を取り_ 0、客観的に 中のための必動 ームワークの つける。	自分の強 要なあら	みと弱み、 ゆる情報!	そして能 又集、図書	動的学習能 ・文献検索、	力に気づく。 論文読解、
 身近に起こっている問題をチームで絞り込むことができる。 絞り込む過程では、多様な情報収集を行うことができる。 図書・文献検索から、学術的情報にアクセスすることができる。 自分の意見が言え、他者の意見が聞ける。 自分の意見と他者の意見との違いを認めることができる。 チームの一員として自分の役割を見つけることができる。 チームの一員としてレポートの作成に参画できる。 チームの一員としてプレゼンテーションに参画できる。 チームとして個人として活動を振り返ることができる。 									
授業回数		授業	色 内 容	及 び 計	画		・事後学習 学習課題)	担当者名	授業形態
第1回	ゼミ	ナール	√Ⅰの導入(ゼミノートの	説明)		図書館、	金城	演習
第2・3回		プレゼンテーション入門 文献検索入門					処理学習室 びに教員の	、山口	伊 百
第4・5回			ルの紹介)探索/学習	習テーマの明確	権化	活用		渡久山南	
第6・7回 第8・9回			'ーク: 学 'ーク: 対	学習テーマの に献抄読	文献検索				
第10・11回 第12・13回			料、プレセ °レゼンテー	ヹン資料の作店 ーション	戉				
第14・15回 振り返り(チーム別)									
テキスト	演習	ノート	(個人なら	びにチームに	おける	学習活動の	ガイド)		
参考文献	●看護学生のためのよくわかる大学での学び方 ―スタディ・スキル/キャリア・デザイ/プロフェッショナル・スキル― (本学附属図書館の Maruzen e-Book Library 参照) ●KITIE (慶應義塾大学の「情報リテラシー」習得のためのウェブチュートリアルシステ、http://project.lib.keio.ac.jp/kitie/ ●ティップス先生からの7つの提案 学生編 名古屋大学高等教育研究センター http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seven/student/index.html								rary 参照) アルシステム)

他科目との 関連	情報リテラシシーの基礎づくり科目であることから、全ての科目の導入となる。
成績評価 の方法	振り返りレポート,あなたの率直な意見(30%) チーム別プレゼンテーションによる自己評価・他者評価(70%)
学習相談 · 助言体制	適宜、オフィースアワー (教員と学生が気軽に話せる場所と機会)を設ける。 学習相談等を通して把握した学習ニーズは必要に応じて教員と学生の双方向で共有する。
授業改善の 特記事項	クラスルールの作成例を提示し、グループワークによる追加修正の機会を設ける。 授業協力教員のプロフィール集を改訂し、学習資源としての教員活用を奨励する。
備考	学習時間を確保できるように、アルバイトやサークル等の時間管理を行なうこと。

//" ${ m I\hspace{-.1em}I\hspace{-.1em}I}$

専門関連科目 (専門教養科目)

科目コード	23141 授業 科目		医療と作 (Medical l			担当教員		大城信哉			ı	
開講年次	4年次 後期	単位数	2単位	科目	古田	明本公口		授業	=:	* *	•	
選択必修	必修	時間数	30時間	分類	导門	関連科目		形態	請	葬	Ê	
履前提科	すしなし											
修条 件 その他	3 5											
授業概要	問題および	人の誕生から死までの間に起こりうる様々な出来事について、医療現場で直面する倫理的 問題および法的問題に気づき、生命の尊厳を認識した望ましい行動が取れるための倫理的 基盤について学習する。										
1. 義務の思想から功利主義、さらに徳倫理学にいたる現代の倫理! 2. 生命倫理学の諸問題を適切に理解し、説明できるようになる。 3. 人間に対する理解を深め、自分の考えを語れるようになる。 4. 主要な医療関係法規の制定趣旨を把握し、看護師の職務を法的: 5. 医療事故における法的責任とその解決の仕組みを理解できる。												
授業回数	4	受 業 内	容及び言	計 画		事前・事行 (学習課		担当者	名	授業	形態	
第1回	8回目までの	イントロダ	クションン:	なぜ倫理	学を学ぶ			大坊	龙	講	義	
## o	のか	v= 11 - w)	中和子类	4. E. #-2	* 1 往 / 2			"				
第2回	義務論、リケ 理学	ヽ フリスム、	切利土莪、	共同仰土	、莪と偲倫			"				
	医療の臨床倫	角理と生命倫	論 理			予習は不	西 〕					
第3回	インフォーム	ムド・コンセ	ントとパター	ーナリズム	4	かし復習		//				
第4回	医療倫理と生	三命倫理				ずするよ						
第5回	脳死と臓器科	多植				(8回目)	まで)	"				
第6回	QOLと人為	ら的な死						"				
第7回	ケアとホスヒ	² ス						"				
第8回	人間理解の諸	皆相と看護						"				
第9回	法とは何かっ	-法の体系と	医事法学の	扱う分野	_				_			
	医事法規~係	R健師助産師 R健師助産師	「看護師法・	医師法•	医療法等			金高	司			
			の資格と職務			事前準備要。授業						
第10回	同上					配付する	る資料	. "				
						を試験ほ						
第11回	医療事故と法	长的責任				ち込みするので						
第12回	看護事故と法	长的責任				理•保管	する。	"				
第13回	紛争予防、楊	食々な医療関	J連紛争解決	システム		(9回目	以降)	"				
第14回	薬事法その他	也の関連法規	見					"				
第15回	医療従事者が	が知っておく	べき労働法									
								IJ				
テキスト	プリントを配っ 授業時に資料る)		l		I				
参考文献	教室にて指示	する。										

他科目との 関連	受講者諸君が看護の現場にいくまえに知っておいてほしいことで、全科目と関連しよう。
成績評価 の方法	レポートを課す。講義内容との関連がやや特殊なので初回に注意して聞いてほしい (8 回目までの大城担当分)。 出席及び試験により評価する。初回講義時に詳細を説明する。(9 回目以降の金高担当分)
学習相談 · 助言体制	講義中もしくは講義終了時に質問あるいは相談してくれたら、その都度対応する。
授業改善の 特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく他、学期中でも受講者 諸君の気づいたところがあれば言ってほしい。改善すべきところがあれば随時改善する。
備考	倫理諸問題は白黒はっきりした答えが出ることが期待しづらく厄介だが、看護職に就く人にはぜひ学んでほしいものである。受講者の積極的な参加を期待する(大城)。 医療が人の生命・健康に直接関わるものであるだけに、医療職にかかわる法制度は複雑で多岐にわたり、かつ日常的な職務遂行においてもこれらの問題に直面する。講義では、それぞれの法が制定されている社会的背景を明らかにし、これらの法律の内容を知識として詰め込むのではなく、それぞれが社会的な規範として制定されている趣旨を学ぶことによって医療関係法規への理解を深める。また、増大する医療事故紛争の実状を紹介し、それに対する法的責任のあり方と医療事故防止の方策を考える。

科 目 コード	22	2121	授業科目	(Epidemio	疫学と保健的 logy and Hea		(A, B) ormation (A, B)	担当教員		è城芳秀 念真樹			
開講年	次	1年次	前期	単位数	2単位	科目	専門関連科		授業	講義・演習			
選択必	修	必	修	時間数	45時間	分類	(保・看)	(保・看) 形態 "					
履 前提和	斗目												
条 件 その	他	なし											
社会環境の変化と健康問題との関連について理解を深めるため、健康増進、疾病予防と管理についての知識や方法論を学習する。また、人間集団における疾患の広がりとそのの型、さらにその分布に影響する要因について系統的に分析する方法論を学習する。さら統計学的なものの見方および考え方、データや情報の処理、要約、分析について学習で								りとその分布する。さらに、					
到達目	標	2. 3. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	学健康地矢暴矢をひを充みつって各外の統康城病露病学特学計割ががン種種態計概係頻勢・調徴的学合国国ピの機関・	査お念建度限し査をよりとのの工医園・よを(のの次法説因推母人人一療の分び理公指指予(明果論平口口タ情デ析情で欠くに、動き論してのかない。とは、ないないない。	活用たける。 に知る。にない、大きないでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	明知を受けた的、たびなべばないでで、一つでは、の死険理調・方つきるる用で根をといる。とは、ないのとは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないのでは、ないの	解を深め、主ない。 対を理解でを理解でを理解でを理解でを理解でをなどでできる。 対はなができる。 はは、でできる。 は、でできる。 は、でできる。 は、でできる。 は、でできる。 は、でできる。 は、でできる。 は、だいる。 は、だいる。	事項の説 、実際し、 コホート きる。	明ができ こ計算でさ 実際に言 、調査、無	る。 る。 算できる。			
授業回	数		授	業内容	及び計	画	事前・事 (学習記	後学習 課題)	担当者名	授業形態			
第1回		公衆征	動生と	健康の概念				公衆衛生と健康の概念 金 城					

授業回数	授業内容及び計画	事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態
第1回	公衆衛生と健康の概念		金 城	A • B
第2回	公衆衛生の活動対象としくみ			合同講義
第3回	集団の健康をとらえるための手法-疫学			
第4回	(高木兼寛と脚気)	学習個所は疫学		
第5回	疾病頻度の指標	情報ノートに提		
第6回	曝露効果の指標	示する		
第7回	疫学調査デザイン			
第8回	(事例:JPHC study)			
第9回	疫学的因果推論			
第10回	疾病のスクリーニング			
第11回	感染症対策			
第12回	(事例:感染症事例のリスクアセスメント)			
第12回	公礼学的张莎(但年/533 女亲 "校宁)			
第13回	統計学的推論(帰無仮説、有意、検定)			
第14回				
第15回				

第16回	テキストから担当テーマ、文献を選択	グループ演習	金城•	グループ別
第17回		"	知念	
第18回		"		
第19回		II.		
第20回		IJ		
第21回		"		
第22回		"		
第23回		JJ		
テキスト	はじめて学ぶやさしい疫学(改訂第3版)日本疫学 医療情報科学研究所 編集:公衆衛生がみえる 201			2018
参考文献	新谷 歩: みんなの医療統計 12日間で基礎理論と 守山正樹:ナラティブな公衆衛生学・社会医学 マ (http://social-med.blogspot.jp/)			受業
他科目との 関連	保健医療情報演習、地域保健看護への導入とする 本科目は保健師課程、看護師課程の読み重ね科目	-		
成績評価 の方法	確認 (20%) 、グループ演習 (20%) 、中間試験	(30%) および期末	試験(30%))
学習相談· 助言体制	講義前後の時間帯にオフィスアワーを設ける。			
授業改善の 特記事項	疫学情報ノートを配布する。学生自身が補完し、 グループ演習には小教室を2つ活用する。	授業に臨む。	_	_
備考	教員の免許状(養護教諭二種)取得のための必修	科目		

科 目 コード 1	授 3515 科目	11 141 1	健医療情報演nformation S				担当教員	O:	金城芳秀	知念真	[樹
開講年次	1年次 後期	単位数	1単位	科目	車	門関]連科目		授業	→	_
選択必修	必修	時間数	30時間	分類			·看)		形態	演習	3
履前提科目		建医療情報	4114						<u> </u>		
条件その他	なし										
授業概要	ために必要	報および知識な情報処理能力	力を学習する。	また、	保健看護	隻の	専門職と	して	健康に関す		
到達目標	 情報分 看護職 デー ・統計 	、情報および 分析ツールが活 機者に必要な基 タシートを作 と図表を作成す でセスメントに でながない。 「大概報につい	用できる。 本的な統計処 成することが ることができ 用いられる基	理ができ できる。 る。 本情報に	る。 こついて	説明	できる。				
授業回数	授	業 内 容	及び言	十 画		事前 (:	前・事後 ⁴ 学習課題	学習 [)	担当者名	授業	形態
第1回		青報および知識							金 城	演	習
第2回		引と個人情報の							IJ		
第3回	既存情報•	・文献の収集方	法						"		
第4回	"								"		
第5回	データ解析	斤と図・表の作	成(演習)				考文献な				
第6回	IJ						習すべき		知 念		
第7回	"						寅習ノー	トに	"		
第8回	"					提表	示する		"		
第9回	"								IJ		
第10回	"								IJ		
第11回	個人: 統	計解析レポー	ト、気になる[図/表					金 城		
第12回	"								IJ		
第13回	チーム:	統合プレゼン	テーション						IJ		
第14回	"								IJ		
第15回	保健医療情	青報の批判的な	:見方・考え方	î					"		
テキスト	はじめて覚	学ぶやさしい疫	学(改訂第3	版)日々	 ×疫学会	標準	<u>ー</u> 『テキスト	20	018		
参考文献		科学研究所 編集									m1
他科目との 関連		看護関連科目、 保健師課程、						,) ₀			
成績評価 の方法	個人評 チーム 評	平価: 統計解 平価: 統合フ	ア析レポート(゚レゼンテーシ	30%), 3 /ヨン (E	気になる 50%)	図/	/表(20%)				
学習相談 • 助言体制	講義後の問	寺間帯にオフィ	スアワーを設	设ける。							
授業改善の 特記事項	疫学会スプ	ライドコンテス	、ト 2017年作	品など、	関連資料	料を	配布する	00			
備考	基本的にも Aクラスは	再週水曜日に小 10月2日~1月2	 グループ単位 22日の2限目、	 で演習る Bクラス	— と行う。 は同期間	引の[1限目を消	習問	手間とする。)	

		I		1									
	上目	2	3122	授業	(Healt	保健医療福祉 h Care and We		vstem)	担当	4		川崎道 大湾明 勤)	
	ード			科目	(22332			<i>y</i> ,	教員		実務経験:	あり	
	開講年	次	3年次	前期	単位数	2単位	科目	専	門教養科目		授業	- " ` `	
ì	選択必	修	必	修	時間数	30時間	分類		(保・看)		形態	講	髮
履	前提和	科目	なし	_									
修条	その	他	なし	_									
Ī	講義概	要	療法・5	也域保険	法・社会福	雑多様化する 祉法など)、ま ・縄の保健医療	よび政策	 泛決定過	星について学	習す			
1115	到達目	標	医療 2. 看護 でき 3. 健や 4. 生涯	福祉の特 職者とし る。 かに生き 発達(母	特徴が理解で して看護を集 きるための施 母子・成人・	理念を踏まえ きる。 践するための 策・制度が理 老人) の各段	基本的な 解できる 階の基本	制度(医	療法・保健的 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	币助產	至師看護師		
Ī	講義回	数		授	業内容	そ及び計	· 画		事前・事後 ^会 (学習課題		担当者名	授業刑	形態
	第1回	1	我が国	の保健	医療福祉の理	里念と変遷			開講時に、	予	大 湾	講	義
	第2回	1	沖縄の	保健医	療福祉の特徴	数			習すべき	資	"		
	第3回	1	医療と	制度(医	[療法]				料、テキス	1	川崎		
	第4回	1	看護と	制度(保健師助産的	市看護師法なと	<u>,,,</u>		の頁、文献	等	"		
	第5回	1	公衆律	注施策	・制度(感染	染症法など)			を提示する	00	知 念		
	第6回		沖縄県	の保健	医療福祉(往	亍政組織など)			必要時レ	ポ	(非常勤)		
	第7回	1	沖縄県	の保健	医療福祉(四	対策形成過程な	えど)		ート等の	課	(非常勤)		
	第8回		生活を	支える	施策・制度	(生活保護法な	えど)		題を提示	す	牧 内		
	第9回		母子の	施策・	制度/学校保	健の施策・制	度		る。グルー	プ	川崎		
	第 10 [口	成人の	施策・	制度/産業保	健の施策・制	度		討議等を	行	牧 内		
	第11[口	障害児	の施策	・制度				う際は、必	要	知 念		
	第 12 [口	障害者	の施策	・制度				な事前・事	後	知 念		
	第 13 [口	高齢者	の施策	・制度				学習を提	示	大 湾		
	第 14 [口	人権養	護の施	策・制度/地	域づくり・また	らづくりの	の施策・	する。		"		
	第 15 [口	制度新たな	社会保	障の動き						IJ		
3	テキス	<u>۲</u>	標準保	健師講	座別巻1 保	 ブータ更新 健医療福祉行政社会福祉 健	攻論 医	学書院	2014		2013		
	参考文	献				、六法」「看護 で衛生がみえる							

他科目との 関連	沖縄の生活と文化、社会学、法学などの既習科目の内容を基盤として学習する。 本科目は保健師課程、看護師課程の読み重ね科目である。
成績評価 の方法	授業参加状況20%、レポート10%、筆記試験70%で評価を行う。
学生相談 · 助言体制	出席票に理解できなかった事項や疑問点の記載をもとめ、次回授業時に説明を補充し対応する。 履修上の問題は随時対応する。
授業改善の 特記事項	授業内容を補充・説明する資料を配布する。授業内容と保健師国家試験問題の関連を解説する。
備考	地域保健看護Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、地域保健看護演習、地域保健実習Ⅱの基礎となる授業である。

科 目 コード 23	授業 111	家族社会学 ociology of		ily)	担当教員	ОЩГ	賢一
開講年次	2年次 前期 単位数	1単位	科目	<u> </u>		授業	
選択必修	必 修 時間数	30時間	分類	専門	関連科目	形態	演習
履 前提科目	なし	•				1	
履 修 条 件 そ の他	なし						
授業概要	学生の積極的な参加を について考察できる。 象(家族の個人化、家	うに、家族に	こ関する	諸学説、玛	見代社会におり	ける家族と	その周辺の事
到達目標	近代家族の形成と変化 考察、発信を可能とす		会学的理例	解を深め、	批判的思考を	と通した家	族についての
授業回数	授業内	容及び	計画	<u></u>	事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態
第1回	社会学とは何か				テーマに沿 ってテキス	Д П	演習
第2回	家族の多様性と政治性	Ė			ト、参考文		
第3回	近代化と家族の変化				献を講読		
第4回	家族と貧困						
第5回	結婚						
第6回	就業と家族						
第7回	妊娠、出産、子育て						
第8回	親一成人子関係						
第9回	グローバル化と家族						
第 10 回 第 11~14 回	ジェンダーと家族 プレゼンテーション						
第15回	総括						
为 10 回	形 公 1白						
テキスト	岩間暁子ほか編『問い	いからはじめる	る家族社	会学-多様	化する家族の	包摂に向り	ナて』有斐閣
参考文献	講義中に指示する						
他科目との関 連	授業科目全般						
成績評価 の方法	定期試験(40%)、	プレゼンテーミ	ンョン(40%)、出	席・講義参加	度(20%))
学習相談・ 助言体制	授業毎に質疑応答に。		ける。				
授業改善の特 記事項	授業毎に一分間メモを	こ用いて疑問点	 点をくみ	上げ、次回	回の授業に反明	 央させる。	
備考	研修室および電子メー 験あるいはレポート技		 ハては授	 業内で適宜	<u>―――</u> 宜案内する。気	<u>ーー</u> 定期試験に	期末筆記試

科目	0	01.41	授業		身体活動			担当		○牧	内忍
コード	2	2141	科目	(Phys	sical Activi	ty Stud	lies)	教員		実務経懸) : あり
開講年		1年次		単位数時間数	1単位 15時間	科目	専門	関連科目		授業形態	講義
履前提和		なし		411.439.4						,,,,,	
条 件 その	他	なし									
授業概	要	エネ	ルギー	代謝,発育	要な個人的資 や加齢に伴う 活動の実施と	身体活	動の特徴や	,活動量	量の評	価法など	
到達目	標	2. 体 3. 生 4. 発 5. 安 6. 運	力・担注 音注 音時 か	抗力、エネ 病や健康増 」齢に伴う身 運動時の身 リットとラ	動の定義につないだって説のに表につないだって、いギー代謝の自進と身体活動については活動量の記では、メリット、経民、栄養に、	の仕組み 動の関連 いて理解 平価につ 継続要医	についてま についてま できる。 いて理解 について	里解できる。 できる。 述べるこ。	る。	ごきる 。	
授業回	数		授	差 業 内 名	卒 及 び 計	画	į	事前・事後 (学習課題		担当者名	授業形態
第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第		身エ生発 日 軍動の	動の種が 対して かいま	種類と体力・ 注謝と消費な 健康政策 に伴う身体活 で酸素運動に いトとデメリ	コロリー	動量の評 継続要因	価	本シラバ 本示す、計 に容のい、事 でで で で で で で で で で に で の に で の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に に に に に に に に に に に に に	受画の受講指	牧内	講義
テキス	<u>۲</u>	特に	指定し	ない。その	つど資料を配	付する。					
参考文	献				常識」講談社 ーチ」文光堂				_		
他科目と 関連	<u>.</u> の				、と健康教育」 意図した科目。		「地域保險	 建看護」	関連和	— <u>———</u> ∤目、選択	科目の身体活
成績評 ^の					更20%、小テ レポート10%	スト20%	が、期末テ	スト40%			
学習相認助言体					0分は質問・ る。質問事項						かせ、書面で
授業改善 特記事	-				トテストに合 蜂の実施およ						の対応可能性
備考	j				「学びを深め、 ったって制限等						 えしてもらう。

科 目 3	22143	授業科目	(英訳	身体活動記 : Physical Ac	侖演習 tivity S	Seminar)	担当教員		内忍 念康代 琴務経		
開講年次	3年次 育	前期	単位数	1単位	科目分	古田目	古名	. I	受業	\rightarrow +	: II
選択必修	選力	沢	時間数	30時間	類	等门 ·	関連科目	Ŧ	 態	演	图 ———
履 前提科目	なし										
条件その他	なし										
授業概要				影響を実感する 楽しさを体験し							
到達目標	2. 継続3. 自己	的な道の生活	重動を通し 舌の中に、	す影響を実感 て体を動かす 楽しく体を動 楽しく体を動	ことや仲 かす方法	: (日常生活	舌の動き	の中で	楽しく	体を	動かす、
授業回数			受 業 内	容及び言	十 画			事後学習	担当	者名	授業形態
第1回 第2~13回 第14·15回	* 最後 体	の 舌本動 が と 本動 が と 本動 が と 本動 を で あっ こ こ に 本 あっ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ 	コマ連続 演習」導 見る。 見る。 しさと。 しさる。 ビクス・	を観察し、運動 ずみに気づく、)運動習慣を評 続的に運動する ジャズダンスな を観察し、運動	全員で選問を記している。 か習慣を記している。 ではない。 では、 ではない。 ではな。 ではな。 ではな。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。	車動する。 平価する。 を整えて よる心身	開講年に提示	: 度始 <i>め</i> する。	牧知知知牧知	内念念かる	演習
テキスト	開講年	- -度初&	 かに提示								
参考文献	開講年	度初♂	かに提示								
他科目との 関連	「身体活	舌動論	」(1年次	:前期)							
成績評価の方法	授業へ	·の参加	加状況80%	っ、レポート20	%						
学習相談 · 助言体制	授業評 個別の	価に言相談り	記述された こは随時対	:疑問に関して 対応する。	は次回授	受業で取り.	上げる。				
授業改善の 特記事項	授業評	価に言	記述された	:授業への要望	等を必要	長に応じて]	取り入れ	1ていく	0		
備考				を希望する者に 施にあたって	_	ある学生に	は事前に	連絡を	するこ	- と。	

科目コード	2:	2142	授業科目		スマネジメン Management : He	and	康教育 ucation)	担当教員	○渡		俗 牧内忍 念真樹
開講年	次	2年次	前期	単位数	1単位	科目	声 田目	関連科目	3	授業	講義・演習
選択必何	修	必	修	時間数	30時間	分類	4111	判 连 们 日	1	形態	冊我 例 日
履前提科	斗目	なし									
履順提権 修条 件 その作	也	なし									
授業概	要	関する する。	特徴な また,	らびにスト	、レスのアセン 専門職者とし	スメント	およびスト	トレスマ	ネジメ	ントのた	, ストレスに i法論を学習 な健康教育の
到達目標	標	2. É 3. ブ	目らのフ ストレフ	スモールライスのアセス	ストレッサ、 イフイベント: メントとマネ こ必要な健康:	から発生 ジメント	するストレが実践で	レス反応 きる。	に気づ	らくことか	ぶできる。 実践ができる。
授業回数	数		ł	受 業 内	容及び言	十 画		事前・事 (学習		担当者名	授業形態
第1回		ガイタ	゛ンスお	およびストレ	/スマネジメ:	ントの概	要	本シラ に示す		渡久山	講義・演習
		スト	レス解	消法アンケ	ート			業内容	、計		
第2回		ストレ	ノスの本	(スト	レッサおよて	バストレ	ス反応)	画」に ての事		"	JJ
第3回			訓練法(レス評価およ	こびコー	ピング)	事後学 各講義 細指定	時に詳	"	IJ
		ストレ	⁄ス関連	薬患につい	って			神拍比	2117		
第4回		自律訓	練イメ	ージの練習	す 認知行動物	療法①				"	"
第5回		認知行	「動療法	②(詳細解	解説)ビデオ学	学習				11	IJ
第6回		予防的	コストレ	スマネジメ	ニントとリラク	クセーシ	ョン技法			11	IJ
		バイン	オフィ	ードバック							
第7回		中間	テスト							"	
第8回		健康	教育と何	保健行動						牧 内	講義・演習
第9回		健康征	行動理	論 1						知 念	IJ
第 10 回	可	健康征	行動理	論 2 (演習)						"	"
第 11 回	可	健康征	行動理	論 2 (演習)	、教育方法の	基礎				"	"
第 12 回	可	指導	案、教	育教材作成	について					牧内・	"
第 13 回	1	教育	方法に	関するグル	ープディスカ	ッション	/			知念	"
第 14 回	コ	教育	方法に	関するグル	ープディスカ	ッション	/			11	"
第 15 回	ī	教育	方法に	関するグル	ープディスカ	ッション	/			IJ	IJ
テキス	<u>۲</u>	荒賀直		 閑容子(編)	「公衆衛生看	 護学.jp	第3版	」イン	ターメ	ディカル	2011

参考文献	野村忍(著)「情報化時代のストレスマネジメント」日本評論社 2006 「包括的ストレスマネジメント」医学書院,「学校,職場,地域におけるストレスマネジメント実践マニュアル」北大路書房,「認知行動療法 100 のポイント」金剛出版,「健康教育論」メチカルフレンド社,「健康行動理論-実践編-」医歯薬出版株式会社 ほか
他科目との 関連	「地域保健看護」関連科目、地域における健康教育、学校保健領域との関わりを意図した科目とする。
成績評価 の方法	前半(心理担当)中間テスト50%、 後半(地域担当)授業参加状況・演習レポート20%、期末試験30%
学習相談· 助言体制	各講義中、終了後など定期的に質疑を受ける場面を設定し、講義内での説明を行う。
授業改善の 特記事項	授業期間中、2回程度学生による授業評価を実施し、その対応可能性に応じて、速やかな改善の実施およびその他必要に応じた説明を行う。
備考	なし

科目コード	2	1010	授業 科目	(Stri	人体の構造 ucture and F the Human	unction	ıs of	担当教員		○佐	白宣久	
開講年	次	1年次	前期	単位数	2単位	单位 科目		明年利 口		授業	業講義	
選択必	修	必	修	時間数	45時間	分類	- 専門原	関連科目		形態	p冉	我
履前提	科目	なし										
履修条件その	他	なし										
授業概	要	係を理	解し機	能と関連性	胞・組織・器官などの形態と構造を把握すると共に、人体全体の位置関 関連性をつけながら学習する。また、人間の生命現象がどのようなメカ いるかについても学習する。							
到達目	標	2. 人主 4. 主神 5. 神 6. 心主呼ホ 10. 主呼ホ 11. 2. 循眼消 12. 13. 14. 15.	体要要経え液臓要吸ル尿環や化殖がなな活えをのな器モ器器耳器器形骨筋動。構構血系ン系なな系の	成のの電 成造管のとのどど臓構さ位位位 すと・構そ構のの器造れ置置の る機り造の造機感のとると・発 細能ンと分を能覚名妊胎名名生 胞、パガ泌覚を器称娠	で児称称メ や体管ス組え不のとのをあ期を・カ 物循の交織、随構構メ排るの覚機ニ 質環名換を体意造造力除細発え能ズ をと称の把液にとをニすをよる 覚肺とメ握調調機覚ズス	こ骨創さ と重量する節節となって格え神 、環行ニ生のしを、をい系、経 そ、をズ体メて細こ理ての筋系 れ刺覚ム調カい胞れ解	理機収の ら激えを節ニるレらす解能縮機 の伝、理でズ自べにるすをの能 機導循解のム律ルよ。。解え理 を 能系環すそと神ある	すニ解 理つ系。ぞの系い養るズレ 解いの れ異のは吸。ム、 すて機 ホ常役分収	を主 る理能 ルに割子の理末 。解を モつをレメ	¥梢 - る解 ・ のと解いって を	の名称と の名称と 。 を理する 。 を理る 。 を理を理解	さ走行する。

授業回数	授業内容及び計画	事前·事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態
第 1 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回	人体の基本構成単位 "細胞" "遺伝情報"と"ヒトの発生" 運動とカルシウム貯蔵に重要な"骨格系" 体幹と四肢の骨格 人体の運動に重要な"筋系" 主な骨格筋とその機能 "脊髄と脊髄神経" 細胞に酸素や栄養を供給する"血液" 全身に血液を送り出す"心臓"	知なる講己ってたい。	佐伯	講義
第11回	血液・体液の循環を担う"血管・リンパ管系"			
第 12 回	酸素・二酸化炭素の交換を行う"呼吸器系"			
第 13 回	ホルモンによる生体機能の調節を行う"内分泌系"			
第 14 回	体液を管理する"泌尿器系"			
第 15 回	腎臓による"体液・電解質の調節"			
第 16 回	腎臓・肺による"酸塩基平衡の調節"			
	神経による生体機能の調節"自律神経系"			

第17回	思考と行動を司る"脳"
第 18・19 回	外界の情報収集を行う"感覚系・特殊感覚系"
第 20・21 回	体内に栄養を取り込む"消化器系"
第 22 回	次世代に命をつなげる"生殖器系"
第 23 回	異物や微生物から身体を守る"免疫系"
テキスト	細谷安彦・他 編訳: トートラ人体の構造と機能 第4版, 丸善 2012
参考文献	伊藤隆・高野廣子:解剖学講義 改訂第3版, 南山堂 2012 御手洗玄洋 総監訳:ガイトン生理学 原著第11版, エルゼビアジャパン 2010 入村達郎・他監訳:ストライヤー生化学 第7版, 東京化学同人 2013 北岡建樹:水・電解質の知識 改訂2版, 南山堂 2012
他科目との 関連	看護専門科目全般
成績評価 の方法	期末試験により評価する。
学習相談• 助言体制	自己学習によっても解消しない疑問などについては適宜対応する。
授業改善の 特記事項	試験結果及び学生の意見を参考にして、授業内容の改善を図る。
備考	講義では解剖生理学で学ぶべき重要事項について解説する。 医療や教育の現場で使える確かな知識とするために、講義を参考に自己学習を行うことにより理解を深め身につけていただきたい。

科コ	リード	2	大体の構造と機能演習 I (Laboratory Studies of Structure and Functions of the Human Body I) 大海真理子(非常動)							b)			
-	見講年 選択必		1 年次 必		単位数時間数	2 単位	科目分類	専門	関連科目	授形	7 =	[習	
履修	前提和		なし		31137	3 3 1 11.13							
条 件	その	他	なし										
授業概要 講義で学んだ知識を実践的に身につける目的で、心機能、呼吸機能などの 生体諸機能測定法や人体の構造・機能を把握し各グループごとに行う。													
1. 各臓器・器官系の位置と名称を覚える。 2. 各組織の構造とその機能との関連について理解する。 3. 画像検査から得られる情報について解剖生理学的観点から理解する。 4. 呼吸器・循環器機能の測定から得られる情報について解剖生理学的観点から理解 5. 血液などの生体試料の検査から得られる情報について解剖生理学的観点から理解									-				
1	授業回	回数 授業内容及び計画 事前・事後学習 (学習課題) 担当者名								授業	形態		
② 画像情報演習(及び人体模型観察の試験) 把握しておく必要がある。 ③ 人体解剖見学 がある。 ④ 脳波測定 比算 ⑤ 血圧測定 佐個 ⑥ 心電図 " ⑦ 腱反射・関節可動域測定・対光反射・眼底観察 " ⑧ ABO 式血液型検査/血液凝固実験/脳波解析 比算					佐 石比佐 比佐 "	演	習						
5	テキス	<u>۲</u>	教員が	作成す	つる「演習力	ガイド&レポー	ート」に	従って演	習を進め	る。	•		
参	多考文	献			2 編訳: 寺に適宜紹介	トートラ人体 トする。	の構造と	と機能 第	4版、丸	善 2012			
他	科目 と 関連	1 看讓男門科目全般											
	戈績評 の方法		演習へ	の参加	1状況、レオ	パート、テス	トにより	評価する。					
	習相認力言体		授業時	に質問	や相談に対	け応し、適宜即	力言を行	う。					
	業改割 時記事		学生の	演習達	を成度や理解	解度について:	適宜検言	付し、演習	内容の改	女善を図る) ₀		
備 考 演習内容に応じて数人を1グループにして演習を行う。													

科目コード	21	1012	授業科目	(Laborato	体の構造と bry Studies tions of th	of Stru	cture	担当教員	○佐伯	宣久
開講年》	欠	3年次		単位数	1単位	科目	真門	月関連科目	授業	演習
選択必修		必	須	時間数	30時間	分類	711	10.6.11 0	形態	
履 前提科 条件 その化	目	なし	なし 							
条件 その化	也	なし								
授業概要	要	臨地実習での経験をもとに、学生が小グループ単位で能動的に演習し、特に主要な人体の構造と機能について学習する。								主要な人体の
到達目標	票	これまでの講義で学んだことや臨地実習での経験に基づき、学生自身が設定したテーマについて学習し、その成果を発表することを通して、人体の構造と機能、疾患の病態を理などについてさらに理解を深める。								
授業回数	汝		授	業内容	ア 及 び	計画		事前•事後学習 (学習課題)	担当者名	召 授業形態
全15	田	成果を	発表す	る。	いて各グルー の授業で説明		し、その	与テいて き備する。		演習
テキス	١	特にな	い。				1		1	
参考文献	武	必要に		参考文献	を紹介する。					
他科目と 関連	の	看護専	門科目	全般						
成績評価 の方法		学習成果の発表とレポートで評価する。								
学習相談 助言体制		授業時	などに	質問や相談	に対応し、道	適宜助言を 	シ行う。 			
授業改善特記事項		設定で予定で		ーマの範囲	 囲を工夫して	こ、できる	るだけ興味	未あるテーマし	 こ取り組ん	しでいただく
備考		演習は	演習は3人程度を1グループにして行う。							

科目。	授業		労業し 月	- 計		担当					
コード 2	1121 科目	(Biod	栄養と作 chemistry an		tion)	教員	○新	城澄枝	き(非	常勤)
開講年次	1年次 後期	単位数	2 単位	科目	= H1	11111111111111111111111111111111111111		授業	##	ŧ ¥	ŧ
選択必修	必修	時間数	30 時間	分類	守[7]	関連科目	:	形態	請	葬	Ê
履 前提科目	なし						·	·			
条件その他	なし										
授業概要	生命維持や領ニズムを把握する健康問題スのとれた食	を学習する 共に、科学	。また、	メタオ	ドリック	ケ症値	詳に	関連			
到達目標	4. 食事の意 5. 生活習慣	種類、消化 一、高を を る を の で で に に た た た た り た に た り た た に た り た に た た に た た に た た た た	・吸収、代謝 養素の量と質 きる。 おける食生活 重症化予防に	と健康についると健康について、	との関係に ての理解を 問題との関 メタボリ	ついて説 深め、/ 連につい ックシン 食の自己	説明する マンド で ボール で 単能	ことが スの良い べること ームの概	でき ・食生 : がで 死念に	る。 E活に きる 基づ	0
授業回数	=	授 業 内	容及び言	上 画		事前・事 (学習部		担当者	'名	授業	形態
第1回	1. 健康と食			()		関連配布		新	城	講	義
第2回	2) 生体内環 3) 生物にと 4) 五(六) 大 5) 生体エネ 6) 栄養素等	環境の維持と つて食べる に栄養素につ ベルギー・A に摂取基準、	うこととは(打 ついて TP とエネルキ 日本食品標準	摂食の意 ドー代謝	義)	課題レポ 関連配布 課題レポ	i資料				
第3回	7) 正しい食生活(食事)とは 2. 消化器系器官と消化・吸収の概略						i資料				
1) 消化管ホルモン、代表的な消化酵素、 2) 小腸の構造と機能、管腔内消化と膜消化について、 3) 吸収経路(門脈系、リンパ系)と栄養素の種類 3. 細胞内小器官とその機能 4. 炭水化物(糖質)の消化・吸収と代謝						課題レポ 関連配布 課題レポ	i資料				
第 5 回	 3) 単糖類 4) 主 イ 後 5) イ 食 主 糖 が ん か と ま 解 が ん か ん か と れ と パ ペ ア ミ か ア ミ か ア ミ か ア ミ か か ア ミ か ア ア ミ か ア ア ア ア	二 と は は は は は は は は は に は に に に に に に に に に に に に に	唐質代謝 達系、グリコ 五炭糖リン 吸収と代謝 後能 と白質の化学は 後の膜消化と でででいる ででである。	経路 r ト) 4 の 一が で が で が 収 に と 路	回路 糖新生系 吸収	関連配布課題レポ					

第 6 回	7) たんぱく質の変性と消化吸収、低アレルゲン化 8) たんぱく質変性を利用した調理・加工例 6. 脂質の消化・吸収と代謝 1) 胆汁酸の腸肝循環 2) 長鎖脂肪酸のトリグリセライドの消化と吸胆 3) 中鎖脂肪酸のトリグリセライドの消化と吸収 4) 循環脂質の種類と役割 5) リポ蛋白形成の意義	関連配布資料課題レポート
第7回	 6) リポ蛋白の種類と機能 7) 体内でのリポ蛋白の移動と代謝 8) 脂肪酸代謝、コレステロール代謝 9) コレステロール代謝とステロイドホルモン産生 7. エネルギー代謝 1) 適正 P:F:C バランス下における三大栄養素のエネルギー産生相関 2) PFC アンバランス下でのエネルギー代謝例:糖尿病者と糖質抜きダイエット者のエネルギー代謝ー代謝 	
第 8 回 第 9 回 第 10 回	3) 脂肪酸のβ−酸化亢進とケトン体産生 8. ビタミンとミネラル	関連配布資料課題レポート
第 11 回	1) 食生活とメタボリックシンドロームの深い関係2) 過剰栄養・低栄養とインシュリン抵抗性	関連配布資料課題レポート
第 12 回		関連配布資料課題レポート
第 13 回	13. 生活習慣病重症化予防・治療の食生活(1) 1) 科学的根拠に基づいた減量の重要性 2) PFC バランスと疾患:糖質抜きダイエットの危険性	関連配布資料課題レポート
第 14 回	14. 生活習慣病重症化予防・治療の食生活 (2) 1) 四群点数法応用編:貧血,脂肪肝,糖尿病.腎症等 2) 体重計、血圧計、四群点数法活用で賢い食事管理	関連配布資料
第 15 回	15. まとめ: 沖縄百寿者に学ぶ健康のための食生活	関連配布資料 課題レポート
テキスト	資料を配布する。	
参考文献	「新しい食物学-食生活と健康を考える-改訂第2版」加展 「標準的な健診・保健指導プログラム(確定版):全4冊」 「健康の科学シリーズ9沖縄の長寿」日本栄養・食糧学会	厚生労働省健康局、平成19年4月
他科目との 関連	「栄養と代謝」の前半部は、後半部への導入とする。	
成績評価の 方法	出席 20%、学習参加状況・課題レポート 60%、小テス	F 20%
学習相談 · 助言体制	毎回の授業ごとに、関連のある課題レポートを課す。 しめ、講義内容についての理解を広げ深める方法の体験	
授業改善の 特記事項	講義内容を伝達するための講義資料を随時作成し、配	布する。
備考	なし	

科 目 コード 2	授業 1131 科目	(C	臨床薬 linical Phar		·v)	担当教員	O#	た定(非常	勤)	
開講年次	2年次後期	単位数	2 単位	科目	-		授美	举		
選択必修	必修	時間数	30 時間	分類	専門関	関連科目 70米 講義				
履 前提科目	なし			I			1			
条件その他	なし									
授業概要	薬物と人体と 体機能学、組 用と副作用、	暗菌学などの 薬の体内重	知識を基に 動態(吸収、2	学習する 分布、代	。また、臨 謝、排泄等	床的な立場) などを	場から、 学習する	薬剤の種 5。	類、主作	
到達目標	1. 薬物と人から説明 2. 病態生理 排泄等)	できる。								
授業回数		授 業 内	容及び	計 画		事前・事 (学習)		担当者名	授業形態	
第1回 第2回	総論 循環系治療薬 全治療薬)	亥 I (狭心痘	三治療薬,心 瘡	济梗塞 治	療薬,心不	P. 2	~17	未定	講義	
第3回	全冶療薬) 循環系治療薬Ⅱ(高血圧治療薬,低血圧治療薬,抗不整 P.18~46 脈薬,脂質異常症治療薬)									
第4回	消化系治療薬 ・制吐薬, 便		上潰瘍治療薬, 医, 下痢の治療		消化・制酸	P. 47	~69			
第5回	消化系治療薬 の治療薬)	≨Ⅱ(肝疾患	· 治療薬,胆道	道・膵臓	系治療薬, タ	导 P. 70 ⁻ P. 89 ⁻				
第6回 第7回	呼吸系治療薬 内分泌・代謝	系治療薬(医,甲状腺	尿疾患治療薬	P. 104 ² P. 126 ²	~125 ~130			
第8回第9回	高尿酸血症治 腎臓病治療薬 抗炎症・抗ア	区 (腎疾患治		(を強)		P. 131 ² P. 138 ²				
第 10 回 第 11 回 第 12 回	ホルモン剤 骨・カルシウ 感染症治療薬	(前立腺肥力 カム代謝薬 ミ(全身感染	、症治療薬, (骨粗鬆症治療	更年期障 療薬)			~169			
第 13 回	皮膚炎治療薬 神経・精神系 治療薬, 頭痛	於治療薬 I	(統合失調症)	台療薬,	不安・不眠	P. 170	200			
第 14 回	神経・精神系療薬、パーキ	⊱治療薬Ⅱ		療薬, て	んかんの治		~223			
第 15 回	がん治療薬 その他の治療					(1)				
テキスト	中原保裕: 如	L方がわかる	医療薬理学	2014-20)15, 学研,	2011.				
参考文献	講義時に紹介	する。								
他科目との 人体の構造と機能、人体の構造と機能演習 I 、栄養と代謝、微生物と免疫、病態 関連 論 I 、疾病論 II								5、病態生	E理、疾病	
成績評価 の方法	出席、レポー	一卜、筆記詞	大験で評価を	亍 う。						
学習相談 助言体制	毎回の授業の							 已載した出	席カード	
授業改善の特 記事項	テキスト内容	ぎを補充・診	説明する資料?	を配布す	`る。					
備 考 学生は次回使用のテキスト箇所および資料内容を読み、準備して授業に臨む。							受業に関	結む。	_	

科目コード	21160	授業 科目 微生物と免疫 料目 (Microbiology and Immunology) 担当 営賃弘(非常					英博(非常勤	動)			
開講年次	1 年次	後期	単位数	2 単位	科目	専門教着	· · · · ·	授美	業 講	義	
選択必修	必	修	時間数	30 時間	分類	411秋1	₹/17 H	形態	態	找	
履前提科											
条件その他											
看護を学ぶにあたり必要な、主たる病原微生物の特徴と感染・発症、および、生体的構 について学ぶ。そして、人間はどのようなしくみで病原微生物からからだを守っき きているのかを生体と病原微生物の相互関係の観点から学ぶとともに、免疫反応の多について理解を深める。また、新興感染症や再興感染症、院内感染や日和見感染等にて学び、感染予防を行ううえで必要な感染症の知識を修得する。							って生 多様性				
到達目標	2. 病 3. 新 4. 感	原微生物 興感染症 染予防や	から体を で再興感 感染拡大	染症、院内感 を防ぐための	機構に [~] 染や日和 感染コン	する。 ついて理解す。 和見感染等に ントロールに 生物や自然界の	ついて理 ついて理	解する	0	⁻ る。	
授業回数	-	授	業内	容及び	計 画	Ī	事前•事 (学習		担当者名	授業形態	
授業番号	ウィル	7 (1)	ナル 小田:	期に問題とな	スウイ	レフ	事後学	羽た1	佐伯	講義	
	I '			ラウイルス・カ				行って		一种	
2	I '	ウイルス (2) 主に成人期に問題となるウイルス いただきた " ー肝炎ウイルス、レトロウイルスなど い。									
3	ウイル	ス (3)	主に海外	で問題となっ	ている!				"		
4				ニボラウイルス 不全ウイルス]]		
5	細菌(1):総論	・ブドウ	球菌・連鎖球	菌など				"		
6 7				菌・コレラ菌 コプラズマ・		じ))))		
8		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				- 感染対策など			"		
9	/	-	() =/> -	E体防御機構					岸本		
(10) (11)				ど・移植免疫、 ドー・自己免疫					佐 (n)		
12		防と予			又次心。	元汉(1) 主/			"		
13				生虫、節足動					當眞		
(14) (15)		、・医動 [!] 、・医動 [!]		沖縄 生虫の観察実		生物など))))		
テキスト 藤本秀二 編著: わかる 身につく 病原体・感染・免疫 改訂第3版, 南山						百山堂 20	l 17				
医療情報科学研究所 編集:病気がみえる Vol. 6, メディックメディア 吉田幸雄・有薗直木: 図説人体寄生虫学 改訂 9 版, 南山堂 2016 篠永・野口・今泉・小川 監修:フィールドベスト図鑑 危険・有毒生物,学研教育出版 松島綱治・山田幸宏 監訳: 分子細胞免疫学 原著第 7 版, エルゼビアジャパン 20 高津聖志・清野宏・三宅健介 監訳: 免疫学イラストレイテッド 原著第 7 版,南 2009							014				
他科目との 関連 生活援助・療養援助技術 I 、病態生理、疾病論 I 、疾病論 II											

成績評価 の方法	期末試験及び講義で出される課題により評価する。
学習相談 · 助言体制	自己学習によっても解消しない疑問などについては適宜対応する。
授業改善の 特記事項	各種疾患に関する講義は「人体の構造と機能」「微生物と免疫」「疾病論 I・II」の4科目で網羅しており、過不足無く効率的に学習できるよう、毎年度授業内容を見直している。
備考	本科目では病原性を持つ生物とそれが原因で起こる感染症について講義を行う。 疾病論でも臓器別に感染症に触れるが、多くの感染症について、症状や治療を含めて 本科目で扱うことになる。 講義を参考に自己学習をしっかり行い理解を深めていただきたい。

科 目 コード 2	授業 1143 科目		病態生 (Pathophys			担当教員	〇未知	定(非	常勤)		
開講年次	2年次 前期	単位数	2単位	科目			1	受業			
選択必修	必修	時間数	30時間	分類	専門	月関連科目		形態	請	義	
履前提科目	なし										
履修条件 その他	なし										
授業概要	疾病の成り立 生殖器系、造 病態生理、症	血器系、膨	4・神経系、								
到達目標	 代謝性疾 きる。 腫瘍性疾 臓器・組 	患の病態生		ついて訪	色明できる) _o	生理、组	定状に	つい	て説明	うで
授業回数	授	業内容	ア及 び	計画		事前・事徒 (学習記	发学習 果題)	担当	者名	授業	形態
第1回	1. 病態生理 1) ①正常		めの基礎知記 型、②循環障		性、	P2-19		未	定	講	義
第2回		⊭症、⑥腫瘍	夢、⑦先天異 よる障害、⑨			P19-35					
第3回	2. 皮膚·体	温調整の異	常			P38-46					
第4回	3. 免疫によ	る防御の異	常			P48-63					
第5回	4. 体液調節	の異常				P66-79					
第6回	5. 血液の異	常				P82-99					
第7回	6. 循環の異常	常				P102-127					
第8回	7. 呼吸の異常	常				P130-149	1				
第9回	8. 消化・吸り 1) ①消化	収の異常 化管、②肝	蔵、			P152-179)				
第10回	2) ③膵肌	蔵、④腹膜	腔・腹膜・腸	易管膜		P179-187					
第11回	9. 腎•泌尿	器の異常				P190-208	}				
第12回	10. 内分泌・	代謝の異常	Í			P210-232					
第13回	11. 生殖の異	以常				P234-243	1				
第14回	12. 脳・神経	を、筋の異常	1			P246-268	}				
第15回	13. 感覚器の	異常				P270-278	}				
テキスト	系統看護学講	座 疾病⊄)なりたちと	回復の促	進② 病	態生理学	医学書	事院			

参考文献	ナースの内科学 改訂 7版 中外医学社 臨床病態学 1 NOUVELLE HIROKAWA 臨床病態学 2 NOUVELLE HIROKAWA 臨床病態学 3 NOUVELLE HIROKAWA
他科目との 関連	人体の構造と機能、人体の構造と機能演習Ⅰ、栄養と代謝、微生物と免疫、疾病論Ⅰ、 疾病論Ⅱ
成績評価 の方法	筆記試験(100%)、出席状況等で評価を行う。
学習相談 助言体制	講義の途中、あるいは講義終了時に質疑等を受ける。
授業改善の 特記事項	テキスト内容を補充・説明する資料を配布する。
備考	学生は事前に次回使用のテキスト箇所を読み、準備して授業に臨むこと。

科 目 コード 2	授業 2171 科目	(Re	リハビリテー habilitation	ション詞 n Medic	論 ine)	担当教員		 仁史(非 	常勤)	
開講年次	3年次 前期	単位数	1単位	科目	直門	関連科目	授	三 三 三	義	
選択必修	必修	時間数	15時間	分類	-4-1 10	A.E. 11 II	形		7%	
履 前提科目 条件 その他	なし									
条件その他	なし									
授業概要	リハビリテーションの語源である「ハビリス」を通してすべてのステージのリハビリテーション・ケアの内容を吟味する。緩和ケアのなかにいる人々や、改善しない重度の障害をおった人々、また命の終焉のちかい高齢者にも「ハビリス」の精神が行き届くよう、「介護期・終末期リハビリ」を提唱する。									
到達目標	標 リハビリテーション医療の流れについて理解する。廃用症候群について理解できる 期・終末期リハビリテーション」について理解できる。									
授業回数		授業内	容及び	計 画			• 事後学習 習課題)	担当者名	授業形態	
第1回	「ハビリス」		五酒から 11 ハ	ビリテー	ションのす	_		大田	講義	
第2回	リハビリテーションの語源からリハビリテーションの本質を考える。病期を通して廃用症候群の予防の必要生を理解する。「寝たきり老人の介護」を供覧。 芯から支える在宅リハビリ〜集団アプローチの意味〜中途障害者の苦悩を考え,在宅療法で孤立からの脱出,社会性の獲得のために集団アプローチが有用であること									
第3回	を理解する。 介護期・終末 急性期からの に捉え,終末	リハビリラ E期において	テーションの	を守るた	めにリハヒ	-				
第4回	超高齢社会の)介護予防 た高齢社会 には国民の なかせない	会は「異次元」 ○自助・互助い 、茨城県が	とも言 こ基づい 進めてい	われる。こ た「介護刊 るシルバー	-				
第5回~8回	リハビリテ・	ーション医	療について					伊志嶺		
テキスト	なし									
参考文献	「新・芯から支える」大田仁史著 莊道社 2006,「実践・終末期リハビリテーション」大臣 仁史監修著 莊道社 2003,「介護予防と終末期のリハビリテーション」大田仁史著 荘道 社 2015									
他科目との 関連										
成績評価の方法	成績評価 の方法 出席率とテストで評価する。									
学習相談 · 助言体制	講義終了後個	別に対応す	片る。							
授業改善の 特記事項	授業評価に記	述された接	受業への要望	等を必要	に応じて耳	すり入れ [、]	ていく。			
備考	主としてパワ	'ーポイント	、を用いて講	義する。						

科 目 コード 2	授 22152 科 [.	臨床心 Clinical Psy	理 ycholog	7)	担当教員	○渡	久山朝裕	大川特	巔子
開講年次	1年次 後期	明 単位数	2単位	科目	専門	関連科目		授業	# **	
選択必修	必修	時間数	30時間	分類	(保	只・看)		形態	講義	
履前提科目	なし									
条件その他	なし									
授業概要	人間の知的 際に体験し ト等が理解	とで、専								
1. 質問紙法や投影法などの心理アセスメントを体験し、分析してみること 2. 心理アセスメントの効能と限界を説明できる。 3. 臨床心理士など、心の専門家が記述した所見レポート等が理解できる。 4. 所見レポート等を看護実践に活用できる。									できる。	
授業回数		授業内	卒及び計	画		事後学	習:習	担当者名	授業	形態
第1回		要説明、看護	と心理アセス	メント、		資料	斗	渡久山	講	義
第2回	心理検査(知能検査、	の基礎 、発達検査、:	痴呆スクリー	ニング村	食査	P. 12-	-14))))		IJ IJ
第3回	人格検査(①エゴグラム	、バーンの交	流分析		P. 1	8	"	演習	• 講義
第4回	" (②HTPテスト(家屋・樹木・	人物描画	iテスト)	P. 24-	-25	"	演	習
第5回		"	IJ	: 특	事例研究	資料	斗	"	演習	• 講義
第6回		③質問紙法:				P. 1	6	"	,	''
	" (④質問紙法:	不安検査			P. 2	7	"	,	IJ
	" (⑤質問紙法:	うつ尺度			P. 2	7	"	,	IJ
第7回	" (⑥作業検査法	内田クレペ	リン精ネ	検査	P. 19-	20	"	演習	• 講義
第8回	" (⑦投影法:TA	Г (主題統覚権	倹査)		P. 22-	23	"	講	義
	" (⑧投影法:SC	Г (文章完成)	去テスト)	P. 23-	24	"	,	'J
第9回	" (⑨投影法:箱	庭療法			P. 64-	66	"	,	IJ
		観察面接室	見学、ビデオ	学習		資料	ł	IJ	,	IJ
第10回	" (⑩投影法:コ	ラージュ療法					"	演習	• 講義
第11回		ユングの分	析心理学、ビ	デオ学習	Z E	資料	斗	"	講	義
第12回	" (①投影法: ロ·	ールシャッハ	テスト	[,	P. 21	-22	"	,	IJ
		ピ	デオ学習					"	,	'J
第13回	"	: 🗆	ールシャッハ	テストI	I	資料	斗	"	,	IJ
第14回	所見レポ	ートの理解、	看護実践への	活用		資料	斗	大 川	,	IJ
ミニ・レポート 第15回 授業の振り返り、まとめ 渡							渡久山	,	IJ	
テキスト	「臨床心理	学」: 名嘉幸-	編著 中外區	医学社	¥2, 400			1	ı	
参考文献		「療法−エゴク 、ト入門−H7		_			ム医療	¥2, 678		
他科目との 関連	「心理学」	「人間関係論」	 」での学習を	土台にし	 _、さらに	臨床心理	- - 関学への)理解を深	 €める。	
成績評価 の方法	期末レポー	- ト40%、期末	三試験60%							

学習相談 · 助言体制	毎回の授業の終了時に提出させる出席カードに、理解できなかった内容、疑問に感じた点等を記述させ、次回の授業の冒頭で説明・補足を行う。 授業終了後はしばらく教室に居り、学生が個人的に質問できる機会をつくる。演習に抵抗を示す学生は授業外で個別指導の機会を設ける。
授業改善の 特記事項	この科目について、授業の最終日にアンケート調査を行い、学生たちから指摘された改善点や修正点を検討し、次年度に活かしていく。
備考	先入観を持たずに心理アセスメントを体験してもらいたいため、事前学習は行わず、事後 学習を行うこと。演習に積極的に参加し、実践的に学ぶ態度を持つこと。

科 目 コード 2	2153 授業 科目		人間関係 (Human Rela	系論 ations)		担当教員	〇渡	久山!	朝裕大	川嶺	子
開講年次	1年次 前期	単位数	1単位	科目	専門	関連科	目 :	授業	# *	₩ 5	য়হা
選択必修	必修	時間数	30時間	分類	(保	:•看)	=	形態	講義	* (典)	当
履前提科目	なし										
修条件その他	なし										
授業概要	心の健康や対 としてカウン れる面接、健	セリングの)理論と方法	を実践的	に学習し、	それ	を基礎と	して	看護実践	で行	
到達目標	2. カウンセ	リング的な	心理論を理解 心容や援助的 健康相談や できる。	内コミュ	ニケーショ						
授業回数		授業	内容及び	計画		<u> </u>	事前・事後	学習	担当者名	授業	形態
第1回	授業の概要説	期、人間関	見係とは、カリ	ウンセリ	ングとは				渡久山	講	義
第2回	ロジャースの	来談者中心	·療法①				P. 29-4	0	IJ	,	j
第3回	ロジャースの	来談者中心	源法②						IJ	,	j
第4回	ロジャースの	来談者中心	源法③]]	J	J
第5回	カウンセリン	グ事例の核	討 I				資料		IJ	演	習
第6回	カウンセリン	グ事例の核	討Ⅱ(録音	事例・ビ	デオ事例)		資料		IJ	,	j.
第7回	カウンセリン	グ演習①差	長本的技法の総	東習					IJ	,	Ţ
第8回	カウンセリン	/ グ演習②ロ	ロールプレイ	I (一般的	な client)				IJ	,	Ţ
第9回	カウンセリン	グ演習③ロ	ロールプレイ]	Ⅱ(看護明	見場の clien	ıt)]]	J	j
第 10 回	カウンセリン	⁄グ演習のま	ミとめ・アンク	ケート					IJ	,	ı,
第 11 回	精神障害者へ	の心理療法	<u> </u>				P. 121-1	29	IJ	講	義
第 12 回	精神障害者へ	の心理療法	②・電話相談	炎(自殺	予防)		資料		IJ	J	j.
第 13 回	看護現場での	カウンセリ	ング技法のネ	舌用 1			資料		大 川	,	ı,
第 14 回	看護現場での	カウンセリ	ング技法のネ	舌用 2			資料		IJ	,	ı,
第 15 回	HIV エイズカ	カウンセリン	ノグ、人間関 [⁄]	係の倫理	1,		資料		渡久山	J	IJ.
	授業の振り返	ら り、まとめ)								
テキスト	「わかりやすい	ハ臨床心理	学入門」:小	山望編書	客 福村出)	饭 ¥2	, 300				
参考文献	「エンカウン	ター」: 国	記分康素記分康孝著 料二編著 中外	青神書房	¥2,000	2, 300					
他科目との 関連	「心理学」「『	臨床心理」	での学習につ	なげる							
成績評価 の方法	ミニ・レポー	- ト12%、其	用末レポート2	20%、期	末試験68%	0					

学習相談 · 助言体制	授業終了後はしばらく教室に居り、学生が個人的に質問できる機会をつくる。演習に抵抗を示す学生は授業外で個別指導の機会を設ける。
授業改善の 特記事項	心理的援助の様々な分野に関する文献を検索し、報告するミニ・レポートを学期中に3回程度、課すことで興味・関心を喚起し、図書館になじませる。
備考	演習に積極的に参加し、実践的に学ぶ態度を持つこと。

科 目 コード	40	0012	授業科目	Ā	看護大学ゼミ (OPCN Semi	ナールII nar II)		担当教員		久山朝初			
.	. 1			22.61.244				秋貝)	「「一」	金城芳秀		
開講年		2年次 必		単位数 時間数	1単位 30時間		専門	関連科目		授業 形態	演習		
		なし		-11 HJ 9/	9044 [4]	1							
履前提利条を発する。		なし											
授業概	要	対して分析・	,学生 · 代案 <i>0</i>	が主体的に)提示と結り	清神的・社会は 取組む過程: 果の予測、最 ワーク力を身	を通して. 善策の選	、看護大学 択、実行な	ゼゼミナー	ール I	で学んだ			
		 2. 健 3. 絞 	建康問題 さり込む	夏の学習テー 2過程では和	ヽる健康問題 −マについて 旨護大学ゼミ	チームで	絞り込むこ	ことがで	きる。		決能力を発揮		
到達目標	標	4. 図	することができる。 4. 図書・文献検索から多様な情報収集を行い、学術的情報にアクセスすることができる。										
					、活動等を			ぶことが	できる	0			
					ニディスカッ								
		7. 7	40,	一貝として	チームワー	グに貝飲		事後学習	1				
授業回数	数		授	業 内 容	及び計	画		事後子首 習課題)	担	当者名	授業形態		
第 1・2 [口	授業目	標の理]解、各活動	カプログラム	の説明、		事後学習		崎	演習		
		チーム	、配置、	活動課題の)検討、誓約	書の提出	'	♂課題に ↑は、各チ	1 1	城			
第 3・4 [口	学習活	動①				-40	フテーマ	E	場			
第 5 · 6 [口	中間報	是告会					こて各担	1	久山			
第 7 · 8 [口	学習活	動2				当者 \(\bar{1} \)	^ĭ 随時行					
第 9・10	口	学習活	動③										
第 11・12	口	学習活	動4										
第 13・14	□	学習活	動⑤										
第 15・16	回	活動発	表会・	評価									
第 17 回	司	振り返	ヹり・ア	ンケート									
テキス	<u>۲</u>				ーテキスト. 東京電機大)学び方	ワーク	ブック.	初年次教育		
参考文章	献	適宜、	、紹介	する。									
他科目と 関連	この		大学ゼ		」での学習	を土台に	し、さらに	「看護	大学ゼ	ミナーハ	レⅢ」での学		
成績評値 の方法		地域活 担当教	動への対し	多加40%、 在20%	プレゼンテー	-ション1	0%、期末個	国人レポ [、]	ート30	%、			
学習相談 助言体的	· 制	学生た	ちの主	E体性を尊重	重しつつ、不	十分な点	について	は助言し	ながら	課題を	達成させる。		
授業改善特記事		この科点や修	∤目につ ぎ正点を	かて、授業 ☆検討し、ど	美の最終日に 欠年度に活か	アンケー していく	ト調査を 。	テい、学	生たち	から指	摘された改善		
備考	<u>×</u>	学習活	活動は、	5日間、合	計15時間程月	度を目安に	 こし、活動	先と調整	 でのうえ	 之、計画	的に行うこと。		

			T						I						
科目コード	2	1154	授業科目		疾病論 (Nosograpl	I hy I)		担当教員		E伯宣 F田陽		非常	勤)		
開講年	次	2年次	後期	単位数	2単位	科目		111111111111111111111111111111111111111		授業			24		
選択必	修	必	修	時間数	30時間	分類	専門関	関連科目		形態		講	義		
履前提利	計目	なし													
条件その	他	なし													
授業概	要	成人期	および	老年期に特	持有な疾病のタ		、症状、診	》断、治	療につ	いて	学習	する。)		
到達目	標	2. 成 た	1. 成人期・老年期で見られる主要な疾患の病態、診断法、治療について理解する。 2. 成人期・老年期で見られる主要な症状の発生要因を理解し、これらの症状の原因となりうる疾患を挙げることができる。 3. 女性生殖器の機能及び女性特有の病態、症状、治療等について理解する。												
授業回	数			授 業 内	容及び	計画			・事後与 学習課題		担当	者名	授業	形態	
授業番	号	講義の	日程は	別に配布す	つる時間割をす	参照して	ください。		, H M/N/G					\neg	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13		呼循高消消血代腎脳皮運加救 く炎吸環血化化液謝泌の膚動齢急 婦症器器疾・尿疾・器変し 人性	疾感のの 分疾 分疾 がま	学習 り行	後後でいる。 を登ってい。	っか ハた	佐	伯伯田伯田	***	義					
テキス	1	• 医療	情報和	学研究所	を内容は下記の編集:病気が 看護学テキン	がみえる	Vol. 1-9	9, メデ	イック)	L		
参考文	献	畠山勝 松野丈 富田靖	矢崎義雄 総編集: 内科学 第 10 版, 朝倉書店 2013 畠山勝義 監修:標準外科学 第 14 版, 医学書院 2016 松野丈夫・中村利孝:標準整形外科学 第 12 版, 医学書院 2015 富田靖 監修:標準皮膚学 第 10 版, 医学書院 2013 木下茂 監修:標準眼科学 第 13 版, 医学書院 2016												
他科目 と 関連	<u>:</u> の			: 機能、人々 ∈病論 II	本の構造と機能	能演習 I	、栄養と代	· 注謝、臨	床薬理	里、微	生物	と免	疫、		
成績評 の方法		期末討	大験によ	り評価する	5.										

学習相談 助言体制	授業後や放課後などに質問や相談に対応し、適宜助言を行う。
授業改善の 特記事項	各種疾患に関する講義は「人体の構造と機能」「微生物と免疫」「疾病論 I・II」の4科目で網羅しており、過不足無く効率的に学習できるよう、毎年度において授業内容を見直している。
備考	講義では成人期で見られる主要な疾患について重要事項を解説する。医療現場で使える知識とするために、講義を参考に自己学習を行うことにより理解を深めていただきたい。

科 目 コード	2	1155	授業科目		疾病論 (Nosograp			○佐伯宣久 上里忠和(非常勤) 松岡剛司(非常勤) 報福徹也(非常勤) 青山貴博(非常勤) 山本和義(非常勤)						
開講年	次	2年次	後期	単位数	2単位	科目				授業	A4			
選択必	修	必	修	時間数	30時間	分類		平門関連科目 講 義 形態						
履前提	科目	なし	なし											
条 件 その	他	なし	なし											
授業概	要		周産期及び小児に特有の病態生理、症状、診断、治療等について学習する。また、主たる 精神疾患についても学習する。											
到達目	標	2. 主	主な周産期疾患の病態生理・診断・治療を理解する。主な小児疾患の病態生理・診断・治療を理解する。主な精神疾患や認知症の病態・診断・治療を理解する。											
授業回	数		授	業内	容及び		事前•事 (学習詞		担当者名	授業	形態			
授業番	号	講義日	程は別]に配布する	時間割を参照	関してく	ださい。							
1) 2)		妊娠の妊娠の	異常と	: 合併症妊娠 : 合併症妊娠				講義後 学習を り行っ だきた	しっか ていた	上 里	講	義		
3 4 5 6 7 8 9		総謝原孫縣縣縣縣縣縣縣	5、炎症 异疾患、 异疾患、 民器疾患	上疾患 日分泌疾患 E性腸疾患、 消化器疾患						佐 伯 """""""""""""""""""""""""""""""""""				
(I)~(1))	精神疾 統合 人格	、 失調症 好障害、	i態、症状、 E、気分障害 神経症性障	診断、治療等 手、アルコー/ 貧害、	•				青山				
13		性同一	-性障害	Ē						山本				
<u></u>)	認知症	<u> </u>						稲 福					
テキス	}	<小児	上疾患>	メディ ・ 佐地勉・ ・ 特に指定 自己学習	報科学研究所 / ックメディ∑ 原寿郎・竹内 しない。参考 してください 学テキスト №	ア 義博 総 文献にも	扁著 : ナー ある書籍あ	スの小児 るいはそ	L科学, の他か	中外医学いら書籍を	選んで			

参考文献	《周産期疾患》 東京慈恵医科大学産婦人科学講座 翻訳:ウイリアムス産科学 原著24版,南山堂 2015 荒木勤:最新産科学 正常編,文光堂 2008 荒木勤:最新産科学 異常編,文光堂 2012 《小児疾患》 医療情報科学研究所 編集:病気がみえる Vol. 1-9,メディックメディア 内山聖 監修:標準小児科学,医学書院 2013 内山聖・安次嶺馨 編集:現場で役立つ小児救急アトラス,西村書店 2009 衞藤義勝 監修:ネルソン小児科学 原著第19版,エルゼビア・ジャパン 2015 《精神疾患》 渡辺雅幸:専門医がやさしく語る初めての精神医学,中山書店 2015 (精神疾患についてわかりやすく説明されている) 武田雅俊 監修:精神医学マイテキスト 改訂2版,金芳堂 2014 上島国利・立山萬里 編集:精神医学テキスト改訂第3版,南江堂 2012 川野 雅資 編集:精神看護学II 精神臨床看護学 第6版,ヌーヴェルヒロカワ 2015 (精神保健看護IIで使用するので講義と関連する部分を読んでおくことが望ましい) 真田弘美・正木治恵 編集:老年看護学技術 改訂第2版,南江堂 2016 (老年保健看護IIで使用するので講義と関連する部分を読んでおくことが望ましい)
他科目との 関連	精神保健看護 I・Ⅱ、周産期保健看護 I・Ⅱ、小児保健看護 I・Ⅱ、臨床心理 病態生理、微生物と免疫、ヘルスアセスメントで学んだ知識と統合し、 精神保健看護実習 II、周産期保健看護実習 II および小児保健看護実習 II で活用する。
成績評価 の方法	自己学習によっても解消しない疑問などについては適宜対応する。
学習相談• 助言体制	授業後や放課後などに質問や相談に対応し、適宜助言を行う。
授業改善の 特記事項	各種疾患に関する講義は「人体の構造と機能」「微生物と免疫」「疾病論 I・Ⅱ」の4科目で網羅しており、過不足無く効率的に学習できるよう、毎年度において授業内容を見直している。
備考	講義では周産期疾患・小児疾患・精神疾患・認知症について重要事項を解説する。 医療現場で使える知識とするために、講義を参考に自己学習を行うことにより理解を深め ていただきたい。

科 目コード	2	2190	授業科目	(L	生涯人間発達論 担当 山本石(Life-span Development) 教員							記和代 賀数いづみ 本敬子 大湾明美 医務経験:あり		
開講年	次	1年次	後期	単位数	2単位	科目	専門	- 月関連科	<u> </u>	授業		講	*	
選択必	修	必	修	時間数	30時間	分類	(保	(保・助・看) 形態 講 義						
履前提利	斗目	なし												
履修条件。その	他	なし												
授業概	要	特徴を	·科学的		L解した上で、 それらの知識								_	
到達目	標	2. 主生促好居乳分学青成老 11. 12.	1. 人間を生涯発達の視点から見る意義を理解できる。 2. 主たる発達理論を挙げ、説明できる。 3. 生涯発達の研究方法と説明できる。 4. 個体と環境との関連を理解できる。 5. 妊娠の成立、胎児の成長・発達とその評価方法について説明できる。 6. 周産期および新生児の評価方法を説明できる。 7. 乳児・幼児前期の成長・発達の特徴とその評価方法を説明できる。 8. 幼児後期の成長・発達の特徴とその評価方法を説明できる。 9. 学童期の成長・発達の特徴とその評価方法を説明できる。 10. 青年期の成長・発達の特徴とその評価方法を説明できる。 11. 成人期の発達とその評価方法を説明できる。 12. 老年期の発達とその評価方法を説明できる。 13. 死に関する発達と死の受容について討議できる。											
講義回	数	授	業	内 容 及	び計画	Ī	事	≨前・事後 (学習訳	(学習 果題)	担当者	名	授業	形態	
第1回]	オリコ	ニンテー	-ション・丿	人間発達とは、	、発達理	1論 1.	P. 2-20		上	原	講	義	
第2回]	生涯発	隆達の研	ff究方法・値	固体と環境		1.	P. 21-35	5	"				
第3・4回	口	出生前	前発達と	出生			1.	P. 38-59)	賀	数			
第5・6	口	乳児・	幼児前	7期			1.	P. 60-94	Ŀ	上	原			
第7回]	幼児後					1.	P. 95-13	35	IJ				
第8回]	学童期	月				1.	P. 136-1	.73	"				
第9回]	成人期	月				2.	P. 12-35		山 ;	本			
第10回	1	青年期別途指								11				
第11回	ī	壮年期	月(中年	期/更年期		"		IJ						
第12回	ī	向老期	FI.			"		"						
第13回	1	老年期	II.				3.	P201-20)7	大	湾			
							3.	P231-23	35					
第14・15	回	老年基	朝				別]途指示	する	"				

テキスト	1. 生涯人間発達学改訂第 2 版増補版:上田礼子, 三輪書店, 2012 2. 成人看護学概論改訂第 2 版, 南江堂 3. 老年看護学概論, 南江堂, 2011
参考文献	適宜事前に提示する。
他科目との 関連	心理学、各保健看護 I 本科目は保健師課程、助産師課程、看護師課程の読み重ね科目である。
成績評価の 方法	課題とミニテスト 20%、討議への参加度 5%、期末試験 75%
学生相談· 助言体制	各担当教員の初回授業にてオフィスアワーを提示する。
授業改善の 特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。
備考	本科目は、原則として1コマあたり最低4時間の予習・復習が必要。 本科目は、毎回授業始めに10分間のミニテストを行う。 本科目は、原則として成績不良者への期末試験の再試験は行わない。

シラバス ${ m I\hspace{-.1em}I\hspace{-.1em}I}$

専門関連科目 (広域・基盤看護科目)

科目	授業	(Principl	看護学原 e and Pract	京論 tice of	Nursing)	担当	○金坊		原幸		
コード	科目			T = 01	Nul Silig/	教員		₹務経験	: b	, り 	
開講年次	1年次 前期	単位数	2単位	科目	専門園	関連科目		受業	講	義	
選択必修	必修	時間数	30時間	分類) †	ド態			
履 前提科目	なし										
条件その他	なし										
授業概要	看護の目的語 どのように看 論と看護実践	i 護を展開す	るかについ	て、文献	の読み取り	や自己の	の体験を				1
到達目標	1. 看護の基章 2. 健康の観点 3. 看護におけ 4. 看護実践力 5. 看護実践力 6. 看護実践と	まから自己の ける立場の変 5法論につい まを自分の言	生活を観察 換について て具体例と 葉で表現で	しより傾 原理的な つなげな きる。	は康な状態の は理解ができながら理解し)実現に 、具体 、理解	向けて取 例で説明 した内容	対組む 目できる	姿勢 。	をも	つ。
授業回数		授業内	容及び	計画			事後学習 習課題)	担当者	名	授業刑	 彡態
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	看護の基幹が 一人 る と 康 活 で も と 康 活 看 護 き も と 康 活 看 看 護 法 程 生 寛 で 過 ま 注 強 生 実 と 実 さ え え え え え え え え え え え え え え え え え え	既念をすい。 の自着生) 書書生) 音音性)	(1) : 8 (2) : 病 (2) : 病 (2) : 病 (3) : で (4) の健康 (1) (2) (3) (4) (4) (5) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	は、健)))三重の新装版	康とは 関心を注ぎ ->、日本看記	事 指定 協会出	前にいる。	金 " " " " " " " " " " " " " " " " " " "	原城 原城	注	義
参考文献	初回授業の問							1, 201	17		
他科目との 関連	「看護専門職	論 I 」および	び「早期体験	美習」(の学習内容	と連動さ	どせなが	ら学ぶ。			
成績評価 の方法	途中の課題	(10点×5回=	=50点)	最終レポ	ート (50点	.) 遅刻	刻・欠席	は減点			
学習相談・ 学習体制	授業評価に言	己述された疑	問に関して	は次回接	受業で取り_	上げる。	個別の村	泪談は随	時交	対応す	る。
授業改善の 特記事項	授業評価に言	己述された授	業への要望	等を必要	更に応じて耳	取り入れ	ていく。				
備考	グループ学	習を取り入れ	ιながら授業	を展開っ	たる 。						

コード		311	.25	授業科目		専門職論 I onal Nursin	ng I)	担当 教員	浦添美和(石川幸代(
<u> </u>	開講年		1年	次前期	単位数	1 単位	科目	車甲	· 月関連科目	授業	講義
-	選択必	-	Ą	公須	時間数	15 時間	分類	711	110,000	形態	III74X
履修条	前提	科目		なし							
条件	その	他		なし							
‡	受業概	要	理念 人々 て学	、教育 の健康 ぶ。	目標を理解すを守る社会的	[†] る。さらに 内活動の中 <i>0</i>	、看護	の歴史と の役割と)歴史と、本学の 専門職看護の概 関連他職種との	念と現状を	概観し、
子	到達目	樰		(大学)	立看護大学で で看護を学ぶ いう仕事の特	ぶ意味、沖縄	県の看	護教育の	へる。 歴史、本学の教	対育の特徴)	
	1,2, [ν. .		(看護の	概念、看護	倫理、看護の	の対象、	場の広か	ぶり) この協働と連携	について述っ	べる。
ł	受業回	数		授	業内容	ア 及 び	計画		事前·事後学習 (学習課題)	担当者名	授業 形態
	第1回	1	教育教育	目標を課程の	を学ぶという とおして理角 編成(教養和 ・広域・基盤	ע なする。 ↑目・専門教	養科目	• 生涯発	配布資料	講義	
	第2回	1	生命	の尊厳	と平和につい	いて考える			配布資料レポート①		
	第3回	1		看護という仕事の特徴(1) 看護の概念、看護の対象、場の広がり				第1章 配布資料	ピーカー 宮 里		
	第4回	1			の看護(明治 看護の発展過		まで)		第4章 資料配布 レポート②	石 川 (非常勤)	
	第5回	1	卒後 専門	看護師、	現任教育 、認定看護師 してのキャリ		管理者		第4章	宮 里	
	第6回	1		医療福油 協働連	祉活動におり 隽	ける看護の役	割と関	連職種	資料配布レポート③	大 湾	
	第7回	1	看護	きという1	仕事の特徴	(2)			第5章 レポート④	宮 里	
	第8回	1	広が	る看護	舌動(国際保	健看護)			第4章	浦 添 (非常勤)	
-	テキス					分野 I 看護	学概論	基礎看護	学[1]第16尚	反 医学書院	2017年
	参考文i 科目と 関連		「看		る。 論」の目的語 実習」で看記						
成	: 績評価 方法	折 の							ト (60 点)、遅	刻・欠席は沿	减点。
					記述された類は随時対応す		は、次	回の授業	で取り上げる。		
	業改善 寺記事	-			記述された控	受業への要望	等を必	要に応じ	て取り入れてい	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
	備考		なし	•							

科目コード	3	授業 ヘルスアセスメント 1140 (Health assessment)			担当教員	世当 赤筍 数員 賀		t 知 3子	花小百合 念真樹 田場由紀 宮城裕子 あり				
開講年選択必		2年次 必		単位数時間数	2単位 45時間	科目分類		関連科目 助・看)		授業形態	講	義・演習	
履前提	科目	なし											
修 条 件 その	他	なし	なし										
授業概	要	学ぶ。 本的	個人の健康状態を全人的に理解するために必要なヘルスアセスメントの概念と枠組みを 学ぶ。さらにフィジカルアセスメントに焦点をあて、フィジカルアセスメントに関する基 本的な知識、技術と態度を学ぶとともに、ライフサイクル各期に特有の方法と留意点についても演習を通して具体的に学ぶ。										
到達目	標	2. 看 3. 対 4. へ 5. 対 6. 収	護の対象とない。 象とアン象とした。	象となる人 る人々を身 セスメント る人々の安全 情報と根拠	の意義と必要 々を包括的に 体的、心理的 技法を用いて 全、安楽に配 に基づいたへ に特有なアセ	とらえ 、社会的 主観的 慮して^ ルスア	るための概 内に捉えた ・客観情報 、ルスアセン セスメント	念枠組み 情報の収 を収集し スメント を記述で	xにつ 双集が 記述 技法を できる。	いて説 できる でまる と用い	0		
授業回	数		授	業内	容及び	計画		事前•事 (学習記		講 担当		授業形態	
第 1~3	口	2. 復	建康 歴聴	駆と面接技	・とその概念を 活 の健康歴聴耳			P. 2-94		宮謝謝	里花花	講義·演習	
第 4~6	回	扌	丁診、聴		、に必要な技法 事等の確認方法 その視点		テスト)	P. 1-31 P. 96-11 P. 177-1		宮	里	JJ	
第7~9	回		神経系の ミニテク		⁄ト(特殊感覚	含む)		P. 124-1 P. 158-1		宮	里	<i>11</i>	
				ヘ ト) ミのアセスメ	ニント			P. 207-2		上	原	"	
第 10~1	2 回	7. 厉	対人のア	プセスメント	、(呼吸器系含	む) (ミ	ニテスト)	P. 177-	187	宮	城	"	
第 13~1	5 回	8. 月	対人のア	゚セスメント	、(循環器系言	含む)		P. 188-2	206	赤	嶺	IJ.	
第 16~1	8 回		高齢者の 筋骨格		/ 卜(筋骨格系	系含む)		P. 139-	154	宮	里	,,	
				分(ミニテス	(ト)			資料配付日				"	
第 19~2	1 回	10. 技	技術の確	霞 (呼吸・	循環)					宮	里	IJ	
第 22~2	3 旦	12. /		マセスメント	、(乳房)(ミ 、(乳児健診り		-	P. 246-2 P. 71-74		賀上知	数原念	II II	

テキスト	「ヘルスアセスメント」改定第2版 南江堂 2017 「ナーシンググラフィカ 小児看護学② 小児看護技術」メディカ出版
参考文献	「フィジカルアセスメント完全ガイド」Gakken 「フィジカルアセスメントガイドブック」医学書院 「基礎がわかる! 実践できる! フィジカルアセスメント」照林社 「ヘルス・フィジカルアセスメント」上巻・下巻 日総研 「ベイツ診療法 Bates' Guide to Physical Examination and History Taking 11th Edition」、メディカル・サイエンス インターナショナル
他科目との 関連	人体の構造と機能、人体の構造と機能演習 I 等の既習科目の内容を統合し、生活援助・療養援助技術実習などの科目へとつなげていけるようにする。また、本科目は看護師課程、保健師課程、助産師課程の読み重ね科目である。
成績評価 の方法	ミニテスト30点 (10点×5回を30点に換算)、技術の確認 30点、演習ノート30点、 グループワークへの参加度10点、
学習相談 · 助言体制	毎回の授業の終了時に、理解できなかった事項、疑問に感じた事項等を記載した出席カードの提出を求め、次回授業時に説明補充、意見交換等で理解を図る。
授業改善の 特記事項	テキスト内容を補充・説明する資料を配布する。授業内容と看護師および保健師国家試験の過去問題との関連を伝達する。
備考	学生は次回使用のテキスト箇所および資料内容を読み、準備して授業に臨む。 毎回の事前課題レポートを授業に持参する(ヘルスアセスメント演習ノート参照)。 演習記録は、その日のうちにまとめ(ヘルスアセスメント演習ノート参照)。

科目コード	31151 I	授業科目		舌援助・療養 mental Nursi			担当教員	宮島	原幸	上师	原和代	: 他
開講年次	1年次 往	後期	単位数	2単位	科目	専門	関連科目		授業		w - 71	21
選択必修	必(修	時間数	60時間	分類	(保	!・看)		形態	}	演習	∄
履前提科目	なし											
条 その他	なし											
授業概要	看護技術の本質と修得過程を理解し、看護技術の習得レベルを自己評価しつつ学習するロセスを通して、看護技術に共通する基本技術である観察・コミュニケーション、感染防(標準予防策、衛生的手洗い法)、食事、排泄、衣服の着脱、清潔、睡眠、移動など日生活動作(ADL)に関する援助技術の原則と科学的方法について、'理解し、できるレベルで学習する。											杂予 日常
到達目標	 看護技術とは何かを説明できる。 対象の立場に立って考えることができ、言語・非言語的コミュニケーションによって対象の気持ちに近づくことができるともに、看護者としての考えを伝え、双方向のコミュニケーションをとることができる。 標準予防策について説明でき、正確に、かつ適切なタイミングで衛生的手洗いを実施できる。さらに汚染を広げないという視点をもち、行動することができる。 技術の行動のポイントとその根拠をおさえ、正確に、かつ適切な時間内に「ベッド・メイキング」「環境整備」を実施できる。 正確にかつ適切な時間内でバイタルサイン測定を実施し、測定結果を基準値と比較して、記録・報告することができる。 技術の行動のポイントその根拠をおさえ、その人のもてる力をいかしながら、正確に、かつ適切な時間内に「体位変換」「車いす移乗」「ストレッチャー移動」「良肢位」「抑制」「安楽な姿勢」「食事介助」「排泄介助」「寝衣交換」「全身清拭」「手浴・足浴」「陰部洗浄」を実施できる。 技術の行動のポイントとその根拠をおさえ、毎日の生活や学内演習で繰り返し使うことで、ひげそり、爪切りを身に付けることができる。 子どもの発達段階を考慮し、日常生活の援助技術(移動、食事、清潔、更衣、排泄)を安全・安楽に実施できる。 										こ 施 ・ 竣 に制洗 とっ で メ し 、	
授業回数		授	業内	容及び	計画	-	事前・事 (学習記		担当	者名	授業	形態
第1回	オリスと ¹ M 2 · M 1. 自に理自えけ「記 3. 「記	ン事 43 のすし学毎い録ー課・ き気 ほんの。幸	- ション: 生 関についる M 5 : 看護 常生活行動に 部識させれる 自己技術のに の生活や学に	を過程の成立。 に、人間の体 て日常生活行 フケアに力を ポイントとそ 内演習で繰り	養 接 数 数 ま し の め め し の し の し の し の し し の し し し し し	を術 I への 本技術 みと働き コセン さい からにつ			宮	原城里原	演	習

	吸・体温測定)」			
	* skill note の作成と技術修得			
第2~3回	子どもの日常生活の援助技術: 「安全」「移動(抱っこ,バギー等)」「食事(調乳・授乳等)」「清潔・衣生活(臀部浴,衣服の着脱)」「排泄(おむつ交換)」	小児看護技術 左記技術の 該当ページ	上原他	
第4~9回	M2:看護過程の成立と共通基本技術: 「コミュニケーション技術」「バイタルサイン測定」 「学習成果発表」	事前学習課題 のプリント M1-1~M2-39	栗原	
	M3:よい生活環境をととのえる: 「ベッド・メイキング」「病床環境を整える」 M4:感染を予防する: 「標準予防策」「手指清潔法」「個人防護具の着脱」	M3-1~M3-7 M4-1~M4-9	宮 里	
第 10~14 回	M5:運動-休息のバランスを整える: 「床上移動」「体位変換」「車椅子移乗」 「良肢位」「抑制」「安楽な姿勢」	M5-1~M5-22	栗 原 ゲストス ピーカー	
第 15 回	M6:清潔への援助 導入	M6-1∼M6-17	金城	
第 16~26 回	M6:清潔への援助:「シーツ交換」「寝衣交換」 「全身清拭」「陰部洗浄」「足浴・手浴」「口腔内 清潔法」「洗髪」「オムツ交換」「爪切り」「ひげ そり」 個別チェック(「寝衣・シーツ交換の応用」)	M6-1∼M6-17	金城	
第 27 回第 28~30 回	M7:食と排泄のバランスをととのえる 「便・尿器の与え方」「床上排泄の体験」 M7:食と排泄のバランスをととのえる: 「食事介助」	M7-1~M7-17 M7-1~M7-17	栗原栗原	
テキスト	「Module 方式による看護方法実習書<第3版>」: 薄井 *授業で資料を配布する。 ナーシンググラフィカ 小児看護学② 小児看護技術 第			イカ出版
参考文献	1. 「ナースが視る人体」:薄井坦子 講談社 2003 2. 「ナースが視る病気」:薄井坦子 講談社 2006 3. 根拠と事故防止からみた小児看護技術 第2版:浅野 *その他の文献については授業で文献リストを配布		書院	
他科目との 関連	人体の構造と機能、人体の構造と機能演習、微生物と ヘルスアセスメント、生涯人間発達論、小児保健看護 また、本科目は保健師課程、看護師課程の読み重ね科	I	謝、看護専	『門職論 I 、
成績評価 の方法	①授業への貢献 20%、②実習記録 25%、③モジュール ④子どもの日常生活の援助技術 10%、⑤技術の個別チ 用」)35%。技術の個別チェックは、合格基準に到達す	エック(「寝衣	・シーツ交	
学習相談• 学習体制	毎回の授業終了後に、授業を通して理解が深まった点、きなかった技術のポイント、授業に対する感想や要望め、次回授業に説明補充を行うことで理解をはかる。まれて行い、教員が2グループを受け持つため、学生の特担当教員が中心となって行う。	などの内容の <u>持</u> また、演習は 5:	受業評価の 名1グルー	提出を求 プに分か

授業改善の 特記事項	毎回の授業終了後に授業評価の提出を求め、その内容を考慮して次回の授業展開を考える。
備考	 (演習の進め方> ・演習は5名1グループに分かれて行い、教員が2グループを受け持つ。また、演習はグループ毎の計画に沿って行う。グループメンバー同士で互いに看護者役と患者役とを体験しつつ技術の修得過程をたどり、教師の個別指導(技術チェック)を通して技術の修得レベルを高める。 ・自己の日常生活行動に、人間の体のしくみと働きに関する知識を重ねて日常生活行動のプロセスを理解し、自己のセルフケア能力を高める。 ・自己学習にて技術のポイントとその根拠をおさえ、毎日の生活や学内演習で繰り返し使い、身に付けていく。 <子どもの日常生活の援助技術> 事前に、あなたの身近な環境で乳幼児と触れあう機会をもつことで本演習の理解が深まります。

科 目 コード	31152	授科	:業		5援助・療養 Amental Nurs			担当教員	〇金 ^y 栗原	成忍 (京幸子	宮里智他	智子	
J - K		177	, la					教貝		実務経	:験:	あり	
開講年》		次 前	期	単位数 時間数	1単位 30時間	科目分類	*	関連科目 か・看)		受業 珍態	演	習	
履前提科	1 生	舌援助	• 療	養援助技術	fΙ					l			
履修条件である。	他な	L											
授業概象	⊞ ' ' '				と自己評価し					無菌操 [⁄]	作、導	享尿、	浣
到達目材	2. 3. 4. 5. 6. 7.	健康障害をもち、一般的な治療を必要としている人への看護技術とは何か、を述べることができる。 一般的な治療を必要としている人へ看護技術を適用していくなかで、コミュニケーションをとることができ、実施後の反応を記録・報告することができる。 無菌操作の原則を理解し、「傷の手当ての介助」を正確に行うことができる。 「導尿」、「浣腸」、「経管栄養法」を必要としている対象者の状況を述べることができる。 「導尿」、「浣腸」、「経管栄養法」の行動のポイントとその根拠を述べることができる。 モデル人形に「経管栄養法」を実施することができる。 看護過程展開の技術を理解し、実施することができる。 自己の看護技術の修得レベルを評価し、今後の学習課題を述べることができる。											
授業回数	汝		授	業内	容及び	計画		事前・事 (学習)	¥後学習 課題)	担当	者名	授業	形態
	[」は	は学習	引する基本	技術。MはMc	odule⊘∄	各を示す】						
第1回] /	上活援即	助・別	療養援助技	術Ⅱの導入					金	城	演	習
第 2~5	回 N	/110:看	香護 〕	過程展開の	技術:紙上	事例①		配付資料 M2-21~N		金	城		
第6回	l	/110:看	看護達	過程展開の	技術:紙上	事例②		M10-1~N	110-10	金	城		
第7・8				∷泄のバラ: 栄養法」	ノスをととの	える:		配付資料 M7-1~M7		栗	原		
第 9~11					: 「無菌操作 : 「傷の手当	_	bJ	配布資料 M4-4~M4 M4-14~N	1-8	宮	里		
第12~15	5回 N			*泄のバラ\ ・「浣腸	/スをととの :」	える:		配付資料 M7-1~M7		栗	原		
テキス	F TW	odule カ	方式に	こよる看護	方法実習書	〈第3版〉	〉」:薄井	坦子監修	現代社	生 20	04		
参考文献	武 「ナ	ースが	ぶ視る	5人体」:	科学的看該黄井坦子 講黄井坦子 講	談社 2	003	旦子 日2	本看護協	· 会出》	饭会 1	996	
他科目と 関連	の 人 援	間関係: 助技術	論, Iに	看護学原論 て修得した	i論,人体の構 論にて学んだに 上技術を学内 課程、看護師	内容を踏 演習で繰	まえて学? !り返し使い	習を深め ハ,修得	る。さら レベルを	に生活	舌援助		

①授業への貢献 15%、②実習記録・レポート 20%、③モジュール毎に行う筆記試験 20%、 ④技術の個別チェック 45%、で評価を行う。
毎回の授業終了後に、授業を通して理解が深まった点、身についたこと、疑問点や修得できなかった技術のポイント、授業に対する感想や要望などの内容の授業評価の提出を求め、次回授業に説明補充を行うことで理解をはかる。演習は5名1グループに分かれて行い、教員が2グループを受け持つため、学生の学習状況の把握と指導は、グループ担当教員が中心となって行う。また、演習時間外で教員の指導を受けることができるよう教員を配置し、事前に日程を提示する。
演習時間外での自己学習を行えるように実習室物品配置の提示や自己学習教材を完備する。さらにモジュール毎に、テキスト内容を補充する資料を配付する。
「生活援助・療養援助技術 I 」に引き続き(自己学習- グループ学習- 個別指導- 自己評価)システムで学習する。
・ミニテストを行うので、事前学習を行って準備すること。
・演習時間は教員からの直接的指導を受ける機会である。よって演習に取り組む前にビデオを視聴する、教科書を確認するなどは、グループメンバー同士で時間外に取り組み授業に臨むこと。 ・期末試験として個別チェックを実施する。

科目	31153		授業	生活	舌援助・療養:	援助技術		担当	○金	城忍	栗原	幸子何	他
コード	3.	1153	科目	(Fund	amental Nurs	ing Ski	lls∭)	教員		実務	経験:	あり	
開講年	次	3年次	前期	単位数	1単位	科目	専門	関連科目		授業	Ì	寅 習]
選択必	修	必	-	時間数	30時間	分類	- 4111			形態			
魔 前提和	斗目	生活援	き助・療	養援助技術	ドⅡ 								
条件その	他	なし	+45 o 14	67/H)	٠	244 515	1	1 2 17	1	⇒A N/r′	y/s utter	\	- 614
授業概	要				を自己評価し 術について学 ³		するプロ	セスを囲	して, i	診断・	冶寮:	直程に	-伴
到達目	標	る。 2. 診 3. 診 かで 4. 「持 5. 「持	 診断・治療過程に伴う侵襲的な治療を必要としている人への看護技術とは何かを述べることができる。 診断・治療過程における看護者の役割について実施することができる。 診断・治療過程に伴う侵襲的な治療を必要としている人へ看護技術を適用していくなかで、コミュニケーションをとることができ、実施後の反応を記録・報告することができる。 「検査」、「与薬」を必要としている対象者の状況を述べることができる。 「採血」、「注射」、「点滴静脈内注射」の行動のポイントとその根拠を述べることができる。 自己の看護技術の習得レベルを評価し、今後の学習課題を述べることができる。 										
授業回	数		授	業内	容及び	計画		事前•事 (学習記	後学習 果題)	担当	者名	授業	形態
第1~2	口	生活援	き助・療	養援助技術	技術。MはMc 析Ⅲの導入 「無菌操作」	duleの⊞	各を示す】	配布資 M4-4~l		金	城		
第 3~8 第 9~12					検査と看護「 与薬と看護「			M8-1~1 M8-13~		金栗	城原	演	習
第13~1 第15回					与薬と看護「 与薬と看護「		-	M8-18 M8-14		栗栗	原原		
テキス	١	「Modu]	le 方式	による看護	養方法実習書	〈第3版	〉」:薄井	坦子監修	現代	社 2	2004		
参考文	献			る人体」: る病気」:		談社 2 談社 2	2003 2006						
他科目 と 関連		学んだ	ご内容を	と踏まえて	析Ⅱにて関連 [・] 学習を深める。 ての対象に適	同時に	専門関連和	料目の「作	呆健看 記	濩 I 」	を踏	まえて	習
成績評 の方法					②実習記録20 末試験 25%で			毎に行う	筆記討	₿20	%,		
学習相認学習体		毎回の授業終了時に、授業を通して理解が深まった点、身についたこと、疑問点や修得できなかった技術のポイント、授業に対する感想や要望、についてのアンケートを記入してもらい、次回の授業にてフィードバックを行う。また、演習時間外で教員の指導を受けることができる日程を事前に提示する。											
授業改善特記事													

バ

「生活援助・療養援助技術Ⅱ」に引き続き(自己学習- グループ学習- 個別指導- 自己評価)システムで学習する。

・ミニテストを行うので、事前学習を行って準備すること。

備考

・演習時間は教員からの直接的指導を受ける機会である。よって演習に取り組む前にビデオを視聴する、教科書を確認するなどは、グループメンバー同士で時間外に取り組み授業に臨むこと。

科 目 コード ³	授業 科目		舌援助・療養 tal Nursing			나다 기소	 原幸于	宮里智子 <u>^ 他</u> <り: あり
開講年次	2年次 後期	単位数	2単位	科目	専門関連	車科目	授業	☆ ¾
選択必修	必修	時間数	90時間	分類	(保・助	」・看)	形態	実 習
前提科目	看護学原論	ヘルスア	セスメント	生活援助	か・療養援助技	支術Ⅱ		
履修 条件 その他	完了していた	ない者は、乳		ることに	tできない。 a	さらに 11 月	以降の	は予防接種が実習において
授業概要	養援助技術を	を安全かつ研 話援助技術	確実に実践、 ・療養援助技行	または見	上学し、評価す	ける。このフ	プロセス	援助技術や療 を通して、そ に看護実践方
到達目標	する 2. 変 変 変 変 変 変 変 変 変 数 に が 変 の し 持 に に の に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	がを患患る応看患でび送者者方を護者を変えるて全療で定対支。。い体養看め象え	る患者や家族 像を描き、看 生活に関する 護計画を立案 ながら、看護 の位置から評	の尊厳。護のの意と、 きゅう できます できます できます きゅう できます できます できます できます できます かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう はいいい かいしょう はいいい かいしょう はいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいい	を守りながら 要性を把握道 必要性をる。 とがて実施さ ことがで実施きる。 ことが関係職種	関わること ることがで ることがで 。 間の連携・	ができ きる。 きる。 きる。 調整に	象の持てる力
授業回数		授	業内容	. 及 7	び計画			指導教員
1日目 / 4日目 / 7日降	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	るとら者つか護つて目、ち目をか臨修っし。り、につらについか担患の立らめ正た、受受つ描実参、くら当者終て受るす看自け持いい習加日。は看の了る持よる護己持ちてた3し常 、護看時。ちう。をの	の っ患得全日な生 受師護に 患に担評能当看 て者ら体目が活 持やのは 者す当価力看護 、へれ像まらの ち実必、 のる看すを護師 病のたをで患自 患習要受 看。護る判師 棟関情修は者立 者指性持 護朝師。断やだい 報正、のの へ違をち 目、とりし実	看をかし看全程 の教把患 標患のアな護寄らて護体度 看員握者 に者調のが師せ患い師像や 護としに 沿の整実ら	やて者くやを行 ケ調で公 っ状を施指実いの。実修わ ア整い要 て態経に導習。全 習正れ 計すくな 、をて際者指。体 指して 画る。著 そ確実しの導 像 導、い を。 護 の認施て援教を教そる 立ケ が 日ししは既	は 員の治 でする のは でする でする でする でする でする でする でする でする	ア 描 持持の 臨い て をじ応せに き ちち様 みく え 立てかて	宮栗他里原
テキスト	看護学原論は	および生活接	受助・療養援助・療養援助・	助技術 I	・Ⅱで使用し	たテキスト	`	

参考文献	「ナースが視る人体」:薄井坦子 講談社 2003 「ナースが視る病気」:薄井坦子 講談社 2006
他科目との 関連	生活援助・療養援助技術IIにて関連する科目や、専門関連科目の「保健看護I」を踏まえて受け持ち患者の看護の必要性を明確にし、看護計画を立案し、実際に看護を展開していく。 また、本科目は保健師課程、助産師課程、看護師課程の読み重ね科目である。
成績評価 の方法	倫理的な姿勢(到達目標1~到達目標2:32%),本実習に特化した実習目標(到達目標3~到達目標6:60%),関係職種との関係性(到達目標7:4%),および今後の学習課題(到達目標8:4%)によって評価する。
学習相談· 学習体制	実習前には学内にて実習に対する疑問点の相談を受ける。実習期間中は実習指導教員の みならず、基礎看護教員からのサポートも行う。
授業改善の 特記事項	実習では「生活援助・療養援助技術Ⅰ」、「生活援助・療養援助技術Ⅱ」で用いたテキストや資料を活用しながら、理論と実践をつなげていけるように指導していく。
備考	なし

科目コード	3	1171	授業科目		リティカル・ tical/Palli			担当教員	清水	里みどり (かおり 実務経!	(非)		
開講年	次	3年次	前期	単位数	2単位	科目	市田	11111111111111111111111111111111111111		授業	誹	= 羊	
選択必	修	必	修	時間数	30時間	分類	サロ	関連科目		形態	茈	義	
履前提	科目	なし											
条 件 その	他	なし											
授業概	要	重症期 の役害	月・終末 リ、チー	期の看護と -ム医療、な	3よび移植・ 3 緩和ケア、 3 らびに看護 4 どもから高	ならびに の原則や	災害看護 方法につ	・救急看 いて基本	護の看	護につ	いて、	看護	師
1. 救急における看護ケアについて説明できる。 2. 周手術期における看護ケアについて説明できる。 3. 化学療法、放射線療法時の看護ケアについて説明できる。 4. 災害時における看護ケアについて説明できる。 5. 苦痛症状を伴う人々の緩和ケア、終末期における看護ケアについて説明できる。									0.0				
授業回数 授業内容及び計画 事前・事後学習 (学習課題)							担当	者名	授業	形態			
		<第	1∼8 □	1:クリティ	カルケア>								
第1回	1	急性期	用看護	(救急・周号	1) P. 1-45 2) P. 2-18		謝	花	講	義			
第 2-5	口	. ,		たける患者の ・術後の看				1) P. 48- P. 229- 2) P. 62-2	-248	謝	花		
第 6-7	口	化学療	後法・が	対線を受け	する患者の看	護		2) P. 214-	226	神	里		
第8回	囙	災害時	宇におけ	る看護				配布資料	ŀ	清	水		
		<第9	~15 回]:緩和ケフ	" >								
第9回	囙	緩和ク	アの櫻	紀念				3) P. 12-4	4	神	里		
第 10	口	身体的	う 苦痛症	状の看護	(疼痛)			3) P. 46-1	42	神	里		
第 11	口	身体的	的苦痛症	三状の看護(呼吸困難、倦	途怠感)		3) P. 46-1	42	神	里		
第 12	□	心理社会的苦痛症状の看護 (スピリチュアルケア含)						3) P. 144-	-198	神	里		
第 13	口			る患者のス	ベテージとケ` 問題	r		3) P. 238-	254	謝	花		
第 14	口	症状緩	受和のた	めの非薬理	里学的療法		3) P. 41, 74-75 神 里						
第 15	口	家族・遺族への看護 3) P. 256-282 謝 花											

テキスト	1)成人看護学 急性期看護 I 概論 周手術期看護 南江堂 2015 2)成人看護 I 急性期・周手術期 第2版 パーフェクト臨床実習ガイド I 照林社 2016 3)緩和ケア メディカ出版 2016
参考文献	「災害看護」南江堂 2017 「看護診断ハンドブック 第11版」
他科目との 関連	病態生理、疾病論Ⅰ、疾病論Ⅱ、ヘルスアセスメント、生活援助療養援助技術Ⅰ・Ⅱの関連科目の内容を踏まえて学習を深める。
成績評価 の方法	授業への参加度 (10%) 、事前課題レポート・講義時に提示する課題レポート (40%) 、 テスト (50%) で評価を行う。
学習相談・ 助言体制	毎回の授業の終了時に、理解できなかった事項、疑問に感じた事項等を記載した出席カードの提出をもとめ、次回授業時に説明補充、意見交換等で理解を図る。 オフィスアワー:開講時に提示する。
授業改善の 特記事項	テキスト内容を補充・説明する資料を配布する。 授業内容と保健師国家試験の過去問題との関連を伝達する。
備考	学生は次回使用のテキスト箇所および資料内容を読み、準備して授業に臨む。 事前課題レポートを指定された日に提出する。

科 目コード	3	1172	授業科目		ティカル・緩 1/Palliative			担当教員		小百合 伊都子	他	L	<i>•</i> 9		
開講年	<i>,</i> ,	4年次		単位数	1単位	科目	専門	月関連科	- 目	授業		演習	1		
選択必	修	必		時間数	30時間	分類				形態					
復 前提和	計目	生活	援助・	療養援助技	交術実習 生活	舌援助	• 療養援助	技術Ⅲ	クリティ	'カル・	緩和	ロケア記	論		
条 件 その	他	なし													
化学療法、放射線療法および移植・手術療法など侵襲性の高い治療を受ける人々の看護、 重症期・終末期の看護と緩和ケア、ならびに災害看護・救急看護の看護について、看護 の役割、チーム医療、ならびに看護の原則や方法について、演習を通して技術、態度を 習する。看護の対象となる人々には子どもから高齢者まで含まれる。											舊師				
到達目	1. 急性状況下にある患者への基本的な看護援助技術を習得できる。 2. 集中治療を必要とする患者への基本的な看護援助技術を習得できる。 3. 周手術期にある患者への基本的な看護援助技術を習得できる。 4. がん治療に伴う侵襲性の高い治療(化学療法、放射線療法)を受ける人々への基本的看護援助方法を習得できる。 5. 終末期にある人々の苦痛症状への緩和ケアおよび看護援助技術を習得できる。											的な			
授業回	数		授	業内	容及び	計画			事後学習 習課題)	担当者	名	授業別	形態		
第1回	1	演習の	進めた	方のオリエ	ンテーション	/			果題は演		里	演	習		
第 2~4	□	1) · 2) ·	モニタ		レーション液 吸、循環、f		意識障害)	示する 事後課	台前に提 。 果題は演 こ提示す		花花				
第 5~ 7	7 口	2. 救急 (シ 1),	急、災害 ミュレ 成人の /二次求 災害時	害・緊急時(ーション海 一次救命処 か命処置(<i>l</i> の看護	译智) L置(Basic I Advanced Lif	Life Su Fe Supp	pport) ort)			赤	嶺				
第 8~10) 回	3. 周 1) 3	手術期 術後の ①全身	の看護(シ 観察と管理 の観察、②	v中に技術確認 vミュレーショ !)ドレナージの v中に技術確認	ョン演習	習)			他	ī				
第 10・11	1 回	1) 2)	ターミ 死後の	ナル期の <i>ク</i> ケア	アア	演習)				謝	花				
第 12~1	5 回	1) 2)	周手術 化学療	いての看護 期にある 法、放射総 にある患者	見者 泉治療中の患	者				謝	花				

テキスト	クリティカル・緩和ケア論で使用したテキストおよび講義資料 その他、各演習時にプリント配布
参考文献	「災害看護」南江堂 2017 「看護診断ハンドブック第11版」
他科目との 関連	病態生理、疾病論 I 、疾病論 I 、 \sim ルスアセスメント、生活援助療養援助技術 I ・ II ・ II 、 0 リティカル・緩和ケア論の関連科目の内容を踏まえて学習を深める。
成績評価 の方法	授業参加状況(10%)、事前課題・演習後のレポート・技術・ロールプレイ等(90%)とし総合的に評価する。
学習相談· 助言体制	毎回の授業の終了時に、理解できなかった事項、疑問に感じた事項等を記載した出席カードの提出をもとめ、次回授業時に説明補充、意見交換等で理解を図る。
授業改善の 特記事項	説明資料を配布する。 学生は次回資料内容を読み、準備して授業に臨む。
備考	毎回の事前課題レポートを指定された日に提出すること。 演習後のレポートは指定された日時までに提出すること。 自己学習を含め主体的に演習に望むことが必要である。

			Ι						<u> </u>	17 1810	⇒61 -11- 1	- T A	
科目			授業	クリ	ティカル・緩	受和ケア	実習	担当		見みどり 伊都子	謝花月 精神保		
コード	3	1180	科目	(Critical,	/Palliative	care Pr	acticum)	教員	小児	保健看	護 他		
											験:あり		
開講年		4年次		単位数	2単位	科目	専門	関連科目		授業	実	習	
選択必	-	必		時間数	90時間	分類				形態			
履前提移	9月			ル・緩和ケ 水痘 流径	ア 興省 	p 刑印	次のお休ね	本で陰	州の老	キャル	子陆按插	が空	
条 件 その	他	了して	ていない	いものは、多	実習を履修す 方接種を受け	ることか	できない。	さらに	11月				
授業概	侵襲性の高い治療または緩和ケアの必要な人々を対象とした臨地実習を通して、 康/疾病ニーズ、生理学的ニーズ、心理社会的ニーズに焦点をあてて、多様な場 れるケアに必要な理論的、臨床的基本、ならびに技術・態度について学習する。												
到達目	標	 患者の人権を尊重した態度でかかわり、援助することができる。 手術療法を受ける患者の健康障害の病態像、治療法について述べることができる。 手術療法を受ける患者の状態について身体的・心理的・社会的側面から情報収集を行い情報を統合してアセスメントし、患者のもつ問題を明らかにすることができる。 手術療法を受ける患者の個別性を考慮し、看護計画の立案・実施・評価ができる。 術前の心身の準備に必要な援助を行うことができる。 術後の疼痛や身体的苦痛の緩和を図ることができる。 手術侵襲に伴う合併症を予防し、術後回復に必要な援助を行うことができる。 がん患者に行われている看護を説明できる。 終末期にある患者の全人的苦痛を身体的・心理的・社会的・スピリチュアルの側面から総合的に理解し、症状緩和ケア、家族・遺族に必要な看護を説明できる。 関係職種間の連携について理解し、チーム医療における看護の役割について述べることができる。 実践したことを振り返り、自己の学習課題を見いだすことができる。 											
授業回	数			授	業内容	. 及で	び計画				指導	教員	
		2) か 3) 終	手術を受 ぶん患者 終末期に	fの看護(薬 こある患者の)術前・術中 薬物療法、緩和)看護		看護(手術	室看護を	と含む))		里花嶺神児	
前週の海 実習初		1)治 (1)为 (2) 事 ①	実習の進め方 1) 治療環境での看護実習オリエンテーション (1) 大学内で前の週の演習時に実習指導教員が行う。 (2) 実習場所の特殊性に関しては、実習初日に各病棟の看護師長が行う。 ①外科系病棟 ②緩和ケア病棟・ホスピス病棟 4~6名 編成										
1~2週	▤			(手術室台 周手術期患	含む) 者を受け持ち	ノ 、看護ì							
2週目後		3)緩和ケア病棟・ホスピス病棟 実習(1日間)4)実習報告会(1)病棟報告会(病棟実習最終日に各病棟で実習指導者を交えて報告する)(2)学内報告会(実習最終日)											

テキスト	クリティカル・緩和ケア実習 実習の手引き
参考文献	「成人看護学 急性期看護 I 概論 周手術期看護」南江堂 2015 成人看護 I 急性期・周手術期 第2版 照林社 2016 「緩和ケア」メディカ出版 2016 「看護診断ハンドブック第 11 版」 「災害看護」南江堂 2017
他科目との 関連	看護活動を実施できる基礎的知識、技術および倫理的態度を学習するために、病態生理、疾病論 I、疾病論 Iへルスアセスメント、生活援助技術 I・II・III、生活援助・療養援助技術実習、クリティカル・緩和ケア論、クリティカル・緩和ケア演習等の既習科目や実習の内容を統合している。
成績評価 の方法	実習の評価は、別途定める実習評価基準に準ずる。 実習の成績は、年度内に実施されるすべての実習が終了した後に確定される。
学習相談· 助言体制	実習では毎日のカンファレンスでグループごとに振り返りを行い、各自の学んだことについて発表しグループ全体で共有し、理解できなかった事項、疑問に感じた事項等を全員で考え、翌日の実習展開をスムーズに行うように指導助言していく。
授業改善の 特記事項	実習指導上の問題は、早期に現場の師長や指導者と話し合い、双方が協力体制を構築し取 り組む
備考	実習に望むにあたり、実習の手引き(クリティカル・緩和ケア実習)の実習内容をよく読み、事前学習して望むこと。

7	目ード		.133	授業科目		早期体 Exposure to		l Practice)	教具 神				里智子 川嶺子 原和代 湾明美	
-	開講年		1年次		単位数	1単位	科目八粒	専門関連	[科目		授業 形態	実	習	
j	選択必	-	必 なし	修	時間数	45時間	分類				形態			
履修条件	前提っ	<u>計日</u> り他	原則とは予防習にお	方接種だるいで <i>に</i>	ぶ完了してい はインフル	いない者は、st ェンザの予防	実習を履 接種を受	<u>「腺炎</u> 、B 型用 修することは をけることも条 ぶ完了している	できな k件とし	ない。 してi	さらに 追加され	11月り いる。		
看護実践の場または地域において、看護職者の仕事を観察し、自由に対話する中から、た、看護を必要としている人々やその他の医療従事者・関連職種との対話から、さらり 生同士の討論や役割モデルとなる看護職者の講演などを通して、看護という職業の意動社会における期待、必要性、そして今後の職業的準備のあり方について学習する。										さらに学 の意義や				
1. モデルとなる看護職者と自分の職業選択を比較し、自分のキャリア発達についてきる。 2. 看護職が働く様々な場において、看護職が果たしている役割について記述できる。 3. 看護という職業の意義や社会における期待について記述できる。 4. 看護を担っていく人に求められる能力について考え、それについて記述できる。 5. 看護の難しさや素晴らしさを感じ取り、それについて記述できる。									述でき	る。				
1	受業回	数		ŧ	受 業 内	容及び	計	町	事前(学	・事役	後学習 題)	担当	当者名	
	5日間		日程: 異なる 習別 8 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日	および ら。詳細 三引き」 日(木) の4日 に含む	実習の展開 についてに に示す。 、14日(金)、 間、離島での :現場での	t、実習施設・ 21日(金)、2 の実習の場合	実習指 実習指 8日(金) は6月15	日(土)も実		習 <i>の</i> によ	手引る	金城質数	大川	
3	テキス	1	指定力	なし										
2	参考文	献	「看該	 雙専門耶	戦論Ⅰ」の記	 講義資料								
他	上科目。 関連	との	職者を	を目指す	上理由」を かんりょう かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	舌用する。		渓習を行う。専 内容を含めて				- 卜「禾	仏が看護	
)	成績評 の方法							夏レポート(6 テーションへの		も含む	ts)			
	習相認動言体							導にあたり、 訓については別				。実習	習先では	
	業改 特記事		学内幸	学内報告会は、グループ間の報告による学びをふまえ、担当教員ごとに開催する。										
	備る	号	② 実	① 実習に先立ち、5月31日(金)に実習オリエンテーションを行う。 ② 実習施設・実習指導者毎の実習展開は「実習の手引き」を参照すること。 ③ 実習先が離島の場合の日程は、実習指導者と調整して上記実習期間中に設定する。										

科	· 目		6104	授業		精神保候 (Mental Hea			担当	С)大川嶺子		
コ	ード	3	6124	科目	Ps	ychiatric	Nursing	I)	教員	実	務経験:	あり	
ŀ	開講年	次	2年次	前期	単位数	1 単位	科目	専門関	関連科目	授	美業	集 義	
į	選択必	修	必	修	時間数	15 時間	分類	(保	・看)	形	態	+ 我	
条件	前提和	計目	なし										
件	その	他	なし										
ł	受業概	要	の健康	を保持	F増進する7	なび不健康に ための精神に で遷、役割と	呆健や精	神の疫学的	動向と対	策につ	いて学習っ		
2.2	削達目	標	 さる 生保付 飲者 精行 精行 	 現代社会における精神の健康・不健康の動向と対策について述べることができる。 さまざまな身体的状態において生じる心の健康問題について述べることができる。 生活の場及びライフサイクルにおける精神保健上の問題、および危機時における精神保健について述べることができる。 欧米や沖縄を含む日本における精神保健福祉の沿革と歴史について理解し、精神障害者に対する自己の偏見に気づく。 精神看護の定義と役割・機能について述べることができる。 精神障害者の社会生活への支援について述べることができる。 地域精神保健活動の意義および制度等について述べることができる。 									
ł	受業回	数		授	業为	容及び		事前・事 (学習		担当者名	授業形態		
	第1回]	精神の	健康と	不健康の重	加向と対策			(10	WK/GJ	大 川	講義	
	第2回]	生活の	場及び	ジイフサイ	クルと精神	伸保健		授業内容	の復習テ			
	第3回]	危機時	まにおけ	る精神保険	ŧ			す	, 1.5 m			
	第4回]	精神保	健医療	福祉の沿革	草と歴史							
	第5回]	精神障	音者へ	の偏見と権	室 利擁護							
	第6回]	精神看	護の定	養と役割・	機能							
	第7回]	精神障	色害者の	社会生活の)支援			ゲストスト	ピーカー			
	第8回]	地域精	育神保健	看護活動と	:制度・資源	原の活用と	調整					
3	テキス	<u>۲</u>	ヌーウ	i エル	ヒロカワ 料	青神看護学]	精神保	·健学 第 6	版			•	
Ą	参考文	献	_			新体系看護 断生の動向							
他	科目と 関連	:の				②家族社会等 、間発達論の					ジメントとイ	建康教育	
j	成績評 の方法		出席・	小テス	ト・レポー	ート (40%)	、および	期末試験(60%)で	評価を行	テう。		
当	学習相記 助言体					寺に適宜質疑 イントを取る		ける。					
	業改善		テキス	テキスト内容を補充・説明する資料を配付する。									
	備者	Ť				ページを読ん と行うことか			-	中に提示	;する。 		

									O 4-1-	I >#+ →	1.1	<u>п</u> н. –	7
科目	9	6125	授業		精神保健看 (Mental Hea	計護Ⅱ alth and	I	担当		上満子 七浩子			_
コード	91	0120	科目	Ps	sychiatric N	ursing II)	教員		ミ務経!			
開講年	次	3年次	前期	単位数	2単位	科目		70.4-61 -	ł	受業	-4		
選択必	修	必	修	時間数	30時間	分類	専門	関連科目		形態	講	義	
履前提和修	斗目	なし											
条 件 その	他	なし											
授業概	要	主なり	精神疾病	患とそれら	の病因、症状	、検査、	診断、治	療および	が看護に	ついて	学習	する。	1
到達目	4. 主な精神疾患および精神症状のアセスメントと看護について説明できる。 5. 治療および自立支援における多職種との連携について述べる事ができる。												
授業回	数		授	業内	容及び		事前・事 (学習	事後学習 課題)	担当	者名	授業	形態	
第1・2[□	精神看	護の基	本(接近6	り基本、観察	• 記録の	基本)			村	上	講	義
第3~5	回	精神看	護に用	いる理論	・モデル					1)	1		
第6・7[□	アセス	メント	・の視点とフ	方法			√ + √ + ≥Λ		1)	ı		
第 8•9	回			fの症状とえ 症を中心に				疾病論床薬理箇所の	等該当	<i>I</i>)	ı		
第 10 [囙			午の症状とえ を中心に	f護②			課す。疾患・	て授業	大	Ш		
第 11 [曰			fの症状とえ ル依存症を	–			前に小を行う	アスト	1)	1		
第 12 [□			fの症状とえ 障害を中心						1)	1		
第 13 [П	発達			賃護 ⑤ 、てんかん、	児童思春	F期 、			J)	1		
第 14・15	回	精神科	トにおけ	する治療環境	至					村 屋 <i>嘉</i>			
テキス	ト	ヌーウ	゛ェル	ヒロカワ	精神看護学]	 II 精神	臨床看護	—— 学 第6版	<u> </u>				
参考文	献	①エルゼピア・ジャパン:精神科看護―原理と実践― 原著第8版 ②メジカルフレンド社: 新体系看護学全書34・35 精神看護学①② ③ヌーヴェル ヒロカワ: 精神看護学Ⅰ 精神保健学 ④医学書院: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学①・② ⑤中央法規: 看護のポイントシリーズ 精神科Ⅰ・Ⅱ											
他科目 と 関連		①人間	関係論	命 ②臨床心	心理 ③疾病詞	論Ⅱ ④	臨床薬理						

成績評価の 方法	①出席・課題・小テスト (30%) 、②期末試験 (70%) で評価を行う。
学習相談•	・講義終了時にしばらく教室に残り質疑を受ける。
助言体制	・原則として講義日の午後4・5限目は、オフィスアワーとする。
授業改善の	・テキスト内容を補充・説明する資料を配付する。
特記事項	・授業内容と国家試験の過去問題との関連を考慮に入れ講義を進める。
備考	・積極的に講義へ参加し、学んだことを自身の実生活にも反映させてほしい。 ・テキストの該当ページを読んで授業に参加すること。

科目	0	6106	授業	(11	精神保健看			担当		十上満子	大川	嶺子
コード	3	6126	科目	(Menta	al Health ar Nursing Sen		1atr1c	教員		実務経験	魚 :あ	ŋ
開講年	次	3年次	後期	単位数	1単位	科目	専門	関連科目		授業	演	習
選択必	修	必	修	時間数	30時間	分類		7,2117		形態		П
履修前提和条件。	斗目	生活	援助・決	療養援助技	術実習 精神	保健看護	護実習 I	精神保健	看護 I	I		
件その	他	なし										
授業概	要	過程	を展開	する方法に	ハビリ期の精 ついて学習す び態度につい	⁻ る。また	こ、実習の					
到達目	標	 精神障害者や精神的な健康問題を持つ人への看護に必要な知識と技術について記述 きる。 急性期及び慢性期の基本的な精神科看護について記述できる。 精神科看護における看護過程について記述できる。 実習対象の権利を守るために、最低限必要な知識、技術および態度について述べるとができる。 										
授業回	数		授	業内	容及び	計画		事前・事 征 (学習調		担当 者名	1 72	受業形態
第1・2	口	事前4	学習振	への導入 り返り *1 理解 *2				*1 事前 の事例使		村上	-	演習
第3回]		りの技	術-コミュニ	ナーション コード例の検			*2 映像		"		
第4回 第5回		ì	科にお法的整体		境 *2 境・入院形態	急・人権係	R護等	文献資料 しレポー 成(事後	卜作	大 川 "	[
第6~8	□	精神作	保健看		看護過程展開 看護計画(急			*3 看護 に沿って			-	
第9~12 第13回			りの技	術ーコミュ	看護計画(慢 ニケーション コード例の検	/		課題提出		大川村上		
第14回 第15回				ロールプレ		ミ市リ (4)))))		
テキス	<u>۲</u>	ヌーウ	ブェル	ヒロカワ	精神看護学	Ⅱ 精神闘	a 床 看 護 学	第6版				
参考文		_		ル ヒロカ! フレンド社			神保健学 精神看護		青神障	害を持つ)人の	看護)
他科目 の関連	Ē	①臨床	薬理、	②疾病論Ⅱ	、③生涯人間	見発達論、	④人間関	係論の内	容を踏	まえて	学びを	深める。
成績評 の方法					K (80%) , (2							
学習相認 助言体		演習中は担当教員が常時質問を受ける体制をとり、演習課題はその都度担当教員に提出 して確認を受ける。										
授業改善 特記事		テキスト内容を補充・説明する資料を配付する。授業内容と国家試験問題との関連を考 慮入れ講義を進める。										
備	<u>ج</u>	 関連 	科目の	授業資料、	目内容のレ テキスト等 実習及び自	を参考に	すること。	ブを反映 る	させて	ほしい。		

科 目	26	133	授業		申保健看護実 ³ Health and		tnio	担当	○大川嶺子	- 村_	上満子	他
コード	30	199	科目		nearth and ing Practicu		ILLIC	教員	実		::あり	
開講年	次	2年	欠 後期	単位数	1単位	科目		専門関連	車科目	授業	実	習
選択必	修	业	、 修	時間数	45時間	分類		(保・	看)	形態	大	Ħ ——
履前提	科目	精神	申保健看	護I								
修 条 そ 件)他	種	が完了し	ていない者に	行性耳下腺炎、 は、実習を履値 ドの予防接種で	多するこ	とはて	できない	。さらに1	1月以	降の実	
授業概	要	なれ	がら地域	で生活してい	、レス、心理 いる対象との で理解し、支持	関わりを	通し	て、様々	マな環境に影			
到達目	標	2. 3.	対象の他地域で	建康的な側面 生活している	を尊重した関 について記述 対象を支える 返り、自己の	できる。 サポー	トシス	テムに	ついて理解	できる	,)。	
日参	数			授	業内容	及び	計	画			指導拳	女員
					いる対象の生活 ポートシスラ						大	JI]
			図の進め 1 複数	方 の実習場所を	>休騒する						村	上
			3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 8. 9.	と共では、	対内において	てをす指 習いけ日是実 実、捉リ導 指スポ々出習 習を一のす指 報祭るンと 教持ト記る導 告	と。テ連、員ちに録。教・会コー・携・、、つ用・員・を	ミュシを	ーションを ご受ける。 さがら実者等は 選指導景や療 に活背景で表 し、実習指	養養	他	
テキス	<u>۲</u>				舌レポートを打 引き(精神保)				
参考文					保健看護Ⅱに仮				- 7 / 講 羔 咨 4			
他科目。	との				r 陸					-1		
関連 成績評 の方法	価	ス・	への参加		f導教員の情報 、実習記録							

学習相談· 助言体制	各グループの実習担当教員が随時相談を受け、助言を行う。学生は、積極的に実習に 参加し、疑問等がある場合はその都度実習担当教員へ相談する。
授業改善の 特記事項	実習施設にはそれぞれ特徴があるので、それらを体験または共有できる様にした。
備考	実習施設は、利用者のリハビリの場であることを念頭に置き、報告・連絡・相談を密に して、責任を持って実習に参加すること。

科目コード	授業 科目	I (Monte	精神保健看記 al Health an Nursing Pra	d Psycl	niatric	担当教員	○大川嶺子 実務総	村上満子 イ	他
開講年次	3年次 後期	単位数	2単位	科目	専門原	 関連科目	授業		
選択必修	必 修	時間数	90時間	分類		· 看)	形態	実 習	
履前提科目	精神保健看	護演習							
修条件その他	ていない者	は、実習を履信		ぎきない。	。 さらに 11			方接種が完了し てはインフルコ	
授業概要	対象の全力							に看護を行い 護・調整に必	
到達目標	 対象を生 包括的に 精神症状 記述する 対象との 集団(患 看護をごとがて 退院がて 	活史や家族背景を 提えび精神を はおよびがの構動を 関係性療徒を 活史や家践を での でで で で で で で で で で で で で で で で で で	章害が対象のE 5。 Eについて理解 者)の持つダイ 「景と、対象の F価できる。	、対象(日常生活 ばし記述 イナミッ 抱える同 機種との	か抱える問題 行動・対人 することが、 クスについ 問題の包括的 連携・調整	題とそれ 関係なと できる。 で理解に り理解に の実際を	らとのつなが に与える影響 ができる。 基づいて対象 ・体験し、看記	りについて 撃について捉え のニーズを捉 	え、
授業回数		授	業内容	予 及	び計画	Î		指導教	員
	 精神症 セルフ 	フケア能力向 を中心とした	特殊性 の入院時の看 上に向けての 家族・関係職	看護	車携調整			大川村上	
演習最終日 実習初日	1) 大学2) 実習	エンテーショ 側からは実習 施設看護部カ	ン 習目的・目標、 いらは施設概 らは、病棟お	要、方釒	一、看護部絲	且織、理	念・方針に関 こ行う。	他	
	2) 受け 3) 自己 4) 実習 検討名	の患者を受け 持ち患者で何の る る る る る る る る と と で の る で る る る る る る る る る る う と う と う と う と う と	け持ち、看護道 体験できないを か振り返りを で情報整理、 正する 看護計画を実	事につい すう 看護計	ては、体験			十画	
5日目以降	1) 保護	実習および臨 室、開放病核 部、作業療法	床講義 東又は閉鎖病材 よ部等の臨床記	東、外来 構義を受	、デイケア ける	"等の見	学を行う		
9月目10日目	4. 実習幸 1) 病棟 2) 実習	実習最終日は	こ実習病棟で幸 Pでグループ記	報告会を 対議、及	行う びまとめを	:行う			

テキスト	3年次後期の「実習の手引き(精神保健看護実習Ⅱ)」
参考文献	精神保健看護Ⅱ、精神保健看護演習に使用したテキストおよび講義資料
他科目との 関連	精神保健看護Ⅰ・Ⅱ、精神保健看護実習Ⅰに加え、人間関係論、臨床心理、生涯人間発達 論、疾病論、臨床薬理で学んだ知識を活用する。
成績評価の 方法	施設実習指導者・実習指導教員の情報等を参考に、出席状況・実習態度・カンファレンスへの参加状況(20%程度)、実習記録・レポート等の諸記録(80%程度)で、科目担当教員が総合的に評価する。
学習相談 · 助言体制	各グループの実習担当教員が随時相談を受け、助言を行う。学生は、積極的に実習に参加 し、疑問等はその都度実習担当教員へ相談すること。
授業改善の 特記事項	看護師国家試験の過去問題との関連を伝達する。既習の関連科目の復習を行わせて、実 習に活用できるようにした。
備考	実習施設では報告・連絡・相談を密にして、責任を持って行動すること。

科 目 コード	3	7124	授業科目	(Comm	地域保健詞 nunity Healt		ng I)	担当教員	5	川崎道 印念真 医務経	樹	牧内あり	
開講年	次	2年次	前期	 単位数	1単位	科目	専門関	 関連科目		授業			
選択必	修	必	修	時間数	15時間	分類		•助)		形態	1 3	講	義
履前提	科目	なし											
履修条件	の他	なし											
授業概	要	方法と いて理	技術等は解する。	の概要を学 。また、地	看護)の概念 び、地域保健 域における人 対象の特性を	看護(2 々の健原	公衆衛生看 表状態の疫	護)の機 学的動向	能と(]と対	呆健師 策おし	iの名 こび、	と割に	こつ
到達目	標	 公 公 	衆衛生看 衆衛生看	 護過程と	題の出現過程 目的と対象、注 舌動に用いら 場と保健師の4	活動展開 れる方法	。 における基 ・技術に~	基本的な ついて理	理念7	が理解		-	きる。
講義回	数		授	受 業 内	容 及 び 計	十 画	'	前·事後雪 (学習課題	, <u> </u>	担当	者名	授業	形態
第1回 健康問題と公衆衛生看護の概念							P3-20	, 29-35		Ш	崎	講	義
							69-82	69-82「レポート」					
第2回	ij	地域語	診断				P97-1	P97-117 知念					
第3回	ij	公衆征		長の変遷と 孝			P21-2	P21-29, 36-41, 493- 川 崎					
第4回	ij	公衆征	衛生看護	活動の対象	象、場及びその	の機能	P49-5	4		"	1		
第5回	ī	公衆征	衛生看護	活動の方法	去と技術-1		P58-6	3		"	1		
第6回	ij	公衆征	衛生看護	活動の方法	去と技術ー2		" L	ポート		牧	内		
第7回	ij	沖縄り	県の保健	師活動の野	見状					Щ	崎		
第8回	ij	公衆征	衛生看護	管理と倫理	里		P483-	492、P50	3-510) //	1		
テキス	. ト	インタ	ーメデ	ィカル「公	衆衛生看護学	生.jp」を	必携とする	5.					
参考文	て献	「新版	保健	師業務要覧	」、その他は	開講時に	紹介する。						
他科目。		ント等て、地域	の既習 或保健看	科目の内容 護Ⅱ、Ⅲ、	間関係論、生 を統合し、公 地域保健看記 産師課程の読	衆衛生及 護演習へ	び地域によっの導入とす	おける看 ける。	論 I 護活	、ヘル 動の楒	·スア 提要を	セン認識	スメ散し
成績評値 方法					筆記試験(80				で評価	する。			
学習相 助言体	談· :制				点などの記載 示し、相談し				#足説 	明する 	5. E	また、 	研
授業改善 特記事		公衆徫	一一	のアウトラ	インが理解で	ごきるよ	うに具体例	を用い詞	構義を	展開	する。)	
備る	考	衆衛生	看護の	視点で対策	域住民(生活 を考える。 ページを読み					に関心	ゝを〕	たせ、	公

1)				極業			毛 苯π		40 W	○ A-F	r1 37	<i>-</i>	早快
科			37125	授業	(Com	地域保健 munity Healt		ing∏)	担当			知念	
	ード		0/5: 1/4	科目		<u> </u>			教員	夫	務経験	. : Ø	9
	講年次		3年次		単位数	2単位	科目		関連科目		授業	講	義
	択必修	-	必	修	時間数	30時間	分類	(保	:•助)		形態		
履修条件	前提科	·目	なし										
条件	その	佃	なし										
77				ナッナ ファ	佣 1 . 安埃	 、集団の健康	羽色の/	ンポーム、こ たまし	主田町ナ	. HH C ~	3.17 I	布 尼 〉	nt=
授	業概要	:	めの地知識と	域保健 技術を	看護(公衆	衛生看護) 活! また、プライ	動計画を	立案・実施	・評価す	る一連	車の過程	とに必	要な
到	達目標	î	2. 地域 3. ヘル きる 4. 対象	対診断の シスプロ)。 そのニー)意義と診り (モーション -ズに合わせ	地域の健康問題 所過程、必要 アの進め方と付 せた活動計画 団支援、個別別	な知識と 使われる を策定、	: 技術が理角 たデル、流 行政施策に	解できる 舌動に用 繋げるこ	。 いるフ プロセ	スキル等スが理	解でき	
講	義回数	(授	業内	容及び	計画	事[前•事後 学習課是	学習 担	担当者	4	受業 形態
Ĵ	第1回		地域診	鯵断に基	でいた健康	康教育指導案 個	作成	P19	96-207		知 念	講	義
3	第2回		健康教	首指導	なく 媒体化						"		
	第3回		健康教	育プレ	/ゼンテー?	/ョン					"		
	第4回		"								"		
	第5回					舌動ニーズの 月					"		
1	第6回				_ ,	町策定・評価の	の意義	P 97	7-147		"		
	第7回		地域ア	ヤスメ	ント演習						"		
1	第8回		"								"		
1	第9回		保健事	業の現	!			P 12	28-147		牧内		
É	第10回		地方自	治体に	おける地域	或保健計画策算	定と予算	Ĩ.			"		
É	第11回		地域保	是健活動	計画作成	(演習)					"		
É	第12回		IJ								"		
É	第13回		保健事	業計画	『の策定・訓	平価					"		
É	第14回					計画と評価					"		
É	第15回		集団オ	支援・個	固別支援の記	計画と評価					"		
テ	キスト	,	インタ・	ーメデ	イカル「公	衆衛生看護学	i.jp] を	必携とする	5.	•		•	
参	\$考文南	犬 	げる保付	建師活	· · · - · · ·	民福祉と介護の る公衆衛生看記 する。				. –			
1 .	斗目との 関連	カ	護科目	のりち	既智の科目	は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	(字習す	る 。		生活と I、お	文化、など生活	社会与 厓発達	学、家 幸看
	責評価の 方法	カ	授業参	加状況	(20%) 、	レポート (3	0%) 、	筆記試験	(50%:	中間・	期末)	で評	価す

学生相談· 助言体制	出席票に講義内容の疑問点などの記載をもとめ、次回の講義で補足説明する。 また、研究室に教員の予定表を提示し、相談しやすいように配慮する。
授業改善の 特記事項	地域の健康問題解決に向けた地域保健計画策定過程から保健事業、集団支援、個別支援の流れや関連性を強調する。
備考	保健師活動を理解する上でコアとなる科目である。地域保健看護実習 I でのアセスメントの視点、健康問題などを想起し主体的にグループワーク、講義へ参加する。

科 目 コード	3	7126	授業科目	(Comm	地域保健看 unity Health		ng III)	担当教員	知念	所道子 物 真樹 務経験		
開講年	F ル	3年次	計曲	単位数	2単位	科目		I 門関連科		授業		
選択必		3年次		時間数	30時間	分類	• •	保・助)	Ħ	形態	請	義 義
			修	时间级	2014月	73 /2		. 1/1 -037		712 165		
履修条件	是科目	なし										
発件を	の他	なし										
授業棚	既要	る過程 いて学	呈、地域 全習する	保健・学校 。また、地	「るグループ [®] 保健・産業係 域における優 とこついて学	R健の場 建康危機	で展開され	ている	ヘルスク	アアシフ	くテ.	ムにつ
到達目	目標	けた 2. 地域 解で	ヘルス におけ きる。	ケアシステる組織化、	成人、高齢者 ムを法的根拠 地域ケアシン り場で展開さる	処、保健 ステム、(計画、実践建康危機管	桟、評価 管理及び	の視点 災害保険	で理解で建活動に	でき	る。 ハて理
講義回	回数		授	業内	容及び	計画		事前・事 (学習		担当者	名	授業 形態
第1[П	健康護	果題、傾	建康増進に向	可けたヘルス・	ケアシス	テム]	奇	講義
第2回	口	母子係	R健対策	賃 (歯科含む	s) とヘルス・	ケアシス	テム	P238-26	60	知	念	
								「レポー	ート」			
第3回					さむ) ヘルス・			P261-28	_	牧口	勺	
第4回	旦		长健对束	7 (符正健身	長診査・特定(保健指導	.)	P267-26 「レポ-		"		
第5回	口	高齢者	対策(在宅ケア含	む)とヘルス	ケアシス	テム	P282-30	4	知	念	
第6回	口	感染症	を対策 と	ヘルスケア	プシステム			P357-39	2	IJ		
第7回	口	障害者ステム		対策 (身体・	知的•精神)	とヘル	スケアシ	P320-35	56	"		
第8回	口	難病・	(小児慢	性特定疾患	は含む) 対策と	ニヘルス・	ケアシス	P306-31	9	"		
 第9[on on the same			地域ケアシス				P149-17	'1]	占	
第10					学の保健活動	Lund — A		P405-43	_	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	111]	
第11			で保健者		(学校保健の	,	- material >	P431-44		"		
第12		<i>]]</i>	V. 111 6th -7		(養護教諭の)		:際)	"	. 1	"		
第13		' '	医保健者		(産業保健の	,	· \	P445-46	55	牧	村	
第14		"			(産業保健看			"		"	1	
第15		"		-3	(産業保健看	護店期(/)	美際)	"		IJ		
テキス					公衆衛生看護 この動向」を			基協会出	版会「氡	重 護法令)要	覧」、
参考文	文献	, , , ,	9版」「		護法令要覧」							
他科目 関連				· · · · · · -)法律と「地 f課程、助産的			_		対連づ	がけっ	て学習
成績評力		授業参	冷加状沉	1 (20%) 、	筆記試験(7	70% 期	末)、レ	ポート ((10%)	で評価	する	0

学生相談・助 言体制	出席票に講義内容の疑問点などの記載をもとめ、次回の講義で補足説明する。 また、研究室に教員の予定表を掲示し、相談しやすいように配慮する。
授業改善の特 記事項	授業内容を具体的にイメージできるよう図表を多く用いる。また、関連する資料を配付し内容を補充する。授業内容と保健師国家試験問題の関連を解説する。
備考	幅広い保健師活動を分野毎の具体的なシステム(一連の保健事業)を通して学ぶ。

科コ	目ード	37	127	授業 科目	(C	地域保修 ommunity Hea	alth and		担当教員	Þ	川崎道子和念真樹	牧内	
							ninar)				実務経験	:あり)
	開講年	-		次 前期	単位数	1単位	科目		関連科目		授業	演	習
-	選択必	修	业		時間数	30時間	分類		と・助)		形態		
履修条件	前提	科目	地域	保健看護第	美習Ⅰ 5	生活援助・療	養援助技	玩術実習地 ¹	或保健看記	護 Ⅱ	地域保領	看護 I	II
条件	その)他	なし										
ł	受業概	要	健康	診査等の場	易におけ	イやグルーフ る地域保健看 学習する。							
					対する個	固別支援(家庭	≨訪問、 健	は康相談)の	計画・展	操開・	評価につ	いて	里解
3	到達目:	標		きる。 津康問題に	対する集	集団支援(健康	· 教育、健	建康診査)の	計画・展	誤開・	評価につ	いて野	里解
				きる。 3廃訪問計	画作成は	aよび健康教 ⁵	 育指道室	を作成の準備	満 を自主的	内に名	テラニ と	ができ	ろ
			0. 2	())(Ell/) [1] [1]	<u> — П /-/Дч</u>		U 11 77 V						- 0
i	構義回	数		授業	内:	容及び	計画	- 一	事前・事後 (学習課題	子百夏)	担当者名	形	業態
	第1回		家族	を単位とし	_し た支援				P64-68		川崎	演	習
	第2回		個人	家族のプロジャン	アセスメ	ントツール			P227-237		"		
	第3回		個人	・家族支持	爰の看護	過程					"		
			(ア	セスメン	卜~実施	計画立案)							
	第4回		個人	・家族支持	暖の看護	過程 演習	X E				"		
	第5回			"		発表	₹				"		
	第6回					、保健指導			P189-195		知 念		
	第7回		健康	相談演習	월─1						"		
	第8回		健康	相談 演習	= 2						"		
	第9回		家庭	訪問の目的	勺、方法	、保健指導			P177-188		川崎		
	第10回	ī	家庭	訪問 演習	7						"		
	第11回	ī	家庭	訪問ローノ	レプレイ	(前半グルー	ープ発表)			"		
	第12回	1		"		(後半グルー	ープ発表)			"		
	第13回	ī	乳幼	児健康診る	藍の目的	」、方法、保險	建指導		P208-226		知 念		
	第14回	1	特定	健康診査の	の目的、	方法、保健指	 章		"		牧内		
	第15回	1	地域フ	マセスメン	ト、健康	康教育、健康	相談のふ	い返り			"		
			(技術	衍試験0SCE	、実習(の事前学習)							
	テキス	く ト	イン	/ターメデ	イカル	「公衆衛生看	護学jp」	を必携と	する。				
7	参考文	 献		民衛生の 動しは、開記		看護法令要覧 介する。	」「保健	——— 師業務要覧	 દ」「家族 [®]	看護	 学」「保(建師記	 録」

他科目との 関連	地域保健看護 I・Ⅱ・Ⅲ、地域保健看護実習 I の科目の他に、保健医療福祉制度、 生涯人間発達論、ヘルスアセスメント、生活援助・療養援助技術 I 、生涯発達看護 科目(周産期・小児・成人・老年の保健看護 I)及びストレスマネジマントと健康 教育等と関連づけて学習する。また、本科目は保健師課程、助産師課程の読み重ね科 目である。
成績評価の 方法	授業参加状況 (20%) 、筆記試験 (50%) 、地域アセスメント (10%) およびOSCE試験 (20%) で評価する。
学習相談• 助言体制	出席票に講義内容の疑問点などの記載をもとめ、次回の講義で補足説明する。 また、研究室に教員の予定表を掲示し、相談しやすいように配慮する。
授業改善の 特記事項	講義内容が地域保健看護実習Ⅱで活用できるように、地域特性のある事例を用いて講 義・演習を展開する。
備考	地域保健看護実習IIの実習項目を個人・グループで演習する。生活者として対象(地域住民)を理解し、効果的に保健指導技術が提供できるよう主体的に学習する。あわせて、実習市町村の地域アセスメントを作成し健康教育指導案作成へ活かす。

科コ	・目	371	42 授業 科目	(Community	地域保健看記 Health Nur		acticum I)	担当教員		牧内 宮里澄 あり	
	開講年	次	2年次 前期	単位数	1単位	科目		HH. L. A.	授業		
	選択必	修	必修	時間数	45時間	分類	専門	関連科	形態	実	習
	前提	科目	地域保健	看護I					·		
履修条件	その)他	了していれ	ない者は、実		ことは	できない。こ	さらに	で陰性の者または予 11 月以降の実習に る。		
	授業概	于要	性疾患なる性を理解す	どの健康課題 ける。また、人	を持つ人々や 、々の健康ニー	地域の	人々と交流 l 域生活を支	い、人々 えるた	ける高齢者・育児中 の生活の実際と健 めに必要な支援の身 た看護支援の視点を	康との)関連 知り、
	到達目	標	1. 看護 [‡] 2. 看護 <i>0</i> 3. 看護を 能力を 4. 看護 う。	専門職者としの対象のおかれる と必要とする 養う。 専門職者とし	人々と適切な ての保健医療	責任感 析・統合 関係を ^参	を養う。 し、科学的 築き、対象の	根拠に	まする。 基づいた問題解決能 に基づいた看護を 等・調整に必要な協	実践で	ぎきる
-			0. 7.13	ク甲で目己の	課題に気づき	、解決	に向けて主作	本的な学	学習態度を養う。	_	
	日	数	0. 7.					本的な学 画	学習態度を養う。	指導	享教員
	日 第 5 日間					容及	び計	画	学習態度を養う。		算教員
			1. 定め	られた日時に	授業内	容及	び計	画 る。			
			1. 定め 2. 週1	られた日時に 日(8 時間)で 村役場・保健	授 業 内 ご学内オリエン 、5 週にわた	容 及 /テーシ りグルー	び 計 ョンを受け ープによる調	画 る。 ^{果題実習}		牧	
			1. 定め 2. 週1 3. 市町 依頼	られた日時に 日(8 時間)で 村役場・保健 する。	授 業 内 学内オリエン 、5 週にわた さセンター等を	容 及 シテーシ りグルーと窓口と	び 計 ョンを受け -プによる調 して、地域	画 る。 果題実習 で生活	で行う。	牧知	内念
			1. 定め 2. 週1 3. 市町 依頼 4. 継続 5. 実習	られた日時に 日(8 時間)で 村役場・保健 する。 的に話し合い を通して学ん	授業内 ビ学内オリエン 、5週にわた はセンター等を や共同活動を	容 及 /テーシ りグルー と窓口と ・行う中 いて集団	び 計 ョンを受け ープによる調 して、地域 で地域住民 をとらえる	画る。 果題実習で生活で生活で	引を行う。 する住民に協力を	牧知國	内念吉
			1. 定め 2. 週1 3. 市町 依頼 4. 継続 5. 実習	られた日時に 日 (8 時間) で 村役場・保健 する。 的に話し合い を通して学ん パートナーモ	授 業 内 学内オリエン 、5 週にわた せセンター等を いや共同活動を いだ地域におい	容 及 ッテーシ り グ ルー と で て 集 団 で れ て 整 理	び 計 ヨンを受けープによる調して、地域 で地域住民を をとる。	画る。 果題実習で生活でに関する。	を行う。 する住民に協力を る理解を深める。 コミュニティ・ア	牧知	内念
			1. 定め 2. 週1 3. 市町 依線 4. 継続 5. 実ズ・ 6. 地域	られた日時に 日 (8 時間) で 村役場・保健 する。 的に話し合い を通して学ん パートナーモ 住民の健康課	授業内 デウトオリエン 、5週にわた きセンター等を や共同活動を が地域におい デル等を用い	容 及シーと 行 てて 悪題解	び 計 ヨンを受けープによる調して、地域 で地域 らる。 決の方法を	画る。 果題実習で生活でに関する。	を行う。 する住民に協力を る理解を深める。 コミュニティ・ア	牧知國	内念吉
			1. 定め 2. 週 1 3. 市頼 4. 継親 5. 実ズ地域 7. 地域 8. 地域	られた日時に 日(8 時間)で 村役場・保健 する。 もこ話したい を通したけった 住民の生活に の既存のへん	授業内 学内オリエン 、5週にわた きセンター等を いや共同活動を いだ地域におい デル等を用い 提題を整理し、 と必要な支援を	容・アグロン・アグロン・アグロン・アグロン・アグロン・アグロン・アのでは、アイスを関対やアのでは、アイスを対しては、アイスを対しては、アイスを対しては、アイスを対しては、アイスを対しては、アイスを対しては、アイスを対しては、アイスを対しては、アイスを対しては、アイスを対しては、アイスを対しては、アイスを対しては、アイスを対しては、アイスを対してはなりにはなりにはなりではなりにはなりではなりではなりではなりではなりではなりではなりではなりではなりではなりで	び 計 マをよる調 で をす 決 る の で きる	画る。関生でに視検す会質に対する。	を行う。 する住民に協力を る理解を深める。 コミュニティ・ア る。 を把握し、地域住	牧知國	内念吉
			1.定数2.週市依3.市板4.実6.地域域の7.地域域の9.要	られた日時に 日(8 時間) 日(8 場・ 日のとの は は は は は は は は は り に は り に は り に り に り	授業内 で で で で で で で で で で で で で	容 アグロ う 集整 題計 や・ 中 団理解す 活補	び 計 アンをよる は で をす 決 る 用充 で をす きる まる きゃく まん	画る。異でに視験では複雑のでは、現ります。	を行う。 する住民に協力を る理解を深める。 コミュニティ・ア る。 を把握し、地域住	牧知國	内念吉
			1. 定週 市依継 実ズ 地 地 地民 実ら 6. 7. 8. 9. 9.	られ (8 (8 (ま)) とい (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	授業内 学内オリコン 大きででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	容テグ窓行でて課検ム善いなり、生きない。 集整題 討や・て 中団理解す活補報	び 計 プレーでをす決る用充告できる域 民る たんし できない まるきべい はらる おきべい はんしん はい はん	画 る題でに視検会柄担 の ままだすを す 源検者:	を行う。 する住民に協力を る理解を深める。 コミュニティ・ア る。 を把握し、地域住 討する。	牧知國	内念吉
			1. 定 週 市依 継 実ズ 地 地 域 域 の 3. 10. 2. 11. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2.	られ (8 で と で と で と で と で と で と で と に の で で に で で で で で で で で で で で で で で で	授業内 学内オリコン 大きででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	容 テグ窓 行てて課検ム善い 言を シレと 中団理解す活補報 受	び 計 プレープ し で をす 決 る 用充 告 け な は ら。	画 る題でに視検会柄担 の ままだすを す 源検者:	を行う。 する住民に協力を る理解を深める。 コミュニティ・ア る。 を把握し、地域住 計する。 および指導教員か	牧知國	内念吉
			1. 定 週 市依 継 実ズ 地 地 域 域 の 3. 10. 学生は サイン は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	られ (8 (8 (4) を) とい と (8 (4) を) とい 住 民 既援 結を告 と し てナ 健 生 の一 をて 行 活 しん の 存二 果得 を の で ま、い 動 で が ま、い 動 を (4) を (4) を (5) を (5) を (6) を (6) を (7) を (7) を (7) を (8) を	授業内では、大きないでは、まないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	容 テグ窓 行てて課検ム善い 言 両及 シレと 中団理解す活補報 受で	び コプし でをす決る 用充告 け深からな 地 住え 法 るき 実 ら がる きべ 、 がる。	画 る題でに視検会柄担生	を行う。 する住民に協力を る理解を深める。 コミュニティ・ア る。 を把握し、地域住 計する。 および指導教員か	牧知國	内念吉

参考文献	医学書院「コミュニティー・アズ・パートナー」、市町村勢要覧、市町村保健福祉計画、 福祉保健所概況、衛生統計年報、国民衛生の動向、その他、学生自身が文献検索により収 集する。
他科目との 関連	地域保健看護I、保健医療情報演習、沖縄の生活と文化の内容を参考にして地域を視る。
成績評価 の方法	事前学習(8%)、実習目標の到達度(52%)、提出物(8%)、実習態度(24%)、実習参加状況(8%)とする。ただし、実習オリエンテーションへの出席も実習評価に含まれる。
学生相談・ 助言体制	グループ指導教員が随時相談を受け、助言を行う。研究室前に教員の予定表を掲示して相談 しやすいように工夫する。
授業改善の 特記事項	グループ運営は学生が自主的に協力し合って学習することができるように指導する。
備考	・学生はグループでの活動に責任を持って参加し、メンバーの役割を担う。・指導教員や実習担当者と十分に連絡を取り、実習前に、担当地域の概要や地域住民の状況を把握する。・実習中は必要な情報や学習した内容を記録して、毎回振りかえりを行う。・実習報告会を通して学んだことを報告書に整理する。

科目	3714	授業	143						女内 忍 吉香代子		為真樹 是澄子
コード		科目 (Community Health Nursing Practicum II) _表							実務経	験:あ	り
開講年	次 4	年次 後期	単位数	3単位	科目	専門関連	科目		授業	実	習
選択必	-	必修	時間数	135時間	分類	(保・」	助)		形態		Ħ
履前提利	斗目 5	也域保健看該	雙演習 一								
修 条 そ の 作	他	F疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、B型肝炎の各抗体検査で陰性の者または予防接続 「完了していない者は、実習を履修することはできない。 さらに 11 月以降の実習にお いてはインフルエンザの予防接種を受けることも条件として追加される。									
授業概	要	割と活動の原 する。また、 こ、実習地区	建所および市町村における地域保健看護(公衆衛生看護)の機能と体制、保健師の役と活動の展開方法、家庭訪問等の保健指導技術等について、見学や体験を通して学習る。また、広い視野に立つ地域保健看護(公衆衛生看護)活動の実際を理解するため実習地区の特性や人々の健康に対する考え方や行動と地域の健康問題との関連、近関係や保健行政とのかかわりを学習する。								
		下記の実習	目標に沿っ	て定められた	実習到	達目標を別途	提示す	る。			
				の倫理観と責							
7114 =		2. 看護の対象のおかれた状況を分析・統合し、科学的根拠に基づいた問題解決能力を養う。									
到達目	標	3. 看護を必 きる能力		々と適切な関	関係を築	き、対象のニ	ーズに	基づ	いた看	護を実	践で
		4. 看護専門 を養う。	職者として	の保健医療社	畐祉等の	関連職種間の	連携・	調整	に必要	な協働	能力
日数	汝			授 業 内	容及	とび 計画	ij			指導	教員
3週間] :	事前学習								牧	内
				-プで、既存資 - 把握する。	資料の検	討や地区踏査	を行い	、美	ミ習地域		
		·地域保健看	護演習にお	3いて、健康教	数育の企	画を行い、指	導案を	作成	する。	知	念
		実習施設の	保健事業子	定表をもとに	こ、実習	計画を作成す	る。			國	吉
		※指導教員/ 当者と計画	は、体験する 面の調整を行	ることが望ま テう。	しい事業	美等を考慮して	、施設	と側の	実習担		
		1. 実施								宮	里
		2. 定められ	た日時に学	内オリエンラ	ーショ	ンを受ける。					
		3. 実習初日に、保健所における、広域的、専門的かつ技術的な保健活動に ついて学ぶ。(ただし、那覇市保健所は初日に限らない)									
		ついて字	ぶ。(ただ)	し、那覇市保	ム域的、 健所は初	専門的かつ技 J日に限らなレ	術的な)		≧行 男/(⊂		
						専門的かつ技 J日に限らなV 機能、保健事 受ける。					
		4. 実習開始 康問題等	2-3 日目に に関するオ		の組織、	機能、保健事 受ける。					
		 実習開始 康問題等 実習中は 	2-3 日目に に関するオ 必要に応じ	こ、実習施設(リエンテーシ 実習計画を請	の組織、 /ョンを 『整・修 』	機能、保健事 受ける。	業、地	也域名	宇性と健	1	
		 集習開始 康問題等 実習中は 学生は主 学生はグ 	2-3 日目に に関するオ 必要に応じ 体的にカン ループ内で	こ、実習施設(リエンテーシ 実習計画を訓 アファレンスを	の組織、 ションを 調整・修 で行い、 等の役割	機能、保健事 受ける。 正する。	·業、地 解、共 ² 担当者	地域や	特性と健 努める。		
		 実習開始等 実習中は 学生はデックを 学生の運搬 実習施設 	2-3 日目に に関するオ 必要に応じ 体的にカン ループや報 での最終日	こ、実習施設はリエンテーション 実習計画を調 ファレンスを サーダー等 を行い、実	の組織、 /ョンを 調整・修 行い、 等の円滑	機能、保健事受ける。 正する。 実習内容の理りを決め、実習	業、地解、共2担当者	を はない ない ない ない はい ない はい	特性と健 努める。 背導教員		

テキスト	地域保健看護実習Ⅱ 実習の手引き、インターメディカル「公衆衛生看護学.jp」
参考文献	地域保健看護 I ・ II ・ III および地域保健看護演習で使用したテキストおよび参考書等
他科目との 関連	地域保健看護I・Ⅲ・Ⅲおよび地域保健看護演習との関連科目を統合して実習を行う。 また、本科目は保健師課程、助産師課程の読み重ね科目である。
成績評価の 方法	提出物、事前学習(12%)、実習目標の倒達度(60%)、実習態度、実習参加状況 (28%)とする。事前学習、学内オリエンテーションも実習評価に含まれる。
学習相談· 助言体制	・実習施設毎の指導教員が演習終了後も随時相談を受け、助言を行う。 ・実習中は、原則として1日~2日に1回巡回指導を行うが、到達目標が到達できてない場合などは複数の指導教員で頻回指導を行う。
授業改善の 特記事項	・学生がグループごとに自主的に協力し合って実習することができるように指導する。・講義の知識(理論)と実際の実習展開とを関連づけて学生を指導する。
備考	・実習地域の健康問題と保健事業(個別支援、集団支援など)とを関連づけて実習を行う。・経験する事業等について予習し、主体的な態度で実習に臨む。・指導教員や実習担当保健師と十分に連絡をとり、実習計画の立案、健康教育指導案の作成を行う。また、報告・連絡・相談をタイムリーに行う。

科 目コード	3	7150	接業 在宅保健看護実習 担当 村上満子 宮 砂川ゆかり 未定(小児)						大川嶺子 宮城裕子) 光来出由利子		
開講年	次	4年次	後期	単位数	1単位	科目	専門	関連科目	授業	्र चर्च संस्था	
選択必	修	必	修	時間数	45時間	分類	(1)	呆・看)	形態	実 習	
前提和履修	科目	小児伊	地域保健看護実習 I 生活援助・療養援助技術実習 精神保健看護実習 II 小児保健看護実習 II 周産期保健看護実習 II 成人保健看護実習 II 老年保健看護実習 II クリティカルケア・緩和ケア実習								
履 修 条 件 その	也	いない	者は、	実習を履修っ		ない。さ				方接種が完了して インフルエンザの	
授業概	要								を含めて総合的 協働能力を学ぶ	りに理解し、具体 。	
到達目	標	連絡 2. 対象 3. 対象 4. これ がで	 対象のQOLを向上させるための生活ニーズおよび家族の生活ニーズについて、生活の個別性・連続性・地域性を含めて、総合的にアセスメントできる 対象の在宅生活を支えている社会資源と協働連携して、健康問題の解決のための実施ができる 対象のQOLの向上に生かせる新たな社会資源を見いだすことができる これまで学習した施設ケアと在宅ケアを継続させるための看護職者の役割について述べることができる ケアを受けながら自分らしい生活の継続性とは何かについて、述べることができる 								
授業回	数			担	受業 内容	こ 及 て	が計画			指導教員	
5日間		例が対同訪宅集対に立ま毎日最習学に対いの実別の対対同訪宅集対に立ま毎日最習学に対いの実別の実際に対している。	舌と象象時間介を象つ案た日の終方生実象る皆機しへ以に看護行といしはの報的法と習の友査能ての外、護支い家てた担力告に「対内状人を降1看の記さ技、旅打看当之会、「쇻容、お行行	事勝の記して事総を捏護的というでは、事総を捏護的というでは、事総を握護的というでは、事ををというでは、事をというでは、事のとは、事のというでは、事のというでは、までは、ないのとは、でいると、は、までは、ないのでは、ないのは、ないのでは、ないのは、ないのでは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないの	持つ。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	計作在対サるイーしる司す題「習を展、を画件/宅象一。ンーて。カるレー前踏開公見、日と者ビーフー実「ン。ポーにまも共い実)、施のスーォー施「フーー」対え行機だ	施、担設自等 一 可 ァ ト 象たう関すの出の名で マ 能 レ を 予上。等のは ス 出 者マ宅の 出 オマ宅の と と は で の ツリ同	を展襲計での地にファを実って、情チ外行では、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	画に役立てると 学習する。 対制、及び居 ながら情報収 ハサポート) 、実習指導者 達含む)、5日 学生の既習し	村 上 宮 城 砂 川 光来出 未定 (小児)	

	4)計画・実施した中で対象の QOL を向上させるために今後も必要なケア(学生が 見いだしたケア、新たな社会資源の発掘等)について、関係者(家族、友人・ 知人、専門職者等)に引き継ぐ。
テキスト	在宅看護論,南江堂,2012.
参考文献	ケアマネジャー実践ガイド 医学書院 1997
他科目との 関連	地域保健看護実習Ⅰ、生活援助・療養援助技術演習、精神保健看護実習Ⅱ、小児保健看護実習Ⅱ、 周産期保健看護実習Ⅲ、成人保健看護実習Ⅲ、老年保健看護実習Ⅲ、クリティカルケア・緩和ケア 実習の既習科目を前提とし、在宅で生活している対象者の課題解決の実際を学ぶ。 本科目は保健師課程、看護師課程の読み重ね科目である。
成績評価の 方法	実習の評価は、別途定める実習評価基準に準ずる。
学習相談• 助言体制	実習中は毎日開始前と終了時にカンファレンスを実施し、学びの内容や互いの課題を共有し、教 員、学生で解決に取り組む。
授業改善の 特記事項	実習オリエンテーション時に、在宅看護の定義、機能について講義を行う。実習中はオリエンテーション資料、実習の手引きやテキストを携帯し、理論と実践を行き来できるように促す。
備考	実習施設:訪問看護ステーション、病院(訪問看護)、小児発達センター等

//" ${ m I\hspace{-.1em}I\hspace{-.1em}I}$ シラ

専門関連科目 (生涯発達看護科目)

科 目 コード	3	3126	授業科目	(Peri	周産期保健 natal Healt		ng I)	担当教員			下中壽美
開講年	次	2年次	前期	単位数	1単位	科目		 関連科目		授業	
選択必		必	修	時間数	15時間	分類		助・看)		形態	講 義
履前担		なし		311420							
16	半日	,, 0									
条件その	他	なし									
授業概	要	健康生	産む性を選択した女性の周産期に焦点をあて、正常な妊娠期の身体的変化、心理的変化 健康生活を促進する援助方法や周産期における疫学的動向と対策について学習する。 また、妊娠期の正常からの逸脱に関する病態生理や援助法についても学習する。								
到達目	標	2. 正	常な妊娠	帰の身体的	用いられる理 変化、心理社 びその過程に	会的変化	とについて	説明でき	る。		
授業回	数		授	業内	容及び	計 画		事前・ 習 (学習語		担当者名	授業形態
第1回	THE STATE OF THE S	1. _年 2. 居 3. 居	计性看護 同産期看 同産期看	と周産期看 護への看護 護における	護理論の適用 ・理論と実践	プル		1. 第1章		井 上	講義
		女性と 1. 厚	:健康課 同産期に	!題 こおけるセク)理論と概念 'シュアリテージと健康問題			1. 第2章		"	11
第2回	Ħ	日性看護(周産期看護)のプリンシプル 1. 第1章 5. 法律と制度 (第5~第8節) 6. 母子保健統計 7. 母性看護実践と倫理 8. 女性の選択と決定支援								II II	11
第3回	ī	妊娠期 1. 妊	明の看護 妊娠経過		ントに必要	な知識と	技術	2. 第1章 (第1~第		西平	IJ
第4回	司	3. 妊娠期の健康課題と看護 2. 第1章 " (第 3 節)									
第 5 回	刊	周産期にあるマイノリティへのケア 1. ドメスティック・バイオレンス被害者と性暴力 被害者への支援 2. 子ども虐待の予防と早期発見 3. 在日外国人の母子保健							井 上	11	
第6回	1	4. 災害時における女性と妊産婦・新生児への支援 1. 妊娠経過のアセスメントに必要な知識と技術 (学内実習:ユニフォーム着用、母性保健看護実習室) (第 1 節) 他							演習		
第7回]	4. 妊娠	長期に起	是こりうる正	E常からの逸!	脱		2. 第1章		西平	講義
第8[П	1. 不	5妊治療	後に妊娠・	/ス状況への/ 出産した女性 ごもを出産し	生と家族		(第 4 章 1. 第4章 (第1~第		下中	11

	への看護 3. 周産期に子どもを亡くした女性と家族への看護							
テキスト	1.有森直子(編). (2015). 母性看護学Ⅰ 概論. 医歯薬出版. 2.有森直子(編). (2015). 母性看護学Ⅱ 周産期各論. 医歯薬出版. 3.医療情報科学研究所編集:病気がみえるVol. 10 産科, MEDIC MEDIA							
参考文献	国民衛生の動向、母子保健の主なる統計							
他科目との 関連	周産期保健看護実習 I と関連する。 本科目は保健師課程、助産師課程、看護師課程の読み重ね科目である。							
成績評価 の方法	試験80%, ALOHA note10%, プレテスト10%							
学習相談· 助言体制	Office Hour: 各講義終了後1時間							
授業改善の 特記事項	・ALOHA noteを講義で活用する。 ・事例(場面)を提示しディスカッションを行いながら講義を行う。 ・講義内容を視覚で理解するために視聴覚教材・模型等を活用する。 ・学内実習は学生が主体的に参加し技術の修得ができるように2クラスに分けて行う。							
備考	事前学習としてテキストを読んで講義に望むこと。指定ページのALOHA noteを実施(予習)して講義に臨むこと。毎回講義開始前にプレテストを行う。 講義・演習中の写真撮影は禁止する(スマホ等携帯電話、デジカメ)。							

科 目コード	3	3127	授業科目	周産期保健看護Ⅱ (Perinatal Health NursingⅡ)				担当教員	西下橋	数いづみ 平朋子 中壽美 口幹夫(川隆一(実務経験	知念 非常勤 非常勤)
開講年	次	3年次	前期	単位数	2単位	科目		 月関連科目		授業		<i>'</i> -
選択必	修	必	修	時間数	30時間	分類	(助・看)		形態	講	妄
履前提	科目	なし										
履前提和修金を	他	なし										
授業概	要				さあて、分娩経 ついては心理							
到達目	標	2. 正常 3. 産婦 4. ハイ	1. 正常分娩の臨床経過および産婦に必要な援助が説明できる。 2. 正常な経過をたどる褥婦や新生児について理解し、必要な援助が説明できる。 3. 産婦・褥婦の心理社会的特徴について説明できる。 4. ハイリスク妊産褥婦の病態・検査・診断・治療及び看護について説明できる。 5. 新生児に起こりやすい異常やハイリスク新生児の診断・治療及び看護について説明でき								<i>でき</i>	
授業回	数		授	業内容	ア 及 び 詞	計 画		事前 • 事 (学習課	後学習 !題)	担当者名	治 授業	形態
第1回	1	分娩其	明の看護	1111				ゆいノー 〕 前)	ト(事	賀 数	講	義
第 2~5	口	母乳育	明におけ 5児と看)看護過					1. 第 2 章 1. 第 3 章		知 念 中 井 上		
第 6 [第 7 [. ,		における看護2. 第 3 章 36看護過程知 念1. 第 4 章"								
第8~10	回 (妊娠高	ハイリスク妊産褥婦:常位胎盤早期剥離、前置胎盤、 妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、異常分娩、胎児機能 不全、帝王切開術 2. 第4章 1. 第1-3章4									
第 11	回	ハイリ	「スク妇	近 2. 第 1 章 7, 10, 12, 第 2 章 27-34 第 3 章 37-43 3. P82-177,								
第 12~1	4 回	分娩外	卜傷、但		ベク新生児 : 新 見、先天異常・			258-3 368-3	60, 78	源 源 "		
第 15	口	ハイリ	スク親	「生児の看護	蒦 (周産期関連	車統計を	含む)	1. 第 4 章 2. 第 4 章 3. P392-	章 2	賀数		
テキス	١	2. 佐世 3. 医療	正勝/石情報科	村由利子: 学研究所編	ゼⅡ 医歯薬b ウェルネスが 集:病気がみ 護診断にもと	からみた えるVol	母性看護 .10 産科	k, MEDIC N	MEDIA	医学書院	,	

参考文献	小林康江・中込さと子・荒木奈緒(編集):ナーシンググラフィカ母性看護学②母性看護の 実践、メディカ出版. 荒木奈緒・中込さと子・小林康江(編集): ナーシンググラフィカ母性看護学③母性看護の 実践、メディカ出版. 前原 澄子(編集): 新看護観察のキーポイントシリーズ母性 I 中央法規 前原 澄子(編集): 新看護観察のキーポイントシリーズ母性 II 中央法規
他科目との 関連	周産期保健看護Ⅰ、周産期保健看護実習Ⅰ、疾病論Ⅰ、疾病論Ⅱを踏まえて授業に臨むこと。 周産期保健看護演習及び周産期保健看護実習Ⅱに関連する。 また、本科目は助産師課程、看護師課程の読み重ね科目である。
成績評価 の方法	筆記試験70%、ミニテスト10%、ゆいnote 20%
学習相談 · 助言体制	ゆいノートの課題への助言及び毎回の授業の終了時に理解できなかった事項、疑問に感じ た事項等の質問を受け、次回授業時に説明を補足する。
授業改善の 特記事項	ミニテストを実施し、必要時解説を行う。
備考	次回使用のテキスト箇所および資料内容を読み、ゆいノートを予習する。 周産期保健看護演習とのつながりを意識して講義に臨むこと。 テキストは最新版を使用します。提示の頁は変更の可能性があります。 講義・演習中の写真撮影は禁止する(スマホ等携帯電話、デジカメ)。

科目コード	3.	授業 周産期保健看護演習 担当 教員							ŧ	国平朋子 中上松代 下中壽美 実務総	知念	入美子	
開講年	次	3年次 往	後期	単位数	1単位	科目	専門	関連科目		授業	ملون	বাবা	
選択必	修	必(必 修 時間数 30時間 分類 (助・看) 形態 減 習										
履前提和	科目	生活援助	助・療	養援助技術	万実習 周産其	期保健看	護実習I	周産期份	呆健看	護Ⅱ			
条 件 その	他	なし	l										
授業概	要		司産期保健看護ⅠおよびⅡをふまえ、産婦・褥婦および新生児をケアするために必要な₹ の原則と方法などについて看護実践と関連づけて学習する。										護
到達目	標	立案	. 模擬事例を通して、正常な産婦・褥婦・新生児の経過からウェルネスの視点で看護計画 立案できる。 . 産婦・褥婦・新生児に必要な基本的な母性看護技術を習得する。										が
授業回	数		授	業内容	容及び言	十 画		事前・事後 (学習課)		担当	者名	授美形	
第 1 [進行に合わせた	を産婦の	援助	*テキン を全て記		下	中	演	習
第 2~4	且	産褥期の						でおくこ		井_	上他		
					で復古の観察る			*ゆい/ トの課題	頁を				
		,			3よびディス2	-	ン)	講義開記に提示す					
	_				操・家族計画					, . ,	知念他		
第 5 [E活適応の評価	Щ				知			
第 6 [旦	新生児の			. \H.(- 1 → 1 \)	3.1					質数知念		
					ン測定と計測		- 00				他		
<i>**</i> 7 5					沐浴・臍処置								
第 7 [発表とディス						上		
第 8 [画発表とディ ・評価・報告		V 3 V			知念· -			
第 10 [・評価・報音					下 #			
第11					こティヘルッ 表とディスカ		.,			井			
第 12 [帝王切開			エ こノイ <i>ヘル</i>	ンマヨ、				西知	平		
第 13 [. ,		マッショ マップ	支援					・井上		
MATOL		1~111 127 6	<i>ν</i> . τ •	7年7日、7年7日	, ⊂ 1 7 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	~~\v				西平	・ カ念 中 他		
第 14 [口	技術試験	験 2:	新生児の観	察と沐浴					J)			
第 15 [□	技術試験のふり返り											

テキスト	1.有森 直子 編著:母性看護学Ⅱ周産期各論,医歯薬出版 2.佐世正勝/石村由利子:ウェルネスからみた母性看護+病態関連図,医学書院. 3.医療情報科学研究所編集:病気がみえるVol.10 産科, MEDIC MEDIA. 4.太田操:ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程,医歯薬出版
参考文献	小林康江・中込さと子・荒木奈緒(編集): ナーシンググラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践,メディカ出版. 荒木奈緒・中込さと子・小林康江(編集): ナーシンググラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術,メディカ出版. 前原 澄子(編集): 新看護観察のキーポイントシリーズ 母性 I,中央法規. 前原 澄子(編集): 新看護観察のキーポイントシリーズ 母性 II,中央法規. 有森 直子 編著: 母性看護学 I 概論,医歯薬出版.
他科目との 関連	周産期保健看護IIの講義で得た知識をもとに、看護過程の展開、保健指導、看護技術を習得するための学習を行なう。 本科目は助産師課程、看護師課程の読み重ね科目である。
成績評価の 方法	講義への参加度(発言・提出物・他)10%、保健指導(褥婦10、新生児10)20%、 技術試験(試験1:30、試験2:20)50%、看護計画立案(褥婦10、新生児10)20%
学習相談· 助言体制	毎回の講義終了後に質問を受ける時間を設ける。 講義時間外でも技術練習ができるよう実習室を開放する。指導が必要な場合に教員と連絡 がとれるよう担当教員の指導可能時間と連絡先を提示しておく。
授業改善の 特記事項	ゆいノートを演習で活用し、学生の学習状況を把握する。 少人数制の指導を行なう。 臨床で多く遭遇する場面や事例を選定するなど況設定等を工夫し、演習と実践が結びつく ように促す。 学生の主体的参加を促すためにディスカッションを行いながら演習を進める。
備考	 看護過程(褥婦、新生児)の課題は、発表・ディスカッション終了後の指定された日までに提出する。 保健指導(褥婦、新生児)用のパンフレットは、発表・ディスカッションをふまえてグループメンバーで追加・修正を行った後、実習初日に実習担当教員へ提出する。

科目コード	33	133	授業科目		問産期保健看 al Health Ca			担当教員	团		賀数V 知念夕		
		ı								実務組	経験:あ	り	
開講年			後期	単位数	1単位	科目	* , . , .	関連科目		授業	実	習	
選択必	公修		修	時間数	45時間	分類	(保・	助・看)		形態			
履前提修	科目	,	期保健		- 1.1			10 10 00	. I.I. A.	-le 2 2	→ P1.1.4		
修 条 件	つ他	完了	してい	ない者は、	f性耳下腺炎、 実習を履修す を終了してい	ることに	まできない。	。さらに	11月	以降の			
授業概	既要		社会に支えられながら地域で生活している妊婦の特徴やアセスメント法、なら 援方法について実習を通して学習する。								、ならひ	に支	
到達目	目標	1. 妊婦やその家族の人格を尊重した関わりができる。 2. 妊娠の経過に伴う身体的・心理的・社会的な変化について説明できる。 3. 妊婦の健康診査に必要な基本的看護技術が実践できる。 4. 妊娠期の保健指導について説明できる。 5. 母子保健医療チームにおける外来看護師の役割を説明できる。 6. 実践したことを振り返り、自己の課題を見出すことができる。											
授業回	到数			授	業内容	下 及	び計画	Î			指導	教員	
5 日	間	1. 数 2. 数 実習(1. 数 2. 数 1) 2) 3) 4) 3. 3	実習内容 1. 妊婦の健康診査の実際を学ぶ (血圧・体重測定、腹囲・子宮底測定、腹部触診、胎児心音聴取、 質腫の観察など指導者の指導のもと実施) 2. 妊婦とのコミュニケーション、カルテや親子健康手帳から、妊婦の日常 生活、身体的・心理的・社会的変化を情報収集する 知 念 3. 外来で行われている保健指導の実際を学ぶ									数 平 念 中	
テキス	く ト	実習の	の手引	き2年後期	「周産期保修	建看護実	習 I 」						
参考文	献				用したテキス 集:病気がみ				MEDIA	1			
他科目 関連					義で得た知識 助産師課程、						学習を行る	なう。	
成績評の方		実習の	ミ習の評価は、別途定める実習評価基準に準ずる。										

学習相談• 助言体制	毎回の実習終了後に質問を受ける時間を取る。 実習時間外でも技術練習ができるよう実習室を開放し、指導が必要な場合に教員と連絡 がとれるよう担当教員の指導可能時間と連絡先を提示しておく。
授業改善の 特記事項	ALOHAノートを実習初日で確認し、学生の学習準備状況を把握する。 看護技術は担当教員または臨床指導者とマンツーマンで指導を行なう。
備考	なし

科 目コード	33134	接業 月産期保健看護実習 II 担当 井上松代 下中壽美 実務経							知念如	ハづみ 入美子 り	
開講年	次 3年次	後期	単位数	2単位	科目	専門関	連科目	授業	.	ব্যব্য	
選択必	修必	修	時間数	90時間	分類	(助・	看)	形態	実	習	
履前提利	月 周産期	明保健和	責護演習								
修 条 件	他 完了し	ていない	・者は、実習		ことはて	·きない。さら	うに 11	陰性の者または 月以降の実習 口される。			
授業概算	要が・態度	産婦・褥婦・新生児の臨床経過や心理社会的特徴を理解し、看護に必要な基本的知識・技術・態度を病産院での実習を通して学習する。NICUに入院している乳児の基本的な看護についても学習する。									
到達目	2. 産好 3. 正常 4. 産好 5. 新生 6. 母	産婦・褥婦・新生児とその家族の人格を尊重した関わりができる。 産婦・褥婦・新生児とその家族が親子関係・家族関係を形成するために必要な看護に ついて説明できる。 正常から逸脱した新生児とその家族に必要な看護について説明できる。 産婦・褥婦の身体的・心理的・社会的特徴に基づいた看護計画の立案、実践、評価ができる。 新生児のアセスメントに基づいた看護計画の立案・実践・評価ができる。 母子保健医療チームにおける看護師の役割を説明することができる。 実践したことを振り返り、自己の学習課題を明確にすることができる。									
授業回	数		授	業 内 容	及で	が計画			指導	教員	
10日間	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 8.	実習内容 1. 褥婦および新生児を受け持ち、看護過程を展開する。 2. 正常新生児の観察と計測、清潔の援助(沐浴など)、授乳の実施。 3. 正常新生児の形態学的・生理的特徴と胎外生活適応過程について学ぶ。 4. 褥婦・新生児の1か月健康診査(または母乳外来)を見学し、退院後の生 活、身体的・心理・社会的変化を学ぶ。								念中	
	1. 才母 2. 日 2) 女 3) 形 3. NI 5. 解 6. 石 7.	実習の進め方 1. オリエンテーション 2. 母子1組を受け持ち、ケアを行う。 1) 看護計画を立案し、実践する。必要時追加・修正を行う。 2) 媒体を用いて必要な保健指導を1つ行う。 3) 院内で実施される集団保健指導を見学する。 3. 新生児室(2日間) 4. NICU (1日間) 5. 褥婦・新生児の1か月健診見学(1例)または母乳・育児支援外来を見学する。 6. 毎日のカンファレンスで学生間の知識や学びを共有し理解を深める。 7. 最終日は学内でカンファレンスを行い、学生間及び施設間で実習内容を共有し理解を深める。									

テキスト	3年次実習の手引き 周産期保健看護Ⅰ、周産期保健看護Ⅱ、周産期保健看護演習で使用したテキスト						
参考文献	周産期保健看護Ⅰ、周産期保健看護Ⅱ、周産期保健看護演習で使用した参考文献						
他科目との 関連							
成績評価の 方法	実習の評価は、別途定める実習評価基準に準ずる。						
学習相談 · 助言体制	基本技術について相談を受け、助言する。また、実習前に基本的看護技術 (沐浴など) の練習が実施できるよう実習室の環境整備を行う。						
授業改善の 特記事項	周産期保健看護演習で、集中的に基本的看護技術を確認し修得できるようにする。						
備考	事前学習「ゆいノート」を完成させて実習初日に提出する。 既習の産褥期に必要な基本看護技術(バイタルサイン測定、退行性変化・進行性変化の観察技法等)および新生児の基本看護技術(沐浴・新生児のバイタルサイン測定、計測等) を十分に練習して実習に臨むこと						

科目。	授業		小児保健			担当	O.L.	原和代	永島	島すえみ		
コード	2126 科目	(CI	nild Health	Nursing	I)	教員		実務経	験: ホ	あり		
開講年次	2年次 前期	単位数	1単位	科目	専門	関連科目		授業	講	義		
選択必修	必修	時間数	15時間	分類	(保・	助・看)		形態	ī 円	・ 我		
履前提科目	なし											
条件その他	なし											
授業概要	に 関する方	法、小児期	健康を社会や における疫気 いのヘルスケ	学的動向。	と対策を学							
到達目標	 国内外の 子どもの 子どもの 	1. 小児保健看護において重要な概念と看護師の役割を説明できる。 2. 国内外の小児保健医療の動向、法律、保健医療サービスを説明できる。 3. 子どもの基本的生活習慣の獲得過程について説明できる。 4. 子どもの健康な成長発達を促すために必要な日常生活の援助方法について説明できる。 5. 子どもの健康障害やそのリスクを早期に発見するための評価方法について説明できる。										
授業回数	 授	業内	容及び	計画		事前・事行 (学習課		担当	者名	授業形態		
第1回	小児看護で月			音羔		1. P12-3 車後テ		永	島	講義		
第2回	子どもの 小児看護で見 小児看護と活 子どもと記 世界の子る 母子保健が	小児看護とは、小児看護の歴史と意義 子どもの権利と看護 小児看護で用いられる理論 事後テスト 小児看護と法律・施策 子どもと家族を取り巻く社会環境と諸統計 世界の子どもの健康 母子保健施策、小児に関する法律 小児看護の課題 1. P34-58 事前テスト サアスト 事前テスト サアスト ま後レポート										
第3回			戊長・発達に	影響する	要因	1. P78-7 P162- P120- P140 事前テン	·172 ·125	上	原			
第4回	形態的成長	0 //	長・発達と看 特徴、機能的 特徴		徴	1. P80-9 事前テン	-	1)				
第5・6回	基本的生活習慣の獲得過程と援助 栄養と食習慣、トイレ・トレーニングと排泄習慣 睡眠と活動、生活リズム、清潔と衣生活、 遊びと学習、不慮の事故と安全対策 1. P100-120 P126-130 2. P58-72 P98-104 P124-133 事前テスト											
第7回	学校保健、	特別支援教	子どもの成長 対育、第二次 「登校、いじ	性徴、肥	満と痩せ	1. P131- 事前テン		<i>1)</i>				

第8回	性意識の変化と性の逸脱行動 2. P12-21 子どもの健康問題の早期発見とその対応 子どものヘルスアセスメント P243-250 事前テスト						
テキスト	1. 中野綾美編集. (2017). ナーシンググラフィカ 小児 2. 中野綾美編集. (2017). ナーシンググラフィカ 小児						
参考文献	上田礼子. (2012). 生涯人間発達学 改訂第 2 版増補版、三輪書店 ユニセフ. (最新刊). 世界子供白書 厚生統計協会. (最新刊). 厚生の指標、増刊、国民衛生の動向、 日本小児保健協会. (2009). DENVER II デンバー発達判定法、日本小児医事出版社 母子衛生研究会. (2008). 授乳・離乳の支援ガイド実践の手引き 小野田千枝子監修. (2001). こどものフィジカルアセスメント、金原出版 奈良間美保他編. (最新刊). 系統看護学講座 小児看護学①、医学書院						
他科目との 関連	1年次後期開講の生涯人間発達論、生活援助・療養援助技術 I (子どもの日常生活に関する援助技術)の復習をしておくと本科目が効果的に学習できる。小児看護の重要な概念、理論、法律・施策、および子どもの成長・発達と健康な生活への支援に活用できる知識を得、小児保健看護実習 I の準備とする。また、本科目は保健師課程、助産師課程、看護師課程の読み重ね科目である。						
成績評価 の方法	事前テスト20%、レポート10%、期末試験70%とする) o					
学習相談 · 助言体制	授業翌日の16:00~17:00をオフィスアワーとし、各回の担当教員が対応する。						
授業改善の 特記事項	テキスト内容の補足資料を配付します。毎回の事前・事後テストにおいても不正行為があた場合は履修規定第10条に準じて対処します。						
備考	・本科目は原則として1コマあたり最低90分ずつの予 ・毎回事前テスト、または事後レポートがある。学習 ・本科目は原則として成績不良者への学期末試験の再						

科コ	日	32	授業 小児保健看護Ⅱ 担当 Nursing Ⅱ) 教員			上原和代 山本真充 非常勤 実務経験:あり							
厚		次	3年次	前期	単位数	2単位	科目				授業		· · ·
追	選択必	修	必	修	時間数	30時間	分類	専門	関連科目		形態	諱	義
履修.	前提和	斗目	なし							•	·		
条 件	その	他	なし										
挖	受業概	要	庭、学	之校、地	域において	手を中心に、 種々の健康 こついて学習	レベルに						
	到達目	標	2. 子 3. 健 4. 健	どもの 康障害 置別、〕 康障害	権利を擁護 のある子ど 及びさまざ	と家族に与え し発達を支援 もと家族に対 まな状況によ もと家族に対	受する看記 対し、病 3ける看記	獲について 態生理を 養の方法に	て説明でる 踏まえ疾 こついて記	きる。 病の経 説明でき	過別、症		
1	授業回	数		:	授業内	容及び	計画			事後学習 引課題)	担当者	名	授業形態
	第1回		健康障	言字や入	、院が子ども	っと家族に及	ぼす影響	と看護	事前テ 1. P. 17 1. P. 70	73-188	上	原	講義
	第2回	Ī	環境を	お調整す	る技術	家族への看護 家族への看護			2. P. 28	66-273	11		
第	₹3 ~ 7	□	,	• • • • •		₹族への看護 ざもと家族へ			事前ラ 1. P. 18 1. P. 24	39-215	Щ	本	
第	§8∼9	□	成人		う期にある	を族への看護 健康障害を持	うつ子どう	5 Ł	事前ラ 1. P. 21 1. P. 37	6-226	非常	勤	
j	第 10 🛭	킈			子どもと家 どもと家族	だ族への看護 にへの看護			事前ラ 1. P. 22 1. P. 35	27-241	Щ	本	
j	第 11 🛭	킈	心身障害のある子どもと家族への看護 先天的な健康問題のある子どもと家族への看護 ゲストスピーカー事前テスト 1. P. 326-338 1. P. 339-353										
第	12~1	3 回	手術を	ご受ける	子どもと家	で族への看護			事前ラ 1. P. 25		非常	勤	

第 14 回	子どもと援助関係を形成する技術 ゲストスピーカー	事後レポート 2. P12-33	上原			
第 15 回	被虐待児と家族への看護 災害を受けた子どもと家族への看護	事前テスト 1. P295-299 1. P285-294	11			
テキスト	1. ナーシング・グラフィカ小児看護学① 小児の発達と 2. ナーシング・グラフィカ小児看護学② 小児看護技術 3. ナースの小児科学改定第6版: 佐地勉 他、中外医学 核最新刊毎回、該当テキストを講義に持参すること。	:中野綾美 他、				
参考文献	系統看護学講座 小児看護学1:奈良間美保 他、医学書院 小児看護技術:今野美紀・二宮啓子編、南江堂 生涯人間発達学 改訂第2版増補版:上田礼子、三輪書店、2012 その他、随時提示する。					
他科目との 関連	生活援助・療養援助技術 I・II・III、生涯人間発達論、へ I、 小児保健看護実習 I、疾病論 II など、既習科目を 家族への看護を学習し、3年次後期に開講される小児保	統合し、健康障	重害のある子	こどもと		
成績評価 の方法	事前テスト10%、レポート10%、学期末試験80%					
学習相談 · 助言体制	講義週の金曜日13時~14時をオフィスアワーとし、科目対応する。	責任者および行	各回の担当	教員が		
授業改善の 特記事項	期末試験の出題範囲を初回授業にて提示する。授業で 験に出題されるので、自己学習をおすすめします。な 不正行為があった場合は履修規定第10条に準じて対処し	お、毎回の事前				
備考	・本科目は原則として1コマあたり最低90分ずつの予習 ・毎回、事前テストまたは事後レポートがある。学習 ・本科目は原則として成績不良者への学期末試験の再記	色囲を確認して	授業に臨む	こと。		

科 目 コード	3	2128	授業科目	(Chile	小児保健看 d Health Nur		eminar)	担当教員	〇山 他	本真充	上原	和代
								1000	実	務経駒	(: あり)
開講年		3年次		単位数	1単位	科目	, , , ,	関連科目		授業	演	習
選択必	修	必		時間数	30時間	分類]・看)		形態		
履 前提和	科目	生活援	態助・療	養援助技術	所実習 小児(保健看護	実習 I /	N児保健:	看護Ⅱ	[
条 件 その	他	なし										
授業概	要				Ⅰを踏まえ、 伝、育児支援							
到達目	標	係 れ7	毒築、こ た子ど	プレパレー もへの遊び	小児看護の知 ション、養育 支援等)につ 、安全・安楽	的ケア、 いて模技	育児支援。 疑事例を通	、療養生 して習得	活指 持する。	草、活 <u>草</u>	動を制	,
授業回	数	授業内容及び計画 事前・事後学習 (学習課題)							習担	!当者名	授業	形態
第 2 ~ 5								につる範囲である。では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ		上 原	演	習
第 6~9	田	・子と ・子と ・子と	 の多い疾病の病態生理と主な検査、 ・子どもと家族とのコミュニケーション・子どもの状態に合わせた情報収集・子どもの状態に合わせた観察・子どもの状態に合わせた対応 ・子どもの状態に合わせた対応 									
第 10~1	5 回	小児看護技術演習・小児看護技術試験 ・バイタルサイン測定 ・吸入 ・口鼻腔吸引 ・点滴静脈内注射中の管理 ・小児の一次救命処置 よび診療に 伴う援助技 術 ・プレパレー ション その他、詳細 は事前に提示 する。										
テキス	 		り・療・配布す		f、小児保健 君	≨護Ⅰ、⁄	小児保健看	護Ⅱで例	<u>.</u> 吏用し	たテキ	ストの)他、
参考文	献	小児小児	活看護学講座 小児看護学①②:奈良間美保他、医学書院 記看護技術:今野美紀、二宮啓子、南江堂 記看護実習ガイド:筒井真優美他、照林社 設践階からみた小児看護過程:石黒彩子他、医学書院									

他科目との	小児保健看護実習Ⅱで必要となる基本的な看護技術および看護過程の展開方法について学習する。
関連	また、本科目は助産師課程、看護師課程の読み重ね科目である。
成績評価	演習への参加状況40%、事前学習状況10%、グループワーク10%、筆記試験10%、看護技術試験20%、学生間のピア評価10%とし総合的に評価する。
の方法	ただし筆記試験および看護技術試験の成績は6割以上を合格とし、不合格者は小児保健看護実習Ⅱに向けて個別指導を受ける。
学習相談· 助言体制	演習期間中は、学生の相談に教員が対応できるよう体制を整える。教員は状況に応じロールモデル、ファシリテーターであるため積極的に活用すること。
授業改善の	・小児看護技術の自己学習教材としてオリジナルの動画を準備している。Web上、DVDで閲覧できるので積極的な活用を期待する。
特記事項	・看護過程演習とシミュレーション学習のつながりをもたせた演習内容とした。
備考	本科目は小児保健看護実習Ⅱの前提科目である。 事前に提示する自己学習を含め主体的に演習に臨むことが必要である。

科目	授業		小児保健看護	養実習 I		担当)上原和代	· 他
コード 3	2133 科目	(Child H	ealth Nursin		ticum I)	₩ □	 系務経験:	あり
開講年次	2年次 後期	単位数	1単位	科目	専門	関連科目	授業	⇔ 5151
選択必修	必修	時間数	45時間	分類	(保・	・助・看)	形態	実 習
履前提科目	小児保健看護	ŧΙ						
修 条 そ の他	が完了してい	ない者は、	実習を履修っ	すること	はできない	×検査で陰性の ハ。さらに 11 として追加され	月以降の	
授業概要						生や支援方法、 二保育所での実		
到達目標	 子どもの。 乳幼児と和り、 乳幼児の所 乳幼児へのののでは、 乳幼児へのののでは、 乳幼児へのののでは、 	人権を理解 積極的・発をで が支援を で を を を を を を を を を を を を で の と で の り の り の り の り の り の り の り の り り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の り の	して成長・発 、安全教育に 保育・教育に	動ができるのと生産のいてに	きる。 支援ができ セスメし、考 说明できる	できる。 察できる。		
授業回数		授	業 内 容	及 で	び計画	Ī		指導教員
5 日間	1. 実習内容							上原
	その成長・発	達の状況を		りな指標	や理論なる	生活の支援を対 ど、根拠に基づ ても学ぶ。		他
	2. 実習方法		.					
			(月曜日~金曜	翟日)、初	記日除く			
	2) 実習時間	•			≕			
	3) 美智施設 4) 実習の進		内の保育所・係	来育園·	認定こと	も園		
	,		は事前に提え	らされた	課題(備考	参照) にとり <	(tso	
	• 実習初日	、学生は施	記の指導者が	いら施設	オリエンラ	テーションを受	受ける。	
		置されたク う、実習に		こ沿って	活動するロ	中で、実習目標	票が達成	
			'ァレンス、旅 ことで理解を			告会を運営し、	互いの	
	・学生は実	践の振り返	返りを通して自	目己の学	習課題を明	月確にする。		
	・学生は所	定の実習記	記録を完成させ	せ、期日	までに提出	出する。		
テキスト	実習の手引き	<u> </u>						
参考文献	生涯人間発達 料、その他図		爰助·療養援助	 j技術 I、	小児保健	볼看護 Ⅰ のテキ	<u>ーーー</u> -ストおよ	び講義資
他科目との 関連	実践の場で沿	5用する。				≇看護 I にて既 重ね科目であ∙		

成績評価 の方法	実習の評価は、別途定める実習評価基準に基づく評価(90%)、担当教員および科目責任者による実習への取り組みの評価(10%)の合計とする。実習の評価には全体オリエンテーションの参加状況も含まれる。連絡のない遅刻、欠席、早退、実習記録の未提出、その他、倫理的に問題があると思われる状況については大幅な減点となる場合がある。
学習相談· 助言体制	教員は日々のカンファレンスに参加し、学生の学びや理解が深まるよう相談・助言を 行う。実際の子どもの世話やコミュニケーションスキルについては実習指導者から直 接学ぶ。
授業改善の 特記事項	同時期に4~5施設に分かれて実習する。施設毎に特色ある保育・教育活動が展開されており、地域で果たす機能が異なる施設もあるため、最終日に学生間の学びを共有できるよう学内報告会を行う。
備考	・実習に臨むにあたり、既習の子どもの発達段階の特徴について復習しておくこと。 ・実習グループごとに既習の小児看護技術(抱っこ、更衣、オムツ交換、授乳、身体 計測)について指定の期間に練習すること。 ・子どもにわかりやすい布製の名札を作成し、上着またはエプロンに付け外しできる ようにしておくこと(安全ピンは使用不可)。 ・実習 1 か月以内のぎょう虫検査結果の提出が必要な施設もあるため、該当する学生 は教員の指定する期日までに検査結果を大学の健康管理担当者(保健室)へ提出する こと(自費)。

科 目 コード 32	授業 134 科目	(Child He	小児保健看 ealth Nursin			担当教員	○上原和代 他 実務終	た 山本					
開講年次	3年次 後期	単位数	2単位	科目		1	授業						
選択必修	必修	時間数	90時間	分類	専門	関連科目	形態	実	習				
履 前提科目	小児保健看	護演習					<u>'</u>						
修 条 そ 个	が完了して	こいない者は	活行性耳下腺炎 、実習を履修)予防接種を受	ぎするこ	とはできな	い。さら	5に11月以降						
授業概要	的•精神的		らとその家族 ドルや、QO										
到達目標	2. 臨より 2. に と は 2. に ま な は 2. に ま な は 2. に ま な に ま な に ま な に ま な ま な ま ま な ま ま ま ま	健康障害のある子どもとその家族の権利を尊重した関わりができる。 臨床現場で起こる出来事や自己の実践を振り返ることで倫理的感受性を高め、子どもと家族の権利の擁護者として必要な行動を説明できる。 健康障害のある子どもの症状と発達に応じたコミュニケーション技術を用い、子どもとその家族に対し、援助的関係を築くことができる。 健康障害のある子どもの身体的、心理的、社会的、成長・発達の各側面について情報収集できる。 収集した情報を整理し、分析・解釈・統合し、注目点を抽出して看護目標を設定することができる。 成長・発達と健康障害の程度を考慮し、安全・安楽と自立に留意した看護を計画・実施・評価できる。 子どもと家族に関係する保健・医療・福祉・教育等の専門職者との連携を説明できる。 実践したことを振り返り、自己の課題を見出し説明できる。											
授業回数			授業内	容及	び計	画		Ī	指導教員				
10 日間	2. 1) 2) 3) 4)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	し法間間設善進は寺な時のスス設しす期にとをて、111日記一進実ち情ち各メメ定たる間記を通学・28沖那方開子を子面トト、護・子的に生・週の縄覇・婦ど問ジにすを看計・どるに子・111日の県市・始ど問ジにすを看計・どるに子・111日の県市・始ど問ジにすを看計・どるに子・111日の県市・始ば問ジにすを看計・どるに子・111日の県市・労働のスス設します。	名 (月1:00 まな) あいる (16:10 まな) まなりのの では、 (16:10 まな) でで、 (16:10 まな) でで、 (16:10 まな) でで、 (16:10 また) できる。 (16:10 また) できる	曜棟ン南 提わルなっ の、々 軽ルレ関日 動夕部 示せアど健 目践価 に倫スる) の 海東 点で 関理を見	時でである。 時でである。 にももとは、 にももとは、 にももとは、 にももとは、 にももとは、 にももとは、 にももとは、 にももとは、 にももとは、 にもる。は、 でなう。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	じ療々 取一技加子 る。に、つ気でででで、 組ョを、ど、注、じ、たづ、携整型・ もン用心も、目、て、場きを	E) ター P。 P。 P。 P。 P。 P。 P。 P。 P。 P。	とは、 と と と と と と と と と と と と と と と と と と	上山他原本				

	・学生は所定の実習記録を完成させ、期日までに提出する。 ・その他、カンファレンス、報告会等を適時に開催する。
テキスト	実習の手引き
参考文献	小児保健看護 I 、II で使用したテキスト、講義資料、その他随時紹介。
他科目との 関連	生涯人間発達論、生活援助・療養生活援助技術 I、ヘルスアセスメント、疾病論 II、小児保健看護 I、小児保健看護 II、小児保健看護実習 I、小児保健看護演習など既習の知識および技術を活用する。
成績評価 の方法	実習の評価は、別途定める実習評価基準に基づく評価(90%)、担当教員および科目責任者による実習への取り組みの評価(10%)の合計とする。全体オリエンテーションの参加状況も含まれる。連絡のない遅刻、欠席、早退、実習記録の未提出、その他、倫理的に問題があると思われる状況については大幅な減点となる場合がある。小児保健看護演習(前提科目)の単位が認められない場合、本実習は履修しなかったものとする。
学習相談· 助言体制	原則として実習グループ毎に実習指導教員を配置し指導する。実習上の疑問点や困ったことについては施設の実習指導者、教員へ積極的に相談し疑問を解決すること。
授業改善の 特記事項	実習中に実施が予想される子どもへの看護技術については小児保健看護演習で技術指導を行う。また、インシデント防止策として実習の手引きを用い、実習期間中に学生の 実施が許可される技術項目とその範囲について実習グループ毎に確認する。
備考	実習に臨むにあたり、子どもの発達段階の特徴、実習で出会うことの多い疾患の病態・ 治療、看護について実習の手引きに示した事前学習範囲に沿って学習すること。また、 既習の子どものヘルスアセスメントの技術および基礎看護技術を十分復習しておくこ と。

科目		授業 成人保健看護 I						○山本敬子、神里みどり					
コード	34124 科目		(Adult Healt	h Nursi	ng I)	教員	美	ミ務経験:	あり				
開講年次	2年次 前期	単位数	1単位	科目	声 明	関連科目	授	業	講義				
選択必修	必修	時間数	15時間	分類	11 11	医连行 [1]	形	態	中 我				
修前提科	なし												
条件その他	なし												
授業概要	および保健	活動における	と生活環境を る看護の役割 健康レベル(と機能、	および成力	期におけ	る健康状	態の疫学	的動向と				
到達目標	 成人期に 成人期に なことがで 成人期に 	こある対象の こある対象の きる。 こある対象を	特徴について 生活と生活習 疫学的動向を 対象とした看 健康レベルに	慣に関う 踏まえ、 護に必	連する健康 、ヘルスプ 要な中範囲ヨ	問題につい コモーショ 理論につい ついて述べ	ンと健康 いて述べる ことか	乗教育につ うことがで いできる。	ごきる。				
授業回数		授 業 内	容及び	計 画	Ī	事前· (学習	事後学習 3課題)	担当者名	授業形態				
第1回	成人看護学は	こおける対象	の理解					山本	講義				
第2回	健康レベル。	と看護の特徴						"					
第3回	成人期にあ	る人,家族〜	への看護援助に	こ必要な	中範囲理論	1		"					
第4回	成人期にあ	る人,家族〜	の看護援助に	こ必要な	中範囲理論	2		"					
第5回	ヘルスプロ	モーションと	健康教育 1					神里					
第6回	ヘルスプロ	モーションと	健康教育 2					"					
第7回	成人期にあ	る人,家族〜	の看護援助に	こ必要な	中範囲理論	3		山本					
第8回	成人期の特征	数を捉えた看	護過程					,,,					
71	総括												
テキスト	看護診断ハ	ンドブック(生,林直子他, 原著 14 版), 果測定のため										
参考文献	国民衛生の), GloriaM. 2 No.9 2018 ‡真優美				充計協会						
他科目との 関連	生涯人间免:	達論 ※本科	計目は保健師説	果程、看	護師課程の	読み重ね種	斗目であ,	る。					
成績評価 の方法	最終筆記試	験:80%、詞	果題レポート	: 20%									
学習相談 助言体制	の提出をも	とめ、次回控	理解できな7 受業時に説明?										
授業改善 特記事項			説明する資料を 、ト箇所およて		-	準備して担	受業に臨る	ts.					
備考													

科 目 コード	3	4125	授業科目	(成人保健和 (Adult Healt)		ng II)	担当教員		山本 宮城		赤嶺(伊都子
		T								実務	経験	: あり	
開講年	次	3年次	前期	単位数	2単位	科目	直門	関連科目		授業		講	義
選択必	修	必	修	時間数	30時間	分類	21 11	为 <i>是</i> 们口		形態	ŧ	D++	1 X
履 前提和	4目	なし											
条 件 その	他	なし											
授業概	要	性期、	終末期	に応じたれ	章害を機能障害 音護をリハビ! 向けた支援と	リテーシ	ョン、在宅	三ケアを含					
到達目	標	2. 各 3. 各 4. 成	機能障 機能障 人期に	害、健康レ 害、健康レ ある対象の	各機能障害の ベルに応じた ベルに応じた 看護に活用で のセルフケア	対象の特 対象の利 きる看記	特徴につい 看護過程に 養理論を説	て述べる ついて述 明できる	こと	ができ	きる。		
授業回	数		授	業内	容及び i	計画	事	新・事後 (学習課		担当	者名	授業	美形態
第1回	1	成人其	別にある	対象の理解	解と看護過程					Щ	本	講	義
第 2 回	1	成人其	別にある	対象の理解	解と看護過程					IJ			
第 3 回	1	呼吸機	幾能障害	手をもつ対象	象の理解と看記	護		、下、テキン 堂 第V		宮	城		
第 4 回	1	呼吸機	幾能障害	手をもつ対象	象の理解と看記	護		.星 弗 V -1	早	IJ			
第 5 回	1	循環機	幾能障害	手をもつ対象	象の理解と看記	護	V	-1		赤	嶺		
第6回	1	循環機	後能障 害	手をもつ対象	象の理解と看記	護	V	-2]]			
第7回	1	循環機	後能障 害	手をもつ対象	象の理解と看記	護	V	-2]]			
第8回	1	代謝榜	幾能障害	手をもつ対 針	象の理解と看記	護				宮	城		
第9回		代謝榜	後能障 害	手をもつ対象	象の理解と看記	護	17	4		,,,			
第 10	口	栄養摂	長取・消	肖化機能障害	害をもつ対象 (の理解と	1.5	-4		赤	嶺		
第 11	口	栄養摂	摂取・消	肖化機能障害	害をもつ対象(の理解と	看護 、	0		IJ			
第 12 [脳・神	申経機能	≦障害をも~	つ対象の理解	と看護	V-	-3		宮	城		
第 13					つ対象の理解		7.7	7		 			
第 14					の理解と看護		V-	-7		宮	城		
第 15					つ対象の理解	と看護		_			嶺		
		総括	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					-5 .c			本		
テキス	۴	成人看 看護認	参断 ハン	/ドブック(,南江堂,鉾 原著 14 版), 果測定のため	リンダ	也 J. カルペニ					院	
参考文	 献	メディ	イツクフ	マディア, カ), GloriaM. 疾病と治療 I・ 態診断とケアス	-Ⅲ,南	工堂 エヒ	デンスし	こ基づ	く看	護過	程実践	Q&

他科目との 関連	成人保健看護 I 、栄養と代謝、臨床薬理、病態生理、リハビリテーション論、疾病論 I 、 臨床心理、ヘルスアセスメント、ストレスマネジメントと健康教育
成績評価 の方法	筆記試験80%、課題レポート20%
学習相談 · 助言体制	終了時に理解できなかった事項、疑問に感じた事項等を記載した出席カードの提出をもと める。次回授業時に説明補充、意見交換等で理解を図る。
授業改善の 特記事項	学生は既習授業 (人体の構造と機能、臨床薬理、病態生理、疾病論 I・II)の復習及び次回使用のテキスト箇所を読み、準備して授業に臨む。テキスト内容を補充・説明する資料を配布する。
備考	学生は学習時間を確保できるように、アルバイトやサークル等の活動時間を調整する。

科 目コード	3,	4126	授業科目	(Adult	成人保健看 Health Nurs		ninar)	担当教員		伊都 裕子 寒務経	山本		百合他
開講年	次	3年次	後期	単位数	1単位	科目				授業		\	
選択必	修	必	修	時間数	30時間	分類	専門	関連科目		形態		演習	
履前提和	4目	成人们	呆健看記	雙実習 I	生活援助・療	養援助技	支術実習	成人保傾	建看護 I	I			
条 件 その	他	なし											
授業概	要	アセス 人期に ション	健康障害を持つ成人期にある人の病態生理・治療を理解し、身体的、心理・社会的情アセスメントし、看護実践に必要な問題解決の基礎的能力を習得する。健康障害を持人期にある人の身体的、心理社会的特徴を理解し、セルフケア支援に必要なコミュニション技術、指導技術を学習する。また、実習の対象の権利を守るために、最低限必知識、技術および態度を養う。										つ成 ケー
到達目	標	実践 2. 社会	に必要 復帰・	な問題解決 在宅ケア・	速康障害を持つの基礎的能力 での基礎的能力 セルフケアラ で、最低限力	J (看護 支援に必	過程の展開 要な臨床打	を習行をでをががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががが<td>导でき 尊技術</td><td>る。 を習得</td><td>身でき</td><td>·</td><td>香護</td>	导でき 尊技術	る。 を習得	身でき	·	香護
授業回	数		授	業内	容及び	計画		事前・事 (学習記		担当	者名	授業	形態
第1回~		1) (建康障		看護過程演習 人期にある人			・看護過 課題 ・グルー 人課題レ ト	プ・個	謝 宮	嶺花城本	演	習
第9回~		1) F	呼吸ケ		術 、酸素療法 要な指導技術	演習		・技術演 課題 ・演習ノ ・配布資	- ト	謝宮	花城		
		1) (1) (1) (2)	ケース パンフ セルフ	スタディ レット作成	食事療法、運動		服薬指導)	·配布資達		宮赤	城嶺		
第14・1	5回	4. 実持	支評価	• 個別指導						赤謝宮	嶺 花 城		
テキス	<u>-</u>				第 11 版 医: 、(配布資料)								
参考文	献	看護成 看護介	果分類		果測定のため 詩第6版)Glc					, ELS	EVIER	}	
他科目と 関連				疾病論Ⅰ、 は看護Ⅰ・Ⅰ	臨床心理、^ I	ルスアー	セスメント	、生活援	受助・療	養援」	助技術	뜃Ι・	Ⅱ・
成績評 の方法		技術割 5%	2価30%	。、レポート	-65%(技術演	習25%、	看護過程	演習40%)、態	度(演	習へ(の参加	度)

学習相談 · 助言体制	毎回の授業の終了時に、理解できなかった事項、疑問に感じた事等を意見交換等で理解を図る。
授業改善の 特記事項	演習ノート、演習内容を補充・説明する資料を配布する。 学生は次回使用の演習ノート、資料内容を読み、準備して授業に臨むこと。
備考	事前課題(看護過程、技術演習)を指定された日時までに提出すること。 演習後のレポートおよびグループ・個人課題は指定された日時までに提出すること。 自己学習を含め主体的に演習に望むことが必要である。

科 目コード	34135	接業 成人保健看護実習 I 担当 宮城裕子 山本敬子 科目 (Adult Health Nursing Practicum I) 教員 実務経験:あ											
BB =## /	yl. oFyl	- /// Hr	277 11.287	. 114 64.	<u> </u>					経験:7	あり		
開講年 選択必		く 後期 修	単位数 時間数	1単位 45時間	科目 分類		関連科目 !・看)		授業形態	実	習		
24.4F 1		 、保健看i	.,	40 t/1 [H]									
修条件その	各抗 他 が完	体検査 了してV	(麻疹、風疹 いない者は、	を、水痘、流行 実習を履修 予防接種を受	すること	はできない	い。さら	に 11	月以降				
授業概				環境と社会的 受療行動、セ]発	
到達目	2. 3. 4. 4. 5. 6. 7. 8.	成成成た成た保保は人人人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人のといるといる。	こここ あるるる 対対対動対動の 等なるる を を 接機 に に に に に に に に に に に に に	り身体的、心 り生活と生活の り生活と生活の を りを りを りを りを りを りを りを りを りを りを りを りで りを りで いた いた いた いた のと のと のと のと のと のと のと のと のと のと のと のと のと	習慣モルモ説い連ばにシケシで説・でいまる。	連する健康 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	康問題に 最問題の 事務で まで まで まで まで まで まで まで で い で い で い い い い	ついて)要因 期 期 期 説 明 説 明 説 明 の ま の ま の に 明 の に 明 の に 明 の に る に に に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に	て説明で こついて 乱・治療 きる。 乱・治療	説明で、重症	化予	防の	
授業回	数		- -	授 業 内	容及	び計	画				指導	教員	
1日目4日目	実習1. 21)施	の進め オリエン 設別・	方: /テーション グループ別	または総合9 / オリエンテー 実習担当看護	ション	を大学内で	実習指導				赤謝宮山	嶺花城本	
5日目	2) 3	2. 総合保健機関または病院外来における実習(4 日間) 1) 総合保健機関の場合 (1) 一人の利用者の健康診断等に同伴する。 (2) 利用者とのコミュニケーションや利用者の反応、表情、言動の観察を行い、健康上のニーズをアセスメントする。 (3) 健康の保持増進・疾病予防のための健康教育および支援活動の実際について学習する。 2) 病院外来の場合 (1) 成人期にある患者を1例受け持ち、受付から終了まで患者に同伴し、対象とのコミュニケーションや反応、表情、言動の観察を行い、対象との関わりや診療場面の見学を通して健康上の問題やニーズをアセスメントする。また、保健行動、セルフケア、受療行動などについて学び、患者に必要な看護援助を学ぶ。 (2) 禁煙外来や生活習慣病外来など、健康教育および支援活動が行われている場の見学を通して必要な看護援助について学ぶ。 (3) 利用者に対する医師、看護者、その他の病院職員のサービス・支援について学ぶ。 3. 実習報告会(最終日は大学内で、実習で学習したことについて報告会を行い、										他	
	J 3. ∌	:白知古		は人子内で、 り成果を共有		一白しだこ	ر در کالا	・く牧行	ロエを1	1 4 ,			
テキス	्रि क्षेत्रच	カエコュ		· 対 成人保修		ਸ ਸ ਵ							

参考文献	成人看護学概論 南江堂、ヘルスアセスメント 南江堂
他科目との 関連	生涯人間発達論、ヘルスアセスメント、成人保健看護 I 、病態生理、身体活動論本科目は保健師課程、看護師課程の読み重ね科目である。
成績評価 の方法	実習の評価は、別途定める実習評価基準に準ずる。
学習相談 · 助言体制	毎日の実習カンファレンスを充実し、実習で学習した内容を深める。記録、レポート等の記録物について指導、助言をする。学生の実習に関する相談に対応する。
授業改善の 特記事項	実習内容を補充・説明する資料を配布する。
備考	実習オリエンテーションで配布する資料や実習の手引きを読んで実習に参加する。

科コ	· 目	34	4136	授業科目		成人保健看護 ealth Nursin		cicum II)	担当教員			山2	花小百合 本敬子 他 あり
	開講年	次	3年次	後期	単位数	2単位	科目		1		授業	-	
ì	************************************	修	必	修	時間数	90時間	分類	専門	関連科目		形態	2	実 習
	前提和	4目	成人位	保健看	護演習								
履修条件	その	他	完了し	ていた	い者は、乳	、水痘、流行 ミ習を履修する 方接種を受ける	ることは	できない。	さらに	11月	以降の領		
扌	受業概	要	健康障害をもち医療機関で入院加療の必要な成人の身体的・心理社会的側面を理解し、社会復帰または在宅ケアを視野に、対象者との相互作用を通して健康回復およびセルフケアへの看護が実践できる基礎的知識、技術および倫理的態度を学習する。										
A	削達目	標	 成人期にある対象の発達段階の特徴を踏まえて、健康障害が対象に及ぼす影響について、身体的、心理的・社会的・霊的側面から情報収集できる。 対象との相互作用を通して、専門的援助関係を築くことができる。 対象の健康障害の病態生理および対象に行われている治療について説明できる。 対象の発達段階の特徴を踏まえて、健康障害が対象に及ぼす影響について、身体的、心理的・社会的・霊的側面からアセスメントできる。 対象の健康問題・課題を明らかにし、必要な看護援助を計画できる。 計画した看護援助を、対象の状況に合わせて実施し、評価できる。 在宅療養・社会復帰を視野に必要な看護援助を行うことができる。 対象の療養生活を支援するために保健医療福祉チームにおける看護の役割と機能について説明できる。 対象者を取り巻く環境調整の必要性と、他職種との連携について説明できる。 学生として倫理的態度および責任ある行動がとれる。 										。 いて、身)役割と
扌	受業回	数			授	受業内	容 及	び計に	画				指導教員
	1週目		1. 成	人期の位	建康障害を	もつ患者を受	 け持ち、	看護過程	を展開っ	上る。			赤嶺
	~ 2週目		1)健康 2)対象 3)治療から計画	成人期の健康障害をもつ患者を受け持ち、看護過程を展開する。 健康障害の病態像と対象の日常生活に及ぼす影響、変化をアセスメントする。 対象が健康障害をどのように捉えているのかをアセスメントする。 治療法に伴う生体反応を観察・測定し、対象の身体・心理・社会・霊的側面 いらアセスメントし、看護上の問題を明らかにして、必要な看護援助について 十画できる。							謝 花 宮 城 山 本 他		
				計画に基づいて、患者の安全、安楽に配慮して実施し、評価できる。 対象者と目標を共有して、健康回復およびセルフケアに必要な支援を行うこ									
				そ者と目 できる。		/ (、) 健康凹陷	复および	マルフケ	7 に必要	な文芸	を 行り	<u></u>	
					P職場環境、 うことがで	経済的問題は	こついて	傾聴し、	対象が意	思決定	定するた	め	
						、金曜日に病材 セスメント、				ファし	ノンスで	事	
			3. 実	習最終	日は各病棟	で実習指導者	を交え	て最終カン	/ファレ	ンスを	行う。		
2	テキス	<u>-</u>	実習の	のてび				-					

参考文献	成人看護学 慢性期看護 南江堂、 看護診断ハンドブック、リンダ J.カルペニート=モイエ、医学書院 看護成果分類(NOC) 成果測定のための指標・測定尺度(原著第 5 版), ELSEVIER 看護介入分類(NIC)(原書第 6 版) GloriaM. Bulechek 他, 南江堂、 ヘルスアセスメント 南江堂 成人看護実習ガイド II、照林社、
他科目との 関連	看護活動を実施できる基礎的知識、技術および倫理的態度を学習するために、疾病論 I・ヘルスアセスメント・生活援助技術 I・Ⅲ・Ⅲ、生活援助・療養援助技術実習・成人保健看護 I・成人保健看護 I・成人保健看護 I・成人保健看護演習・成人保健看護実習 I 等の既習科目や実習の内容を統合している。
成績評価 の方法	実習の評価は、別途定める実習評価基準に準ずる。
学習相談 · 助言体制	実習では毎日のカンファレンスでグループごとに振り返りを行い、各自の学んだことについてグループ内で共有し、理解できなかった事項、疑問に感じた事項等をグループ全員で考え、翌日の実習展開をスムーズに行うように指導助言していく。
授業改善の 特記事項	実習指導上の問題は、早期に現場の師長や指導者と話し合い、双方が協力体制を構築し取り組む。
備考	実習に望むにあたり、成人期の発達段階の特徴、実習病棟に多い疾患の病態・治療について自己学習し、また、基礎看護技術を十分練習しておくこと。

科目		松紫		学 年程 (4)	手雑 T		担当	〇大流	弯明美	田均	 昜由紀			
コード	35125	5125授業 科目老年保健看護 I (Geriatric Nursing I)					教員		実務経	駘 .	あり			
開講年》	欠 2年次	 、前期	単位数	1単位	科目]関連科目		授業		<i>u, ,</i>			
選択必修			時間数	15時間	分類		保・看)		形態	Î	冓 義	į		
			411.4234											
履前提科修条その低	h なし	/												
授業概要	高齢 ま よび	老年期に	こおける疫気	精神的・社会 学的動向と対 と割を学習す	策を学習					•				
到達目標	2. 高 説明 3. 高 4. QO	高齢者の健康と地域文化を含めた生活について、身体的、心理的、社会的特徴を述べることができる 高齢者を個別的に捉える視点として、ストレングス、生活ニーズ、および ICF モデルの 説明ができる 高齢者の生活を取り巻く社会システムや環境が、高齢者の生活や健康に与える影響を述 べることができる QOL の概念について説明することができる サクセスフルエイジングを支援するための看護の役割について述べることができる												
授業回数	数	授	業内容	ア 及 び	計画	- -	事前•事後 (学習課)	学習 題)	担当者	名	授業	形態		
第1回	1) 老	生保健		「るための基盤な概念、理論、)	*毎回事前 レポート す P103-138	を出	大 潪	た	講	義		
第2回	1) 高 2) 紛	石齢者の で一体と	上方と捉えた 個別性と多っ しての捉え は康と生活	様性			P139-146 P147-159		田場	型 ガ	,,,			
第3回	1) 高	5齢者疑	以体験				P66-71		"		演	習		
第4回	2) 高	所齢者の	健康と生活	の捉え方			P84-101		IJ		講	義		
第5回	4. 高 1) <u>老</u>	齢者の優 き年期に	津康と生活に おける疫学	ルエイジンク ご影響を及ぼ ^っ <u>的動向</u> と社会	す社会シ 保障の変		P37-50		IJ		IJ			
第6回	5. 高	齢者を取	保健・医療 なり巻く環境 取り巻く環 かされる環	境の捉え方		P279-287 P314-324		大 潛	た ラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11				
第7回 第8回	保· 1)Q(2)サ	健看護の DLの概念)役割 ことQOLを高 フルエイシ	/グを支援する めるための社 ジングを支援	別資料 P325-330		田場大溜		וו					
テキス	大 老年	看護学想	斑論,南江堂	É, 2011.		I.				1				
参考文献	· 老年	看護学技	支術, 南江堂	生,2011.										

他科目との 関連	生涯人間発達論、心理学などの既習科目の内容を踏襲しつつ、高齢者看護の対象論、目的 論を具体的に示し、老年保健看護科目への導入とする。 本科目は保健師課程、看護師課程の読み重ね科目である。
成績評価の 方法	<u>ミニテスト10%</u> 、課題レポート10%、試験80%
学習相談• 助言体制	毎回の授業ごとに、関連のある課題レポートを課す。レポートは次回の授業までに提出を 求め、講義内容についての理解を広げ深める方法の体験を促す。
授業改善の 特記事項	講義内容を伝達するための講義資料を毎回作成、配布する。 講義内容と関連する国試問題を毎回提示し、事後課題とする。
備考	毎回テキストの該当ページを読んで授業に参加すること。

科 目コード	35126	授業科目	(老年保健ā (Geriatric No)	担当教員		場由紀弯明美実務総	光	川ゆか 来出由 : あり	-
開講年次	3年次	前期	単位数	2単位	科目			1	受業		=++\	
選択必修	必	修	時間数	30時間	分類	界 門	関連科目	ā	形態	į	講義	TACE TO SERVICE TO SER
履前提科目	なし											
条件その他	なし											
授業概要				る基本的な知識 こする高齢者の						湯で	、健愿	東レ
到達目標	 高齢 高齢 多様 	着の健 着ケア な高齢	康障害によ の考え方(者ケアの場	老年症候群、 ってもたらさ 尊厳、自己決 におけるケア 看護の役割と	れる生活 定、QOL、 の特性を	機能障害に 、エンパワ がべること	こついて〕 メント) こができ ²	述べるこ につい る	とがつ	_		できる
授業回数		授	業内	容及び	計画		事前・事 (学	事後学習 習課題)	担当	者名	授業	形態
	1. 高齢	者の健	康障害と生	活			*毎回事i ポートを	前課題レ			講	義
第1回	1) 高額	齢者の例	建康障害をも	たらす主要物			(1)P220-		田	場		
第2回	2) 老年	年症候郡	詳と生活機能	 上障害			①P189-	,				
第3回	3) 高語	齢者の情	曼性疾患とり	リスク			②P31-4		砂	Ш		
第4回	4) 高幅	齢者のQ	OLと総合機	能評価			②P1-30		,,,	,		
第5回	5) 高額	齢者のこ	ニーズと地域	域包括ケアシス	ステム		別刷	,	大	湾		
	2. 高齢	着の健	康レベルと	多様な場にお	けるケア	•	力小师リ					
第6回	1) 高幅	齢者の例	建康生活とク	アアの特性			①P306-	.919	光来	き出		
第7回	2) 高額	齢者の語	诊断・治療 と	ナケアの特性			①P288-			場		
第8回	3) 高額	齢者の療	療養生活とな	アアの特性			0		,,,	,		
	3. 高齢	緒のも	つ社会資源	を生かしたケ	ア		①P81-8	0 (
第9回	1) 社会	会資源。	としての高歯	冷者を生かする	テア		①D000	000	,,,	,		
第10回	2) 介語	護する劉	家族を生かっ	トケア			①P320-		光来	ĕН.		
第11回	3) 家族	族以外の	のインフォー	ーマルサポー	トを生か	すケア	①P253-			場		
	4. 高齢	者の尊	厳を支える	ための看護			①P260-	269		~~		
第12回	1) 基	本的人村	権の尊重、権	権利擁護、倫理	里に基づ	くケア	(I)DE1 (. 4	,,,	,		
第13回	2) 自词	己決定		①P51-6		砂	ЛП					
	5. 高齢	着の尊	厳を支える		①P231-	-231		, ,				
第14回	1) 当	事者主体	本の高齢者な	アア			(I)DOOF	244	田田	場		
第15回	2) 看記	護の役割	割拡大と協働	動連携			①P325- ①P306-			湾		
テキスト	①老年	看護学村		堂,2011. ②	護学技術,							
参考文献	ケアマン	ネジャー	一実践ガイト	ド 医学書院	1997							

(生涯発達看護科目)専門関連科目

他科目との 関連	老年保健看護 I で示す高齢者看護の対象論、目的論、方法論を前提とし、人体の構造と機能、 疾病論 I ・ II 、人間関係論等の既習科目を統合し、高齢者看護の実際を学ぶ。
成績評価の 方法	<u>ミニテスト</u> 10%、課題レポート10%、試験80%
学習相談 · 助言体制	毎回の授業ごとに、関連のある課題レポートを課す。レポートは次回の授業までに提出を求め、 講義内容についての理解を広げ深める方法の体験を促す。
授業改善の 特記事項	講義内容を伝達するための講義資料を毎回作成、配布する。 講義内容と関連する国試問題を毎回提示し、事後課題とする。
備考	毎回テキストの該当ページを読んで授業に参加すること。

科 目 コード 3	5127 授 ^美 科E		nar)	担当教員	光系	 长出由		川ゆか あり	3 Ŋ				
開講年次	4年次 前其	月 単位数	1単位	科目				受業					
選択必修	必修	時間数	30時間	分類	専門関	関連科目		形態					
履 前提科目	老年保健看	青護実習 I	上活援助・療	養援助打	技術実習 =	老年保健看護Ⅱ							
履修 条件 その他	なし												
授業概要		建康障害に伴う この問題解決能			「ントとケ	アの技法	とを学習	し、村	艮拠に	基づい	た		
到達目標	2. 客観的指 3. 高齢者の 導くため 4. 高齢者及	1. 加齢や認知症に伴うコミュニケーション障害への支援方法を習得する 2. 客観的指標を用いた高齢者総合機能評価の技法を習得する 3. 高齢者の全体像(身体状況、心理状況、社会状況および環境)を把握し、生活ニー 導くためのアセスメント技法を習得する 4. 高齢者及びその家族への看護実践および看護研究から導かれたケア技法を学び、問 決能力を習得する。											
授業回数	4	授 業 内	容及び		事前· 等 (学者	事後学習 習課題)	担当	者名	授業	形態			
第1回 第2回 第3·4回	2. 援助関係 3高齢者の	を形成するためを形成するためでは、 を形成するためでもスメント 後能のアセスを	こめのコミュ			砂川 ②P2-15					習		
第5~8回	4. 高齢者の 1)ストレ 2) ICFモ	。REST [[[]] シストレングン シングスを活力 デルを活用し 5.齢者ケアの打	いした計画立 た計画立案		ぎの技法	別刷 ②P12	場来出						
第9·10回 第11回 第12回 第13·14回 第15回	1) 中核症 2) 周辺症 6. 家族ケア 7. 協働連携 8. 高齢者の 1) 生活ニ	E状に対するク E状に対するク	アア技法 アア技法 (シミュレー メント マネジメント					田田	川 " " 場				
テキスト	①老年看護	度学概論,南洋	工堂, 2011.	②老年和	f護学技術,	南江当	堂, 2011			I			
参考文献	ケアマネシ	ジャー実践ガイ	イド 医学書	院 199	7								
他科目との 関連		ヘルスアセスメント、生活援助・療養援助技術などの広域・基盤看護科目の内容を老年保健看護 I、老年保健看護 Iの既習科目と統合し、実際のケアに生かす方法を学ぶ。									F保		
成績評価の 方法	授業への参	授業への参加状況10%、演習課題50%、課題レポート40%											
学習相談・助 言体制	毎回の授業促すものと	毎回の授業ごとに、関連のある課題レポートを課す。課題レポートの内容は患者体験を 促すものとし、尊厳を支える看護について多様な場面から検討する。											
授業改善の 特記事項	講義内容を	と伝達するたと	めの講義資料	·を毎回(乍成、配布	する。							
備考	毎回テキス	トの該当ペー	ジを読んで搭	受業に参	 加すること	. 0							

科目	35134	授業	九木田田小									
コード		科目	(del 1a	ttile Nursing	Tracti		教員		実務	経験:あり		
開講年》	2年次	前期	単位数	1単位	科目	•	連科目		授業	実 習		
選択必修	》 必	修	時間数	45時間	分類	(保	· 看)		形態	<u> </u>		
履前提科						5 L-11.10-1-	- III A	- 1 4' . 7 . 7 .	11 2 12 4	<u> </u>		
修条件	也しいない者	がは、実	習を履修する		い。さ					接種が完了して ンフルエンザの		
授業概要		題を乗	きり越えるこ	· ·						齢者から老年期 者の看護実践に		
到達目標	2. 観察 ら対象 できる 3. 対象 4. 対象	対象に関心を持ち、個人として尊重した態度を取ることができる。 観察とコミュニケーション技術を活用して、対象の生活史や加齢に伴う変化、人々との関わりから対象の健康と地域文化を含めた生活について、身体的、心理的、社会的状況を記述することができる。 対象の発達課題とストレングスについて、個別的に導くことができる。 対象のストレングスを生かしたサクセスフルエイジングの支援のためのアセスメントができる。 一連の看護実践をふり返り、自己の課題を見いだし、今後の学習課題を述べることができる。										
授業回	数			授業内容	ア 及 て	が計画				指導教員		
5日間	1) 対会を2 2) 対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対を対対を対対実習ととの10 11 12 13 実ととの他 12 2 14 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	接業内容及び計画 実習内容 1)対象とのかかわりを通して、対象の生活史や日常生活、加齢に伴う身体的・精神的・社会的変化を把握する。 2)対象の暮らす地域について学び、対象の日常生活への理解を深める。 3)対象の感じている健康上の問題や思いを把握する。 4)対象がセンターを利用する経緯や動機を把握し、対象の健康状態への理解を深める。 5)対象の行っているセルフケアについて生活史や健康状態の影響と関連させ理解する。 6)対象の発達課題を把握する。 7)対象の家族、友人、知人、近隣、仲間との交流について把握する。 8)センターの活動が対象の健康状態や日常生活に及ぼしている影響を見いだす。 9)対象の身体的・精神的・社会的特徴から、ストレングスを見いだす。 10)対象のセルフケアと生きがいについての語りから、サクセスフルエイジングとの関係を述べることができる。 11)対象のサクセスフルエイジングへのニーズを把握する。 12)対象のストレングスをサクセスフルエイジングに生かす提案ができる。 13)実習で学習したことを共有・統合し、今後の学習への課題を見いだす。 実習方法 1)センターの活動に参加し、対象と積極的にかかわりをもつ。 2)センターで紹介された対象の1事例を担当し、センター利用時以外の自宅での生活や他の活動にも同行する。 3)センター以外の場に出向く時には、目的や方法等を計画した上で、教員や実習指導者と								砂 川 光来出 他 る。 る。		
テキス	老年看該	美学概 論	論,南江堂,2	011.								
参考文献	大 別途指示	ける										

他科目と の 関連	老年保健看護 I の既習科目を前提とし、人間関係論などの専門教養科目や看護専門職論、生活援助・療養援助技術を用いて対象理解のための実践を学ぶ。 本科目は保健師課程、看護師課程の読み重ね科目である。
成績評価の 方法	実習の評価は、別途定める実習評価基準に準ずる。
学習相談 · 助言体制	実習中は毎日開始前と終了時にカンファレンスを実施し、学びの内容や互いの課題を共有し、教員、 学生とで解決に取り組む
授業改善の 特記事項	実習中は実習のてびき、老年保健看護Iの資料を携帯し、理論と実践を行き来できるように促す。
備考	実習施設: 老人福祉センター 老人憩いの家

科目コード	3	5135	授業科目	(Ger	老年保健看記 iatric Nursin	護実習Ⅱ g Pract:	icum∏)	担当教員	光来出	己 砂川ゆかり h利子 他 経験:あり
開講年選択必		4年次 必		単位数時間数	2単位 90時間	科目 分類	専門関	連科目 ・ 看)	授業形態	実 習
前提			世看護 健看護	.,	2044 H1				1	
履修条件その		ていな	w者は	、実習を履信		きない。	さらに11月月			防接種が完了し はインフルエン
授業概	要	族を含	めて総合	合的に理解し		厳を支え	るための具体に	的な看護	実践ができ	課題を、その家 る能力と、自己]を学ぶ。
到達目	標	必要 2. ケア ニー 3. 対象 評価	な支援・ の場のシ ズをア のスト ができ	を行うことか 特性を踏まえ セスメントし レングスとを る。	べきる。 2、対象および 2、看護問題を	家族の地 導くこと し、協働	域文化を含め ができる。 動連携による本	た生活を :人およて	理解し、医	課題を把握し、 療ニーズ、生活 請護計画、実施、 ことができる。
授業回	数				授 業 内	容 及	び計画			指導教
10日間	i)	2) < 3) 4) 5 6 7) 8) 9) 10) 11) 12) す 3) 4) 5 6 7) 8) 9) 10) 11) 12) す 2) を対対過サ門対を対対対援対実す生療 対 2) 対 3) 2) 16) 17) 16) 17) 17) 18) 18) 19) 19) 19) 19) 19) 19) 19) 19) 19) 19	- ^ & であ者のに一者のてぬめの可めて、誘っ象に象と象別~とのに、や生対ト等スセのの尊能アと、能養に機や機のサ2)関件ク家活象()トメー知厳なセク・障の提供家能とし、	らが疾史に家のレンズ機を計スア 害場共輝疾を舌ビを症ーケ生わ・際グし家にえをン評 抱病れをケぶ場調施やホア活っ親をス、族応る検ト価 え院い把提 主会るコー提様で疾、てを対のじぬ討『を な、?握担 主会る	史ミム者とた友、踏象ニたのし計踏が介かすまとれるとなる。 ないのという はいのという はいのという はいのという はいのという はいのという はいのという はいのという はいのという はいのという はいいい はいいん はいいん はいいん はいいん はいいん はいいん はい	おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお	課題ないでは、 はないとは、 はないとは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	必所審 てっと四ズ 会合施会 い霞、 るに把要なを シーダ でっし後 て設健 役 つ握など でたたの 考な康 割 いず	支〉と イルを沢く マアアア す) 犬 と で で で で で で で の の る > 、	他 マル・ マス (5)。 状況) る。 う。 提案 犬沢、 の

テキスト	老年看護学概論,南江堂,2011. 老年看護学技術,南江堂,2011.
参考文献	ケアマネジャー実践ガイド 医学書院 1997
他科目との 関連	老年保健看護 I、老年保健看護実習 I、老年保健看護 II、老年保健看護演習の既習科目を前提とし、 広域・基盤看護科目である精神保健看護や地域保健看護の既習科目を踏まえ、認知症をもつ高齢者 の生活の場にあわせた課題解決の実際を学ぶ。 本科目は、保健師課程、看護師課程の読み重ね科目である。
成績評価の 方法	実習の評価は、別途定める実習評価基準に準ずる。
学習相談• 助言体制	実習中は毎日開始前と終了時にカンファレンスを実施し、学びの内容や互いの課題を共有し、教 員、学生とで解決に取り組む。
授業改善の 特記事項	実習中は実習のてびき、老年保健看護 I ・ II の講義資料を携帯し、理論と実践を行き来できるように促す。
備考	実習施設:病院、介護療養型医療施設、介護老人保健施設、グループホーム、小規模多機能事業所など

科 目 コード	3	授業 助産実践論 担当 (Theory of Midwifery) 教員 (回数いづみ 川満恵子 (非常)		
	.								<u> </u>	実務経	験:	あり		
開講年	次	4年次	前期	単位数	2単位	科目	専門	 連科目		授業	=	溝 郭		
選択必	修	選	択	時間数	30時間	分類	41.10	7,2,111		形態	н	11. 42	~	
履前提利を発生して	科目	なし												
条件を)他	助産師	国家討	試験受験資格	各関連科目履信	修者に限	! る							
授業概	要				D科学的根拠。 念、助産業務				の広範	な科学	:の学	際的	視点	
到達目	標	2. 居 3. 財 4. お 6. 日	助産の基礎概念が説明できる。周産期医療における質保証の説明ができる。助産実践の倫理について具体例を用いて説明できる。お産の歴史と文化について説明できる。日本および世界の母子保健の動向と課題、周産期医療システムについて説明できる。周産期医療の質およびリスクマネジメントについて説明できる。											
授業回	数		授業内容及び計画 事前・事後学習 (学習課題) 担当者名 授業形態											
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第		助助女日世お周日世助助地周ま 1.産産性本界産産本界産産域産と1.日	助産師とは									論 ,	義	
参考文	献				版助産師業務 版助産師業務									
他科目 2 関連	との	助産業	務の基	本的知識を	修得し、助産	産実習に	臨む。							
成績評 の方法	— 伝 去	クラス	への参	加度15%、	レポート15	%、試懸								
学習相認 助言体	炎 • 制	学生が	学生が主体的に自己学習できるよう議論の場を設定し、質問及び疑問に対応する。											
授業改善 特記事		主体的	刀に授業	美に参加でき	きるよう助産	実践の場	易を想定した	た課題設	定等を	工夫す	トる。			
備者	<u> </u>	テキス	トは最	新版を使月	構義に臨むこ 月する。 A関連科目履何		修。							

科 目コード	3	3521	授業科目	(Fu:	基礎助 ndamentals c	fery)	担当教員	知為橋川	念久。 口幹。 川隆-	美子 夫 (一 (勤)				
開講年	.次	4年次	前期	単位数	3単位	t) II										
選択必		選		時間数	45時間	科目 分類	専門関	連科目		授業 形態		講義	・演習	图		
履前提	科目	なし		.,,,,,,												
修 条			(대민 수 :	\$4 EA 立 EA 次		はかの土	ァ 17日 ブ									
件との)他				格関連科目履 ンて、妊産褥婦			目の形能	⊋ • ±446·	他の	儿 莊	165.	広能	亦		
授業概	要	化、異	常時の	診断・治療	を学習する。							:HIJ -	州忠	汉		
到達目	標)正常からの違 『態と診断、?			きる。			_					
授業回	数		授	業内	容及び	計画		事前・ (学習	事後学	学習 :	担当	者名	授美	美形 怎		
第1回		妊婦0	の健康記	診査:フィ	ジカルアセス	メント、	NST	1. P. 1-7	76		井	上	講			
								3.第1 - 5章, 7								
第 2 回	囙	妊婦に	こ行なれ	われる検査の	の見方(血液	尿・脂	管分泌物)	1. P. 62- 3. 第3			賀 数		J.	J		
第 3 E 第 4·5				装置の用いた 法の実際	方			1.第2± Ⅱ章 10			橋	口 /	演	習		
第6回	囙	出生前	前診断					3. 第3 i 7. P. 132 9. P22=3	2-134,		J.	I	講	義		
第7回	囙		習慣が朋 妊娠と薬		す影響(アルコ	コール, 炬	臣草,ドラッ	3. P. 50 P. 100-1 P. 169-1	知	念	J.	ij.				
第 8 • 9	□				·併妊娠, 心疾 侲, 自己免疫疫			6., 8.,	9.		橋	П	J.	J		
第 10・1	1 回			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	患合併妊娠, E 血液疾患合併		患合併妊娠,	6., 8.,	9.		J.	J	J	J		
第 12・13	3 回			常I(悪阻, 妊娠中の異?	性〕妊娠,頸 候群)	6., 8.,	9.		J.	ı	J	J				
第 14・1	5 回	分娩其	期の異常	常I(分娩泊	進行の異常、	分娩期⊄)出血)	6. P. 第3章 8. , 9. P199-217				J	J			
第 16・1	7 回	娩期 <i>0</i> 法)	の異常]	Ⅱ (帝王切開], 産科ショッ	位分娩介助	助 6., 8., 9. "					演	習			
第 18	□	先天身 ど)	異常(常	常染色体異常	常、薬剤の影	響、遺伝	云子疾患な	6., 7.,	8., 9	9.	佐	伯	講	義		

			ĺ							
第 19 回	会陰切開・縫合術の実際	7.	橋	П	演習					
第 20 回	産褥期の異常(深部静脈血栓症,産褥期感染症,産褥期精神障害)	6., 8., 9.	賀	数	講義					
第 21 · 22 回	ハイリスク新生児の病態・検査・治療 新生児の神経学的診察法、新生児の異常徴候と疾患、 呼吸	6., 8., 9.	源	Ш	11					
第 23 回	循環障害、分娩損傷 新生児蘇生法	1. 第VI章 , 5.,6.,8.,9. 第 III章, 1. 第VI章		JII	演習					
テキスト	 我部山キョ子編,助産師のためのフィジカルイグザミネーション第2版,医学書院,2018. 吉沢豊子編,助産師基礎教育テキスト第2巻女性の健康とケア 日本看護協会出版会,2018. 森恵美編,助産師基礎教育テキスト第4巻妊娠期の診断とケア 日本看護協会出版会,2018. 町浦美智子編,助産師基礎教育テキスト第5巻分娩期の診断とケア 日本看護協会出版会,2018. 横尾京子編,助産師基礎教育テキスト第6巻産褥期のケア 新生時期・乳幼児期のケア,日本看護協会出版会、2018. 遠藤俊子編,助産師基礎教育テキスト第7巻ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア,日本看護協会出版会、2018. 連純郎,堀内成子,正常分娩の助産術 トラブルへの対応と会陰裂傷縫合,医学書院、2010. 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会,産婦人科診療ガイドライン産科編,日本産婦人科学会,2016. 大鷹美子訳,ウイリアムス臨床産科マニュアル改訂第2版,メジカルビュー社,2014. 									
参考文献	ALOHA note, ゆいノート,他開講時提示									
他科目との 関連	臨床で実際に実践されている検査、診断、治療を理解しなよび助産実習での基礎知識となる。	ておくことで、身	力産診	》断•	技術学					
成績評価 の方法	試験80%、プレゼンテーション10%、講義への参加度(質	疑応答)10%								
学習相談 · 助言体制	講義終了時に質問できるよう時間を取る。									
授業改善の 特記事項	臨床で実践されていることをイメージしやすいように、 演習や縫合の演習で技術の基本を理解できるように使用		- 0	_ ,	後を					
備考	事前学習と復習を確実に行うこと。 *テキストは最新版を使用します。事前・事後学習で提示したテキスト番号およびページ(章)は変更の可能性があります。授業内容に該当するテキストおよびページを各自で探して事前・事後学習しておくこと。									

科 目 コード	33	授業 助金沙斯,技術学 担当 西平								知	:上 松代 念久美子		
									ᢖ	三務経	涣:	あり	
開講年		4年次		単位数	5単位	科目	専門関	連科目		受業	講	義・演習	
選択必	修	選	択	時間数	90時間	分類				ド態			
履 前提和	科目	なし											
条 件 その	他	助産師	国家詞	大験受験資格	S 関連科目履何	多者に限	:3						
授業概	要	正常な	産婦へ	の分娩介助)健康診査と、 力法も習得する 日の維持増進立	るととも	に、緊急時	の対処	法につい	ても	学習	-	
到達目	標	 模据 新生 	. マタニティサイクルの助産診断と援助について説明できる。. 模擬事例を通して正常分娩介助の基本的技術を習得する。. 新生児の助産診断と援助について説明できる。. ハイリスク妊産褥婦・新生児の看護について説明できる。										
授業回	数			授業内	容及び	計 画			事後学習 習課題)	担当者	名	授業形態	
第 1~3 第 4~5 第 6~7 第 8 回	回 回	妊婦の健康診査、妊婦のセルフケア能力向上への支援 事例 I ①妊娠経過のアセスメントとケア ②安定した妊娠生活の維持と出産準備への支援 妊娠期の保健指導 (発表) 4巻 6~7章 "									講義演習 " " "		
第 9 ~1 第 11~1 第 13~1 第 15~1	2 回 4 回 6 回	産婦の 分娩第 分娩進	分娩へ 1期~ 行とク	- 第 3 期の産 - アの実際(系の診断方法 E婦のアセス ①:呼吸法・ ②:補助動作	リラック :		5巻 4巻	1~3 章 4 章 7 章	西下	数平中	講義演習 " 講義演習 演習	
第 19~2 第 21~2 第 23 [20 回 22 回 回 25 回	分娩期	②分娩 引の助産 ·ダート	連進行状態の 注計画立案: " "ケアプラン	マセスメント。 アセスメン 初期計画・分 (発表) ハの作成	トと援助		5 巻	5~6 章	西 " " 下中	平 ·他	" " 講義·演習 演習 " "	
第 28~2 第 30 [第 31~3 第 33 [旦 52 旦	母乳育児支援 6巻 4章 "								中	講義 " " "		
第 34~3 第 36~3			援助	への母乳育	児支援のため 黄疸	のアセン	スメントと			" 下	中	演習 " "	
第 38~3 第 40 [第 41~4	9 回 2 回										" 講義 " "		
第 43~4 第 45 [客観的 分娩介			SCE:妊婦・産	.婦·褥如	帚・新生児)			全 "	員		

(生涯発達看護科目)専門関連科目

テキスト	森恵美/他(責任編集):助産師基礎教育テキスト第4巻,第5巻,第6巻,第7巻日本看護協会 出版会,我部山キョ子:臨床助産師必携,医学書院 北川眞理子他(編集):今日の助産,南江堂 大鷹美子訳:ウイリアムズ臨床マニュアル第2版 MEDICAL VIEW 日本助産診断・実践研究会(編著):マタニティ診断ガイドブック,医学書院 NPO法人日本ラクテーション・コンサルタント協会:母乳育児支援スタンダード,医学書院 日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会(編集監修)産婦人科診療ガイドライン産科編
参考文献	荒木 勤 著:改訂版 最新産科学 正常編 文光堂 荒木 勤 著:改訂版 最新産科学 異常編 文光堂
他科目との 関連	モデルを活用し基本的助産技術を習得して助産実習に臨む。
成績評価 の方法	筆記試験 (60%) OSCE・分娩介助実技試験 (30%) レポート・クラスへの参加度 (10%)
学習相談· 助言体制	学生が自己学習できるよう実習室及び演習模型を整備する。演習には実習指導教員も参加し、学生の質問及び疑問に丁寧に対応する。
授業改善の 特記事項	学生の理解を助け、主体的に授業に参加できるよう視聴覚教材・モデル等の工夫をする。 実践場面を想定した演習になるよう状況設定等を工夫する。
備考	事前学習と復習を確実に行う。技術練習は積極的に指導助言を得ること。 *テキストは最新版を使用します。提示した章は変更の可能性があります。 助産師国家試験受験資格関連科目履修者は必修。

科 目 コード	3	3541	授業 ウィメンズ ヘルス サイエンス 担当 佐伯 (Women's Health Science) 教員 涌名 三流							(いづみ、井上松代、 期子、知念久美子 1宣久 に桐子(非常勤講師 前耕子(非常勤講師 実務経験:あり			
開講年	次	3年次	後期	単位数	2単位	科目				授業			
選択必	修	選	択	時間数	30時間	分類	専門	門関連科目	:	形態	lii ii	講 義	ż
履前提	科目				体の構造と機 f護 I 、周産類			本の構造と	:機能源	[習Ⅱ	、疾	病論	Ι,
条件その	他	なし											
授業概	要				スに焦点をあっ かの援助技術を			フサイクル	各期に	特徴的	りな疼	長患並	び
到達目	標	2. ラ 3. 女	 女性のフィジカルアセスメントができる。 ライフサイクル各期の女性の特徴とケアについて説明できる。 女性特有の身体的心理社会的問題を列挙し、説明できる。 性科学の概念を理解し、セクシャリティについて述べることができる。 										
授業回	数		授業内容及び計画 事前・事後学 (学習課題)								者名	授業	形態
第 1~2	2 回	1. 成人 2. 女性 3. 月稻	、の身体 生の生理 怪障害の)しくみ xのしくみ 単学)検査、診断 è査、診断、治		1. 第1章 1. 第3章 2. 202=: 2. p2=5 2. p226 3. 不妊、 <i>t</i>	Ē 219 1 -268	涌	谷	講	義		
第 3~4	口	1. 子宫 a. 子 b. 卵 c. 子	宮と付属 子宮腫瘍 野巣腫瘍 子宮内膊	陽器の疾患 悪(がん、肉 悪(がん、卵 専症	恐の検査、診断腫、子宮筋腫、 巣嚢腫) 期に発症しや	子宮腺		1. 第3章 2. p118· 3. 腫瘍 2. 52-5: 2. 98-1 3. 感染症	-201 3 17	11	浦		
第 5 回]	ドメス	ティッ	クバイオレ	ンスに悩む女	性の現	伏と支援	1. 第3章	Î	井	上		
第6回]	災害	時の女	性への支援				"		賀	数		
第7回]			る女性のケ の生涯と社	ア 会の移り変わ	り		1. 第2章	Ĩ	,	J		
第8回	□	2.	思春期	朝女性のケ	r			1. 第 2	章	井	上		
第9回	□	3.	成熟期	朝女性のケー	r			"		知	念		
第 10	口	7,4,10,75,7,2							数				
第 11	口	性科	学		1. 第4章	Ĩ	知	念					
第 12	口	性の	多様性	性分化				1. 第5章		佐	伯		
第 13	口	性同一性障害 同性愛 2. p60-75 井 上											
第 14	口	性感	性感染症とヘルスプロモーション 1. 第6章 2. p81-93 西 平										
第 15	□	セク	シュア	ルヘルス				1. 第7章	Ī	11			

(生涯発達看護科目)専門関連科目

テキスト	1. 吉沢豊予子(責任編集):助産師基礎教育テキスト2019年版 第2巻 女性の健康とケア. 日本看護協会出版会 2. 医療情報科学研究所:病気がみえるVol.9 婦人科・乳腺外科 MEDIC MEDIA 3. 日本産科婦人科学会、日本産科婦人科医会:産婦人科診療ガイドラインー婦人科外来編
参考文献	周産期保健看護Ⅰ、疾病論Ⅰ、疾病論Ⅱ、周産期保健看護Ⅱで使用したテキスト及び参考文献
他科目との 関連	周産期保健看護 I 、疾病論 I と関連する。 助産師国家試験受験資格関連科目の履修希望者は必修。
成績評価 の方法	レポート10点、試験90点
学習相談 · 助言体制	毎回の講義終了後に質問を受ける時間をもうけ、疑問などの相談を受ける。
授業改善の 特記事項	学生の理解が深められるよう課題・事例(場面)設定の工夫、視聴覚教材・模型等を活用する。 学生が主体的に授業に参加できるようディスカッションを行いながら講義を行う。
備考	学生は次回使用のテキスト箇所および資料内容を読み、事前学習をして臨むこと。 テキストは最新版を使用する。表示した頁の変更もあります。

科目コード	335	554	授業科目	(助産実 Midwifery P:		m)	担当教員	西		知念 他	‡上松代 念久美子 あり	
開講年選択必	悠修	選		単位数 時間数 ヘルスサイ	8単位 360時間 エンス、助産	科目 分類		関連科目		授業 形態		実 習	
前提 履 修 条 そ の		麻疹完了はイ	、風疹、 してい (ンフル	、水痘、流 ない者は、 レエンザの	行性耳下腺炎 実習を履修す 予防接種を終 格関連科目履	、B型F つること 了してV	F炎の各抗体 はできない いることも彡	本検査で 。さら <i>l</i>	陰性の こ 11 月	者また 以降の	は予 は予 実習 (
授業概	要	過に	ある産	婦が主体的	理を学び母子に出産に取り	組める	よう助産を	展開する	5.				
到達目	標	2. 女 3. I 4. 戸 5. ノ 6. 手	支援できる。 妊産褥婦および新生児の助産診断に基づいて助産過程の展開ができる。 正常分娩の介助ができる。 産婦・褥婦・新生児とその家族が親子関係・家族関係を確立するために必要な看護 について説明できる。 ハイリスク新生児に必要な基本的看護が実践できる。 母子保健医療福祉等の関連職種間の連携・調整について、助産師の役割を説明できる。 助産学生として実践したことを振り返り、自己の学習課題を明確にすることができる。										
授業回	到数				授業内	容及	び計	画				指導	教員
8週[実習内容 1. 継続事例として初産婦1例を妊娠中から受け持ち、妊娠・分娩・産褥(入院中から産褥1か月)の健康診査、保健指導、分娩介助、新生児の健康診査、保健指導を行う。 2. 分娩目的で入院した産婦の分娩介助および産後の母子ケアを行う。 3. 異常分娩(吸引・鉗子分娩)の見学または部分的介助、帝王切開術の見学、ハイリスク新生児の看護を学ぶ。 4. 指導助産師のもと、児受けを行い出生直後の新生児の看護を学ぶ。 5. 産科棟および助産所における管理と助産業務の実際を学ぶ。								賀 井 西 知 下	数上平念中		
		1. する を指 か C 分 指 星 N 科 に	る刃旨アド分旨異 I 迷よ 医ろ力事。産導ア 必娩導常 CV 続所科に産例婦ので事定病つ所検えているのです。 ゆのおいの言	工実例とうないでは、100歳のでは、100歳のでは、100歳のでは、100歳のででは、100歳のででは、100歳のででは、100歳のでは、	継続事例1例 見受けを2例 見術の見学実 日間受け持ち 例、一般事例の こまとめ、提出 行または説明	~1 か は で 以 習 、 の は か に な と 上 を ケ 記 す か ら で で で で で で で で で で で で で で で で で で	健診 建指 選指 選問 行。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	として 免介助、 内)、1 か 開見学、 れる場の	受け持 を を で 用 健 NICU で で で で で で で で で の で の で	ち、教員 完中査 表診 を習の 記 を び助産	の子よ録衆業	ſť	<u>h</u>

テキスト	助産実習の手引、講義・演習で使用したテキスト				
参考文献	荒木勤 改訂版最新産科学正常編(改訂版)/異常編(改訂版)文光堂 「母乳育児成功のための10ヵ条」の実践 BFHI翻訳編集委員会: UNICEF/WHO 赤ちゃんとお母さんにやさしい母乳育児支援ガイドベーシックコース 医学書院 涌谷桐子:ペリネイタルケア夏季増刊 母乳育児支援ブック他				
他科目との 関連	周産期保健看護Ⅰ、周産期保健看護Ⅱ、疾病論Ⅰ・疾病論Ⅱ、周産期保健実習Ⅰ、 周産期保健実習Ⅱ及び助産関連科目を復習して実習に臨むこと。				
成績評価の方法	実習態度、カンファレンスへの参加状況、実習記録、事例検討会、実習施設の指導責任者の情報を参考に、実習科目担当者が総合的に評価する(知識・技術面60%、態度40%)。 詳細は、手引きの助産実習評価票(中間評価・最終評価)参照。				
学習相談 · 助言体制	指導教員や臨床指導者への相談および指導助言を受けることができるよう、実習指導体制 を整える。				
授業改善の 特記事項	実習前および実習中、集中的に基本的看護技術の練習が可能である。				
・基礎看護技術及び妊産褥婦・新生児に必要な看護技術をモデル人形で十分練習してに臨む。妊産褥婦に必要な保健指導教材を実習に活用できるよう準備して実習に臨備考・事前学習として、ALOHAノート・ゆいノートを復習しておくこと。・助産師国家試験受験資格関連科目履修者は必修。					

バ ${ m I\hspace{-.1em}I\hspace{-.1em}I}$ ラ

門関連科目 (統合科目)

科目コード	4	0013	授業科目	礻	看護大学ゼミナールⅢ (OPCN Seminar Ⅲ) 担当 割員					上原和代		
開講年	次	3年次	後期	単位数	1単位	科目	- 	38844		授業		
選択必	修	必	修	時間数	30時間	分類	専門]関連科目		形態		演習
履前提利	科目	なし										
条 件 その	他	なし										
授業概	要	めに、	看護用	具の発明や	引き続き、現 改善、看護介 の課題を克服	入および	が看護シン	ステムに関	目わる	改善・	工夫	
到達目	標	2. 1 (3. 2 (6. 数) 4. 主作 6. 数身	 看護に関連した課題についてブレーンストーミングを通して仮説を抽出できる。 1 の課題の仮説について、文献検討から課題を見出しその根拠を説明できる。 3 2の課題に対する解決策について、ブレーンストーミングを通して、自由に発想し創造的に解決策を見出す。 4 主体的かつ建設的態度でグループワークに参加できる。 5 自分と異なる意見に対してアサーティブな対応がとれる。 6 効果的なプレゼンテーションができる。 7 問題・課題解決する上で論理的思考、創造的思考の活用の必要性がわかる。 									
授業回	数		授 業 内 容 及 び 計 画 事前・事後学習 (学習課題) 担当者名 授業形態								授業形態	
第1·2 第3~7		ブレー	ーンスト		そに必要な創む こよる課題の打 O検討		の理解、	初回時に		神 宮	湾里里原	演習
第8・9回 第10~1	.,	中間執	2告	グループ討け(文献検討	議) ・グループ討	'議)						
第14~1	5回	プレセ	ヹンテー	ーション、拡	長り返り							
テキス	7	なし					1					
参考文	献	取り着	組む課題	題によって	、適宜紹介す	る。						
他科目 関連		これま	での講	義・演習・	実習すべての	の科目、	ならびに	個人的経	験等と	関連"	する。	0
成績評 の方法		授業へ	の参加	(30%)	プレゼンテー	・ション	(40%)	,報告資料	\$\frac{1}{30})%)		
学習相認助言体	炎 • 制	オフィ	ースア	プワー(教員	員と学生が気軽	 軽に話せ	る場所と	機会)を	·設け	る。		
授業改善 特記事		オフィ	・ースア	プワーで得ら	っれる学習ニ [、]	ーズは、	メールや	会議等を	 通し [~]	 て全学I	的な	共有を図る。
備		少人	学生の自主性を尊重する科目である。 少人数でのグループワークを中心に行なう。 学生は学習時間を確保できるように、アルバイトやサークル等の活動時間を調整する。									

科 目 コード	37131	授業科目	(Insul	島嶼保健 arity Healt		ursing)	担当教員	川崎道神里み知念真実務	ょどり	牧片未	可忍 定
開講年次	4年次	前期	単位数	2単位	科目	専門関		授	業	集美.	演習
選択必修	選	択	時間数	45時間	分類	保	• 看)	形	態	事我 。	供白
履 前提科目	なし										
条件その他	なし										
授業概要	て総合的ける疫	内に理解 学的動同	解し、これ。 句と対策の	となる地理・別まで学んできた 関解を深め、記 支援のあり方	た健康の また健康	の概念と人々 その全ての段	の生活	との関連	生およ	び島	嶼にお
到達目標	合的 2. グロ 理解 3. 健康 4. 島崎	島嶼の地理・歴史・文化・経済・制度等にみられる特徴が健康や生活に及ぼす影響を総合的に理解することができる。 グローカルな視点をもち、国内外・沖縄県内の島嶼の保健・医療・看護の現状と課題を理解できる。 健康の概念の理解を深め、島嶼における看護職者の役割について考えることができる。 島嶼の看護実践のために重要な概念と理論を概説できる。 島嶼での看護実践のおもしろさとキャリア人生上の意義に気づくことができる。									
授業回数		ł	受業内	容及び	計画				担当	者名	授業 形態
第第第第第第第第第第第第第第第第9回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	島嶼保係海外(江海) 国際保衛島嶼保衛 沖縄県の	形態 グローカルな視点からみた「島嶼保健看護」「国際保健看護」 島嶼保健看護の魅力 毎外(アジア・太平洋)の島嶼保健看護の現状と課題 国際保健看護の魅力 島嶼保健に必要な概念:プライマリ・ヘルスケア、協働連携 沖縄県の離島・へき地の保健医療体制 島嶼における健康危機管理 離島訪問のための事前学習(既存資料の収集、訪問計画など) """ """ """ "" "" "" "" "" "" "" " " "									
第 11 回第 12 回第 13~20 回	事前 島係 (1) (2) (3) (4) (5) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	# 中間試験(第1回~7回) 事前学習発表および課題の追加学習 離島訪問(1泊2日:8コマ)①~③は分担可 ① 関係者及び住民に島の地理、歴史、文化、経済、制度等について フィールドワーク ② 住民の健康課題と生活及び健康行動についてフィールドワーク ③ 保健医療福祉行政の立場より住民の健康状態と課題についてフィールドワーク ④ 離島訪問を踏まえ、島嶼の健康課題、対策、看護職者の役割等について整理し学内で報告(課題レポート:報告書グループ) ⑤ 課題レポート(個人)の作成離島訪問のまとめ								演習	
第 21 · 22 回 第 23 回	離島語 報告部		まとめ								

テキスト	特に指定しない。資料を適宜配布する。
参考文献	「沖縄県離島関係資料」「沖縄県保健医療福祉行政の概要」「村勢要覧」等
他科目との 関連	地域保健看護関連の科目を応用して、沖縄県離島、へき地における保健医療福祉の現状と 健康課題を理解する。 本科目は保健師課程、看護師課程の読み重ね科目である。
成績評価の 方法	授業参加状況20%、中間試験50%、事前学習・離島訪問・報告会への貢献度10%、課題レポート:①報告書(グループ)10%、②個人10%
学習相談・ 助言体制	授業での疑問や演習課題の相談は、担当教員が随時対応する。離島訪問については、グループの担当教員と相談しながら進める。
授業改善の 特記事項	グループワークを取り入れ積極的な授業参加を促す。 島嶼保健看護に必要な概念について離島訪問を通して理解を深める。
備考	指定された日時までに下記を提出する。 1)学習記録(本授業での学習記録を自分なりにファイルしておくこと;見出し(インデックス)をつけること;新聞の切り抜き、写真など何でも参考資料とする) 2)課題レポート①(報告書:グループ) 3)課題レポート②(個人) 4)自己評価票

科 目 コード	38	111	授業科目	(Interna	国際保健看 tional Heal		ing)	担当教員	Ⅰ 怦生みとり 傾川粉ま				
開講年	次	4 年次	前期	単位数	2 単位	科目	Ę	事門関連	車科目	授業			
選択必	修	選	択	時間数	30 時間	分類		(保・	_ , , , ,	授業 形態	講義	演習	国
履前提和	丨目	なし	L										
条 件 その1	仙	なし											
授業概		健看	国際的視野から諸外国の地理的環境、歴史、文化、経済、医療政策、疫学的動向と対策 建看護事情と、人々の生活を理解し、日本国内に在住する外国人の背景と現状を理解す されらから健康に影響を与える要因および保健医療福祉が果たす役割について考察 う。									する) ₀
到達目	標	2. 俊 3. 世 4. 看 5. 国	看護においてグローカルな視点をもつことの重要性が理解できる。 健康に関連する国際的援助機関の役割と活動の実際を理解できる。 世界の各地域(島嶼を含む)における保健医療看護の現状と課題を理解できる。 看護における異文化理解の重要性を述べることができる。 国内に滞在・在住する外国人の背景と健康課題を理解し、看護職の役割を考えることができる。										
授業回	数		授	業内	ア 及 び	計 画			〕・事後学習 学習課題)	担当	者名	授形	
第1回	ij		•		ンな視点から		保健看	講	養中に課題	川崎・	知念	講	義
第 2 回		島嶼	護と国際保健看護、学生のハワイ研修報告 を提示する 大 湾 島嶼保健看護の魅力 大 湾 神 里 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1										
第4回		国際		夢 の魅力						知	念		
第 5 回	ī		国におり ーカー)		建看護の実際	(知念・	ゲスト	`		J.	'		
第6回第7回		国際 沖縄	保健看記におけ	蠖の視点 (国	人に対する	国際保健	看護の)		横 知	川 念		
第8回第9回		世界	の各地地に関連で	或における伊	, 保健医療看護 受助機関の役			b		横知			
第 10 [SDGs	をテー	マにしたグル	レープワーク					1.	,	\	
第 11 [第 12 [テスト _{演習 方達}	去についての) 説 明					,	,	演	習
					-対象者の国	の概要と	健康課	1),			
第 21 · 2: 第 23 [. —	演習の		〜 のインタビ	ユ 一)).).			
テキス	ト		学看護学 衛生看護		分野 Ⅰ 看護学校	既論 基础		学[1]	第16版 图	医学書院			
参考文	献	田村 山崎 近藤	やよひ 明美・ 麻理著	扁 国際看護 當山紀子編 知って ^老	国際保健看	ルフレン べる国際 する 国	ド社 保健・ 際看護	2012 ^在 看護の 医学	F)基礎と実践 学書院 2011		房 201	12 年	
他科目と 関連	<u>:</u> の			会学、保健医 を理解する。	医療情報、環	境保健学	、公衆	*衛生学	を、疫学の知	識を活月	用して、	. 世』	界 —
成績評 の方法		授業	参加状态	兄 20%、最終	報告資料(グループ)	10%、	個人几	ノポート 10%	、中間が	テスト	50%	

学習相談 · 助言体制	出席票に理解できない箇所や疑問点の記載を求め、対応する。
授業改善の 特記事項	授業にはグループワークを取り入れ積極的な授業参加を促す。
備考	・海外研修セミナー (ハワイ研修) への参加および課題レポート提出により 2 単位中 1 単位 (第 12 回~23 回分の読み変え) の認定を行う。 ・上記学生の場合は、到達目標 5 の「国内に滞在・在住する外国人」を「ハワイに在住する 人々」に置き換える。

科 目 コード	4	0020	授業科目	(卒業演 Evaluation		r)	担当教員	(○ 教務委 助教以 実務経	上の	全教員	
開講年選択必		4年次 必		単位数時間数	1単位 30時間	科目	専	門関連科目		授業形態		<u>(8) 9</u> 演 習	ı
履修条件。その	-	なしなし		时间奴	OOH41H1	77 79				712 724			
授業概		本学が定めた卒業時の到達目標に照らして、自らを客観的に振り返り、自分の到達 価し、評価結果を総合的に分析する。不足する知識・技術・態度を主体的に学習し、 すると共に、能動的学習能力を獲得できるように学習する。											
到達目	標	 自 3. 再 	卒業時に修得すべき知識と技能を示すことができる。自分に不足している知識や技能を見つけ、再学習の方法を提示できる。再学習の計画を立て、実行できる。自分を客観的に振り返ることができる。										
授業回	数		授	業 内 容	及びま	上 画	-	事前・事後学習 (学習課題) 担当者名 授業形態					
第1~3	日	第1回看護統合試験、自己評価、解説 新学期ガイダ 教務委員長 新学期ガイダ								習			
第4~7 第8~11				験、自己評 [/]	価 1己評価、解記	台		ンスで、I 共に提示 [・]		助教以全教			
第12~1		7			己評価、解詞								
テキス	<u>۲</u>	なし					l						
参考文	献	適宜紹	介する										
他科目 関連	との	これま	で履修	こしたすべて	の科目								
成績評の方法	価 去	毎回の参加度、試験成績を総合的に判断して評価する											
学習相認 助言体	炎• 制	オリエ	ンテー	ション時に	ニオフィスア!	ワーを提	ポする						
授業改善 特記事	事の 項	開講年度に提示											
備者	夸	授業開おくこ		でに自分に	二不足している	る知識と	技能を見	見つけて、	達成で	ごきるよ	うに	準備し	て

科目コード	311	126	授業科目	(Pr	看護専門耶 ofessional		П)	担当教員	○宮里智 饒平名 実		り (ま	丰常勤	動)
開講年	次	4年次	前期	単位数	2単位	科目	専門関	J 連科目		業			
選択必	修	必	修	時間数	30時間	分類	(保・	助・看)	形	態	講	義	
履前提和	斗目	なし											
条 件 そのf	他	なし											
授業概	要	らして ついて	専門職 理解を	業として 君 求める。さ	と統合し、専門 計護を捉え、専 らに、学生だこも焦点を当っ	厚門職業 いら実務	としての看	護の発展	展に影響	する聶	是近の	動向	に
到達目	標	割に 2. 看記 3. チ 4. 医 7. 4. ア	こついて 護の質 あ考察で 一ム医 売性を保 療安全の ためい	て理解できいできる。 評価についできる。 摩における 保障するたのためのと こチームと	会のしくみ、 る。 て理解し、看 看護専門職及 めのチーム間 療機関の取り して して 記事で で 記事で で で で で で で で で で の で で の で り の れ り し れ り し れ り れ り れ り れ り れ り れ り れ り	責護ケア なび他職 の協働。) 組みと ・ 意義に~	の改善にお 種の役割を と連携につい 看護の活動 ついて説明	ける課 理解し、 いで きる。	夏につい 保健医別 引できる。 こついて	て看護 療福祉 理解し	養管理 上サー 、安	の視 ビス 全な	点の
授業回	数		授	業内	容及び	計画			事後学習 習課題)	担当	i者名	授形	
第1回]		舌動を支 医療福祉		のしくみ (1	1)		資料配	布	大	湾	講	義
第2回]				のしくみ (ź ・看護政策	2)		P152-1	82	宮	里		
第3回		個人看護	組織経管理の		基本知識 組織の支援 ; 用語の定義	、看護	業務基準・	P184-2	17		JJ		
第4回]	看護管	達理の 集	寒際;看護海	組織・看護管	理者の行	 史割	P60-96			"		
第5回]	看護の	質保証	E・サービ	スの評価			P145-1	49]]		
第6回		看護に	P25-48, 136-144饒平名配布資料 レポート①提出 (事後)(非常勤)到達目標 4										
第7回	5	看護の	役割:		の継続性、チ 冨祉活動におり			配布資 レポー (事後 到達目	ト②提出)	大	湾		

第8回	地域包括ケアシステムにおける看護の役割	配布資料	ıı .
第9回	看護専門職者としてのリーダーシップ	P192-197	宮里
第10回	看護継続教育;新人看護師研修の努力義務化・クリニ カルラダー	P97-103 P165-170	"
第11回	看護職のキャリア開発(1):看護職の専門分化 (専門看護師/認定看護師など)	P165-170	n l
第12回	看護職のキャリア開発 (2):体験談から学ぶ	資料配付	ゲストス ピーカー
第13回	日本の保健医療システムにおける看護の現状と課題 (学生の発表)	発表資料の作成 (事前)	宮 里
第14回	臨地実習での自己の看護実践をもとに、看護専門職に 求められている看護とは何か (学生の発表)	発表資料の作成 (事前)	"
第15回	臨地実習での自己の看護実践をもとに、ケアの改善に おける課題を考察し発表する(学生の発表)	発表資料の作成 (事前)	ıı
		レポート③提出(事後)	
テキスト	「系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と第	実践①:医学書院	£ 2016
参考文献			
他科目との 関連	看護専門職論 I 本科目は保健師課程、助産師課程、看護師課程の読み』	重ね科目である。	
成績評価 の方法	ミニテスト(20%)、プレゼンテーション(20%)、レス	ポート(60%) 遅刻	刻・欠席は減点
学習相談 · 助言体制	・毎回の授業終了後に、授業を通して理解が深まった。要望などの内容の授業評価の提出を求め、次回授業にる。 ・オフィスアワーをもうけ、学生からの質問を受ける体第1回目の授業で提示する。	説明補充を行うこ	とで理解をはか
授業改善の 特記事項	毎回の授業終了後に授業評価の提出を求め、その内容をる。	を考慮して次回の	授業展開を考え
備考	毎回ミニテストを行うので、事前学習を行って参加すテキストの該当ページを読んで授業に参加する。		

				l					ı				
科	目	40	142	授業科目	(Integ	看護統合 rated Nursin	実習 ng Prac	ticum)	担当教員		数務委員 力教以上	長 この看護教員	
	_ r			作日			Ü		教員		実務紹	経験 :あり	
厚	昇講年	次	4年次	後期	単位数	2単位	科目	古田目	関連科目		授業	実習	
追	選択必	修	必	修	時間数	90時間	分類	<u>구</u> .	利 连作口		形態	大 日	
層	前提	科目	看護		議Ⅱ 専門	月全領域の保修	建看護実	習: 音					
履修条件	その	他	完了	してい	ない者は、		ることに	はできない	。さらに	こ 11 丿	引以降0	には予防接種が の実習において	
授	養業概	要	大、原験を	磨くた≀ 通して	めの機会を 、特定のク	提供する。 施	設またに よび集団	は地域の場で	での集中 スケアニ	i的か~ ニーズi	つ自立的	シーを統合、拡 力な臨地実践経 を当て、先行研 いて学習する。	
1. 看護専門耶2. 看護の対象う。3. 看護を必要る能力を養4. 看護専門耶養う。					f護を必要とする人々と適切な関係を築き、対象のニーズに基づいた看護を実践で 能力を養う。 f護専門職者としての保健医療福祉等の関連職種間の連携・調整に必要な協働能力								
授	受業回	】数			授	受 業 内 🤋	容 及	び計画	町			指導教員	
	1日 ~	I	臨地	也実習	ブイダンスに その決定方法	こて)概要の記	说明					教務委員長	
	10日											看護教員 下 大 次 大 大 次	

テキスト	ガイダンス時に提示予定
参考文献	ガイダンス時に提示予定
他科目との 関連	看護卒業論文、看護総合演習の前提となる科目である。これらの科目で要求される論文や 報告書のテーマとなる課題を特定すること。
成績評価 の方法	出席状況、実習態度、学生の計画性、実習目標の到達度、レポート等(毎日の実習記録と全体サマリーを含む)の提出物、実習施設の指導責任者、実習指導担当教員の情報、評価等を参考に、科目責任者が総合的に評価する。
学習相談• 助言体制	各担当教員が授業開始前にオフィスアワーを提示する。
授業改善の特 記事項	開講年度に提示
備考	看護系教員が少人数の学生を担当する。原則として、看護卒業論文または看護総合演習と 同じ教員が担当する。

科 目 コード	4	0131	授業科目	(Nursing	看護卒業 Research nd Evidence-		Practice	es)	担当教員		教務委員 助教以 ₋ 実務経	上の家	看護教員 あり	
開講年	次	4年次	通年	単位数	2単位	科目	専	門队			授業		演習	
選択必	修	選	択	時間数	60時間	分類					形態			
履前提和	計目	看護	統合実	習を履修で	きること。3	年次必何	多科 目成	え 績 オ	が C 2 科	目以	内であれ	るこ	と。	
修 その)他	なし												
授業概	要	めるこ	統合実習において試みた根拠に基づいた看護(EBN)の過程を科学的に考察し、報めることにより、看護の意図的な取組の論理性、実践の正確な記述、結果の適切評価のあり方、ならびに論文の書き方について学習する。											
지 경 다		2. 実 3. 上i	 統合実習での看護実践記録を正確に整理できる。 実施した看護実践を科学的に考察し、論文を作成できる。 上述した看護実践を要約し、事例検討会資料を作ることができる。 事例検討会で発表できる。 											
到達目		 事 看 	事例検討会に建設的に貢献できる。 看護専門職者として必要な問題解決力(正しい課題認識・代替案の考案・相互に受け入れ可能な解決策の選択など)の基礎を習得できる。											
授業回	数		授	業 内 容	及び言	上 画		事 (前・事後 学習課題	学習 (1)	担当者	名	授業形態	
第1~15	回	,	学期ガイ)概要の説明	月		,	学期ガイ ス時に日				講 義 および	
		1. これ	までの	学習の中だ	いら看護実践	上の課題	夏を探	と:	共に提示		助教以上 演習			
		る。	• N.III -	Sen Laboration	N7 50			る。			の看護	教員		
			記成果の この探し	活用方法を 士	?字ふ									
			い探し											
				きま方										
				pased pract	tice(EBP)									
				議の技術	,									
		3. 統合	実習の	準備										
		・先行	 研究σ	検討により) 看護実践上	の課題と	こその							
		解決	大法を	明確にする) 0									
		・EBPの実施、評価を含めた看護統合実習となるよ												
		う実	習計画	i書を作成す	-る。									
第16~3	0回			後(後期)	_									
			に基づ	がいた自身の	の看護実践を	正確に	記述す							
		る。		. Lant										
					代を用いて考察	_								
					にまとめ、事		会							
		(字	省从果	発表会) で	報告・討議す	る。								

	4. 討議の結果を含めて、論文を完成させる。
テキスト	随時提示
参考文献	澤田昭夫「論文のレトリック」講談社学術文庫 604 澤田昭夫「論文の書き方」講談社学術文庫 153 高橋誠「会議の進め方」第 2 版、日経文庫、2008 八幡ひろし「会議の技術」PHP 文庫、2009
他科目との 関連	看護統合実習
成績評価 の方法	授業への参画、論文・資料等の成果物、事例検討会への参画等を総合的に判断する。
学習相談 · 助言体制	各担当教員が授業開始前にオフィスアワーを提示する。
授業改善の 特記事項	開講年度に提示
備考	看護系教員が少人数の学生を担当する。原則として、看護統合実習と同じ教員が担当する。

科目コード	4	.0030	授業科目	(Compr	看護総合 ehensive Nu:		eminar)	担当教員	助	放務委員長 対以上の 実務経験		
開講年		4年次		単位数	2単位	科目	専門	門関連科目		授業 演習		
選択必	公修	選	択	時間数	60時間	分類				形態		
履前提	科目	看護網	統合実	習を履修で	きること。							
修 その	他	なし										
授業棚	死要	さらに する知 実践の	統合実習において試みた看護実践について、科学的に振り返り、特に関心の深いテーさらに深める必要のあるテーマを見つけ、自己にふさわしい学習方法により、それする知識や技術をさらに深め、その成果を報告書にまとめ、看護の意図的な取組の記 実践の正確な記述、結果の適切な分析や評価のあり方、ならびに論文の書き方につ 習する。									
到達目]標	2. 実施 3. 自证 4. 統行 5. 報行 6. 会訓	. 統合実習で見つけた関心あるテーマについて知識や技術を深め、報告書を作成できる									
授業回	回数		授	業内容	及び言	上 画	<u> </u>	事前・事後 (学習課題	学習	担当者名	授業形態	
第1~1		授業内容及び計画 (新学期ガイダンスにて)概要の説明 統合実習前(前期) 1. これまでの学習の中から自己の課題を見出す。 2. 研究成果の活用方法を学ぶ・論文の読み方・科学論文の書き方・Evidence based practice(EBP)・グループ討議の技術 3. 統合実習の準備・教員との対話により自己をふり返る(リフレクションする)ことで、課題を明確化し、課題解決に向けた学習方法を検討する。・既習範囲を含め、文献的な根拠を確認する。・自己の課題解決するための看護統合実習となるよう実習計画書を作成する。 統合実習終了後(後期)						新学期ガインス時に日と共に提示	程す	教務委員長助教以上の看護教員	および 演 習	
第16~	30回	統合実習終了後(後期) 1. 自身の看護実践を正確に記述する。 2. 自身の看護実践を客観的に分析する。										

	3. 結果を報告書にまとめ、事例検討会(学習成果発表会)で報告・討議する。 4. 討議の結果を含めて、報告書を完成させる。
テキスト	随時提示
参考文献	澤田昭夫「論文のレトリック」講談社学術文庫 604、2002 高橋誠「会議の進め方」第 2 版、日経文庫、2008 澤田昭夫「論文の書き方」講談社学術文庫 153 八幡ひろし「会議の技術」PHP 文庫、2009
他科目との 関連	看護統合実習
成績評価 の方法	授業への参画、論文・資料等の成果物、事例検討会への参画等を総合的に判断する。
学習相談· 助言体制	各担当教員が授業開始前にオフィスアワーを提示する。
授業改善 特記事項	開講年度に提示
備考	看護系教員が小人数の学生を担当する。原則として、看護統合実習と同じ教員が担当する。



人間が人間を支えていく人材を 世に送り出す看護大学としてのイメージを NURSING(看護)の英文頭文字のNの 文字によって人体をデザイン化し、 シンボライズしました。

2019 シ ラ バ ス (看護学部) - 平成31年度入学生用-

編 集:沖縄県立看護大学

住 所:〒902-8513

沖縄県那覇市与儀1丁目24番1号

TEL: 098-833-8800 (代表)

FAX: 098-833-5133

ホームページアドレス: http://www.okinawa-nurs.ac.jp

